

HiBase Version 4.1

for the Machintosh

スタートアップ・マニュアル

HiBase (ハイベース) をお買い求めいただき、
誠にありがとうございます。

HiBase を未永く有効にお使いいただくため、
このマニュアルをお役立てください。



目次



マニュアルガイド



オペレーション



プログラミング



ライセンスご案内

本マニュアル、およびマニュアルに記載されているソフトウェア（コンピュータプログラム）は、ホロン株式会社にすべての権利が帰属します。

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、ホロン株式会社の書面による同意なしには、本マニュアルやプログラムの一部または全部を問わず、複製を禁じています。

本ソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。

本マニュアルには、正確な情報を記載するように努めましたが、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。

また、本ソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

Appleの名称、ロゴマークは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されたソフトウェア、ハードウェア製品の名称およびロゴマークは、すべて開発および著作・販売会社等、関係各社の商標または登録商標であることを明記し、本文中での表記を省略させていただきます。

本マニュアルに記載された人物、団体名は、全て架空であり、実在いたしません。

類似の人物、団体名が存在する場合は、全くの偶然であり、本マニュアルには一切関係がありません。

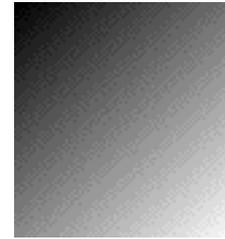
また、本マニュアルに記載された他社商品名は、参考を目的としたものであり、それら製品の使用を強制または推奨するものではありません。



はじめに ...

H i B a s e

Welcome...



HiBase へようこそ!!

「データベース」というと、なにか複雑でわかり難い気がします。
その理由は、データベースがとても多彩な応用力を持っているからに他
なりません。

「イントラネット」、「PIM(個人情報管理システム)」、「CAL& (生産・調達・
運用支援統合情報システム)」、「BPR (ビジネス・プロセス・リエンジ
ニアリング)」...

「データベース」は、これら新しいコンピュータの可能性を実現する「グ
ループウェア」や「エージェントソフト」の心臓部です。

もっと手軽にいろんなことを...

HiBase のコンセプトはそこにあります。

マックの行動半径を広げる新しい世界へ、さあ、ご案内いたします。

HiBaseの「マニュアル構成」と読み方...



How To Use This Manual...

お買い求めいただいた **HiBase** には、「スタートアップ・マニュアル」、「オペレーション・マニュアル」の2冊の「操作マニュアル」および、**HiBase** のアプリケーションプログラムを開発するための「プログラミング・ガイド」、「プログラミング・リファレンス」が用意されています。

この「マニュアル」は、「**スタートアップ・マニュアル**」です。

「スタートアップ・マニュアル」は、次の3章から構成されています。

第1章 **HiBase** をセットアップするためのガイドです

「**HiBase** の基本アプリケーション」や補足ファイルをセットアップする方法を説明しています。

第2章 **HiBase** の概略を簡単に紹介します

HiBase の操作に最低限必要な知識と、**HiBase** の概略を簡単に説明しています。

第3章 「**HiBase** の基本アプリケーション」のチュートリアルです

HiBase の基本アプリケーションを具体的な実務でご利用いただく例を、ステップ・バイ・ステップで説明しています。

特別な情報は、次のように示します...



操作に関する補足情報や別の操作方法を示します。



注意すべき操作を警告します。



親トピックのページへジャンプします。

ご案内

「ビギナー」の方は...

➡ 「スタートアップ・マニュアル」をひととおりお読みください。

「データベース」をよくご存じの方

/ 「HiBaseのアプリケーション・プログラム」を開発する方は...

➡ 「スタートアップ・マニュアル」の「第1章」を参考に、HiBaseの基本アプリケーションや補足ファイル、HiBaseインタフェースプログラムなどをインストールしてください。以降、必要に応じて、「オペレーション・マニュアル」や「プログラミング・ガイド」、「プログラミング・リファレンス」の該当ページをお読みいただいても構いません。

「旧バージョンのHiBase」からアップグレードされた方は...

➡ 「HiBase 4」は、「データベース・コネクティビティ」の強化に伴い、「データベース仕様」に幾つかの改善を行ないました。

「旧バージョンのHiBase」で作成した「データベース」を引き続き利用する場合は、「オペレーション・マニュアル」の「第2章/データベースを管理する」を参考に「データベース」をメンテナンスしてください。

オペレーション・マニュアル 必要に応じてご覧ください

「HiBaseの基本アプリケーション(HBServer、HBUtil、Session)」および、「HiBaseのJavaアプレット(HBUtil、HBBrowser)」の機能や操作方法を説明しています。

標準的な作業順序にしたがって解説されていますので、一読することで、HiBaseにどのような機能があるか、ご理解いただけます。

プログラミング・ガイド HiBaseのプログラム開発にお役立てください

HiBaseの「アプリケーション・プログラム開発」に必要な「HiBaseインタフェース・プログラム」および、HiBaseの「Programming Interface」の概略を説明しています。

プログラミング・リファレンス 開発用の辞書としてお役立てください

HiBaseの「Programming Reference」を説明しています。

なお、附録として、「HiBase/Client」のサンプルプログラムを紹介しています。

専門的な用語はその都度解説していますが、HiBaseに関する用語の意味や操作手法、概念、ライセンスなどを調べたいときは、「オペレーション・マニュアル」巻末の「用語解説」、「ソースコードライセンスのご案内」をお役立てください。

マッキントッシュや漢字Talkの基本操作や専門用語については、『マッキントッシュ』や『漢字Talk』付属のマニュアル、ご利用周辺機器や各アプリケーション、ネットワークなどについての詳細は各々の説明書を参照してください。

表示の一部や参考例などが、ご使用になられるシステム構成によって異なることもありますので、ご了承ください。





スタートアップ・マニュアル 目次

H i B a s e

Contents

はじめに...	3
HiBase の「マニュアル構成」と読み方...	4
第1章 Setting Up ...	11
ご利用前に...	12
「使用許諾契約」をお守りください	12
困ったときは...	13
「マスターディスク」の内容を確かめてください	14
HiBase を使う準備をしましょう	19
必要なシステムを揃えましょう	14
ご利用環境を選んでください	19
HiBase をインストールします	23
「シングル・ユース」用のセットアップ...	24
「ネットワーク・ユース」用のセットアップ...	26
- A. 「ネットワーク・サーバ」用のセットアップ...	26
- B. 「ネットワーク・クライアント」用の セットアップ...	29
「 HiBase のアプリケーション・プログラム開発」用の セットアップ...	31

第2章 Overview ...	33
HiBase とは...	34
HiBase の「基本アプリケーション」について...	36
「基本アプリケーション」での作業手順...	38
HiBase のデータを見てみましょう	40
Session を利用してみましょう	42
基本操作を覚えてください	44
「データベース」の構成を見てみましょう	46
「データベース」を開いてみましょう	48
「セッション」を開いてみましょう	50
「レイアウト」を切り替えてみましょう	58
Session を終了します	62
第3章 Tutorial ...	65
新しいデータベースを作ってみましょう	66
HBUtil をスタートします	68
データベースを作ってみましょう	72
データベースファイルを作ってみましょう	76
アイテムやキーを作ってみましょう	78
データベースを読み込んでみましょう	81
HBUtil を終了します	84

新しいセッションを作ってみましょう	85
Session をスタートします	85
セッションを作ってみましょう	86
レイアウトを編集してみましょう	89
「一覧レイアウト」を編集してみましょう	90
「詳細レイアウト」を編集してみましょう	98
グループを作ってみましょう	108
データを編集してみましょう	114
データを修正してみましょう	118
新しい「レコード」を追加してみましょう	118
不要な「レコード」を削除してみましょう	119
データを並び変えてみましょう	120
Session を終了します	123
Java アプレットを使ってみましょう	124
HBBrowser をロードします	126
データベースサーバ接続します	128
データを表示してみましょう	130
HBBrowser を終了します	133
HBServer を終了します	134





第 1 章

H i B a s e

Setting Up...



この章では、Macintosh に「**HiBase** の基本アプリケーション」や「**HiBase** のJavaアプレット」、補足ファイルなどをインストールし、**HiBase** をセットアップする方法について説明します。

ご利用環境や目的によって、インストールファイルが異なりますので、はじめてご利用になる方は、必ずお読みください。



目次



マニュアルガイド

ご利用前に ...



Setting Up...

「HiBase」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になれる前に、以下の点をもう一度ご確認ください。

「使用許諾契約」をお守りください

HiBase のご利用に際し、「使用許諾契約」をお守りください。

1. 本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてホロン株式会社に帰属します。
このプログラムは、本製品パッケージに記載されている使用許諾契約書に基づき、個人で使用する以外は、ホロン株式会社の文書による承諾なしに、無断で使用することはできません。
また、著作権法に基づき、バックアップコピー以外の目的で無断で複製することは禁じられています。
複数台のマッキントッシュで使用する場合、マッキントッシュと同数の本製品が必要です。
2. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容に付いては万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記述漏れなど、お気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店へご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、3項にもかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

困ったときは ...



本製品の内容には万全を期しておりますが、万が一不審な点がございましたら、以下にお問い合わせください。

HiBase のホームページでは、「バージョン・アップ」のお知らせ、「ユーザサポート」などの情報をご提供致します。

また、システムインテグレータの方や、企業内情報システムの開発 / 構築 / 運営に携わる方々に、技術情報やセミナーなどのご案内を致します。

For More Information...

HiBase に関するご意見・ご感想は...



03 - 5211 - 3310

FAX: 03 - 5211 - 3305

【 発売元 】

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-1-5 和孝31ビル7F
株式会社フォーウィンズ

【 FWS Site 】

<http://www.fws.co.jp>

e-mail: hibase@fws.co.jp

【 開発元 】

〒215-0023 川崎市麻生区片平 5 - 31 - 20
ホロン株式会社

【 Holon Site 】

<http://www.hln.co.jp>

e-mail: webmaster@hln.co.jp

「マスターディスク」の内容を確かめてください



お買い求めいただいたパッケージに入っているCD（コンパクトディスク）を「マスターディスク」といいます。



マスターディスクは大切に保管してください。

万が一マスターディスクを破壊した場合には、「サポート窓口」にお問い合わせください。

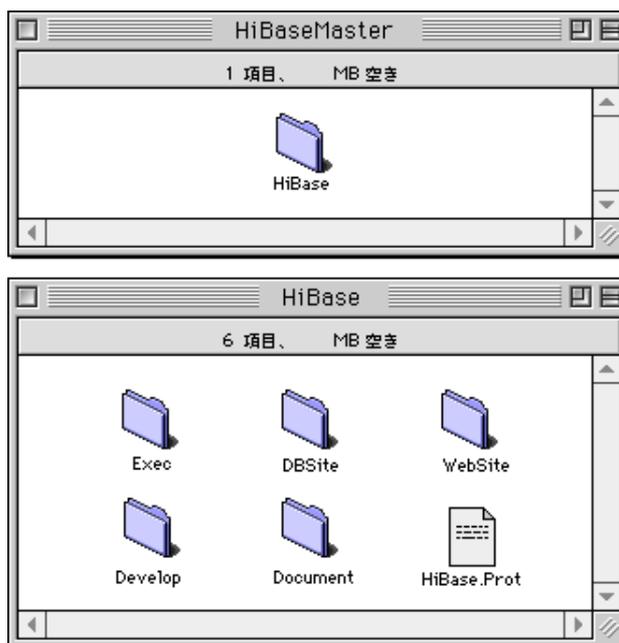
ディスクの初期化やバックアップコピーについては、『マッキントッシュ』や『漢字Talk』付属のマニュアルを参照してください。



HiBase Master

HiBaseの「マスターディスク」には、以下のファイルが納められています。

【 HiBase のマスターディスク 】



「HiBase 実行環境」をお買い求めいただいた場合、「Develop」フォルダは含まれません。



Document

HiBase の「オンライン・マニュアル」が納められているフォルダです。

「Acrobat Reader」および、HiBase の「スタートアップ・マニュアル」、「オペレーション・マニュアル」、「プログラミング・ガイド」、「プログラミング・リファレンス」が「Acrobat ファイル(PDF形式)」で納められています。

「Acrobat Reader」でお読みください。



「**HiBase の実行環境**」が納められているフォルダです。
HiBase をご利用いただくための「**基本アプリケーション**」が入っています。

「Single」用と「Multi」用があります。



HiBase を 1 台の Macintosh 上でご利用いただく場合の「**基本アプリケーション**」が入っています。



HBUti(68K)

HiBase を一台の Macintosh 上でご利用いただく場合の「データベース定義ユーティリティ」ツールです。



HBUti(PPC)

「68K Macintosh」用と「PowerPC」用があります。



Session(68K)

HiBase を一台の Macintosh 上でご利用いただく場合の「データベースオーサリング & ブラウジング」ツールです。



Session(PPC)

「68K Macintosh」用と「PowerPC」用があります。



Multi

HiBase を複数のMacintosh間で共有してご利用いただく場合や、**HiBase** で「Web サイト」を運用するための「基本アプリケーション」が入っています。



HBServer(68K)

HiBase を「Client/Server 方式」で運用するための「複合サーバ」プログラムです。



HBServer(PPC)

「68K Macintosh」用と「PowerPC」用があります。



HBUtil(68K)

HiBase を「Client/Server 方式」で管理するための「データベース定義ユーティリティ」ツールです。



HBUtil(PPC)

「68K Macintosh」用と「PowerPC」用があります。



Session(68K)

HiBase を「Client/Server 方式」で操作するための「データベースオーサリング & ブラウジング」ツールです。



Session(PPC)

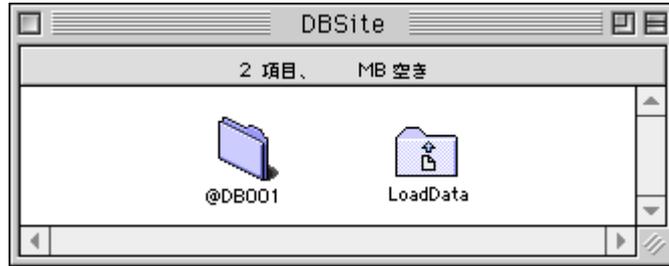
「68K Macintosh」用と「PowerPC」用があります。



DBSite

HiBaseで「データベースシステム」を運用するための必要ファイルが納められているフォルダです。

HiBase のサンプル「データベース」と**HiBase** の練習用「ロードファイル」などが入っています。



@DB001

HiBase のサンプル「データベース」です。

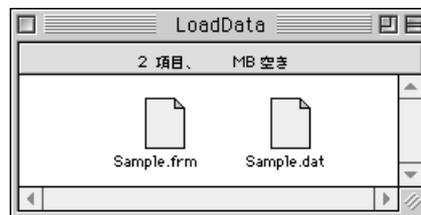
「データベース」、「データベースファイル」および、「セッション」などのサンプルデータが入っています。



LoadData

HiBase の練習用「ロードファイル」です。

「フォームファイル」と「データファイル」のサンプルデータが入っています。





HiBaseで「Web サイト」を運用するための必要ファイルが納められているフォルダです。

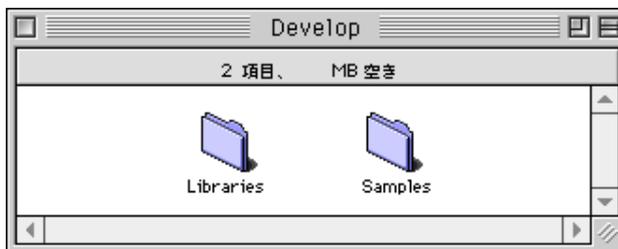
HiBaseの「アプレット」や「HTML ファイル」などが入っています。



「**HiBase**の開発環境」が納められているフォルダです。

HiBaseのアプリケーションを開発するための「インタフェース・プログラム」と「サンプルプログラム」などが入っています。

「**HiBase**実行環境」をお買い求めいただいた場合、「マスターディスク」内に「Develop」フォルダは含まれません。



HiBaseの「クラス・ライブラリ」が入っています。

「68K Macintosh」用と「PowerPC」用があります。Macintosh用は、さらに「Multi（ネットワーク用）」「Single（シングル用）」に分れています。



HiBaseのサンプル「プログラム」が入っています。

「68K Macintosh」用と「PowerPC」用があります。



HiBaseの「インタフェース・プログラム」についての詳細は、『プログラミング・ガイド』をご覧ください。

HiBase を使う準備をしましょう



Setting Up...

「HiBase」をご利用いただくための準備や「インストール方法」を説明します。



「インストール」を適当に済せてしまうと、障害が起きたり、マニュアル通りの操作ができなくなることもありますのでご注意ください。

このマニュアルは、クリックやドラッグなど、Macintosh の基本的な操作や、WWW、HTTP、AppleTalk、OpenTransport など、インターネットやネットワークに関する知識をすでに習得していることを前提としています。

マウスやディスクの基本操作、ファイルやディスクのコピー方法、インターネットやネットワークの接続 / 基本操作などについては、『マッキントッシュ』や『漢字Talk』付属のマニュアルを参照してください。

必要なシステムを揃えましょう

HiBase は、以下の 2 通りの方法でご利用いただけます。

まず、**あなたの用途に合った「ご利用環境」**を選び、必要なシステムを揃えてください。

ご利用環境を選んでください

1 台の Macintosh 上で、「データベースシステム」のみご利用になる方は...



「シングル・ユース」用のセットアップ・システムを揃えてください。

複数の Macintosh 間で、「データベースシステム」を共有してご利用になる方、

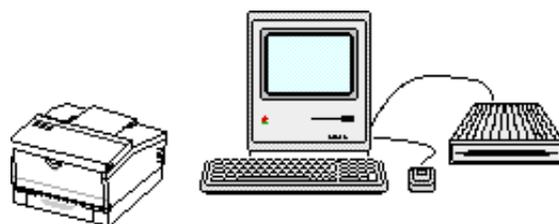
「Web サイト」を運用なさる方は...



「ネットワーク・ユース」用のセットアップ・システムを揃えてください。

HiBase をご利用いただくためには、
HiBase のマスターディスクの他に、以下のシステムが必要です。

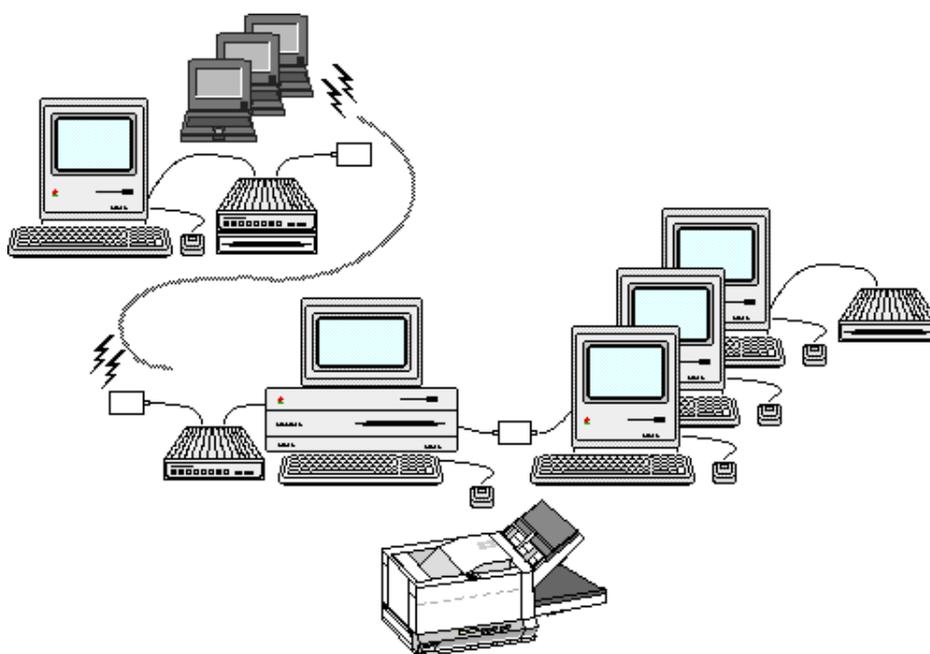
「シングル・ユース」用のセットアップ・システム



マッキントッシュ本体
ハードディスク
CD-ROM、フロッピーディスクドライブ
モニタ、プリンタ装置

漢字Talk 7.1以上の日本語システム

「ネットワーク・ユース」用のセットアップ・システム



ネットワーク・サーバ用 マッキントッシュ本体
ネットワーク・クライアント用 マッキントッシュ本体
(あるいは、Windows / UNIX など、
Web ブラウザや、Java アプレットの稼働可能なコンピュータ環境)
各ハードディスク
各CD-ROM、フロッピーディスクドライブ
各モニタ、プリンタ装置

漢字Talk 7.1以上の日本語システム
および、TCP/IP ネットワーク環境

マッキントッシュ本体
および、漢字Talk 7.1以上の日本語システム

マッキントッシュファミリー

「Macintosh 68030」以上の機種、または、
すべての「Power Macintosh」でご利用いただけます。



ネットワーク環境でご利用いただくためには、「Macintosh と互換性のある
TCP/IP ネットワーク環境」が必要です。

「Web サイト」をご利用いただくためには、ネットワーク・クライアント用
のコンピュータに「Microsoft Internet Explorer」や「Netscape Navigator」な
ど、「Java アプレット」が実行可能な「Web ブラウザ」が必要です。



HiBase を安定した動作でご利用いただくためには、マッキントッシュ本体に
以下の「メインメモリ」が必要です。

ご利用になるマッキントッシュの空きメモリをお確かめください。
空きメモリが少なければ、メモリを増やすようにしてください。

もし起動時に、メモリ不足の警告メッセージが表示されたら...
デスクアクセサリ、イニットファイルなどを減らしてください。
カラーモードでご利用の場合は、白黒モードに切り替えてみてください。

シングル・ユース用 マッキントッシュ

68K Macintosh 8 MB 以上

Power Macintosh 16MB 以上

ネットワーク・サーバ用 マッキントッシュ

68K Macintosh 8 MB 以上

Power Macintosh 32MB 以上

ネットワーク・クライアント用 マッキントッシュ

68K Macintosh 8 MB 以上

Power Macintosh 16MB 以上

各 内蔵または外付けのハードディスク

ハードディスクに以下の空きメモリが必要です。

シングル・ユース用 ハードディスク

2,500 KB 以上の空きメモリが必要です。

ネットワーク・サーバ用 ハードディスク

10 MB 以上の空きメモリが必要です。

ネットワーク・クライアント用 ハードディスク

2,500 KB 以上の空きメモリが必要です。

各 CD-ROM ドライブ、フロッピーディスクドライブ

各 モニタ、プリンタ装置

マッキントッシュ対応モニタ、プリンタ全機種
(プリンタ装置がなくてもデータベース操作はできます。)



なお、「**HiBase** 開発環境」内の、

「バイナリ形式」の「インタフェース・プログラム」を
ご利用いただくためには、

「**Metro Werks CodeWarrior**」が必要です。

「Metro Werks CodeWarrior」についての詳細は、付属のマニュアルを参照してください。

HiBase をインストールします



「ご利用環境」によって、
インストール先やファイル構成が異なります。

該当タイプのページをご覧ください、適切にインストールしてください。

1台のMacintosh上で、「データベースシステム」のみご利用になる方は...

➡ 「シングル・ユース用のセットアップ...」をご覧ください。

複数のMacintosh間で、「データベースシステム」を共有してご利用になる方、
「Web サイト」を運用なさる方は...

➡ 「ネットワーク・ユース用のセットアップ...」をご覧ください。

「HiBase のアプリケーション・プログラム」を開発する方は...

➡ 『「HiBase のアプリケーション・プログラム開発」用の
セットアップ...』をご覧ください。

「シングル・ユース」用のセットアップ...



1 台の Macintosh 上で、**HiBase** の「データベースシステム」のみをご利用になる場合は、「シングル・ユース用」の「基本アプリケーション」を利用し、「データベースシステム」の運用に必要なファイルをセットアップします。

1. ご利用のハードディスクに、

マスターディスク内の  をコピーします。

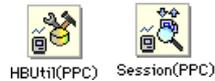
「シングル・ユース」用のセットアップに必要なファイルは、以下の構成です。

- A.  >  内の「基本アプリケーション」

68K Macintosh をご利用の場合



Power Macintosh をご利用の場合



- B.  内の「データベースシステム」運用ファイル

2.  内の  (または ) を起動し、終了します。

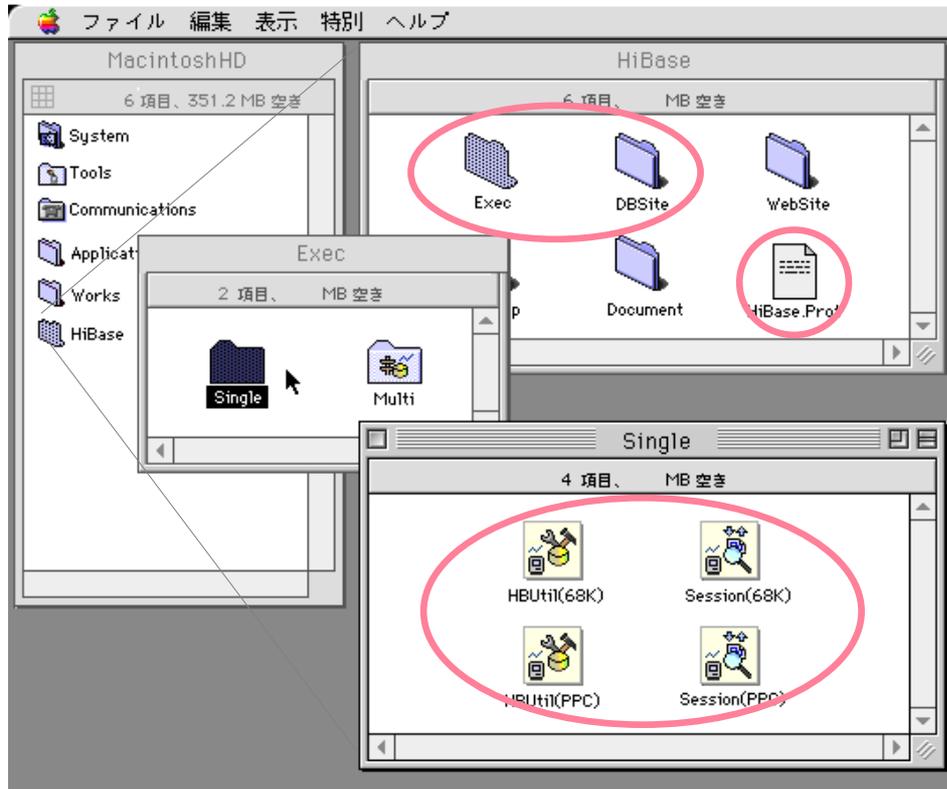
「シングル・ユース」用の必要ファイルへのパスなどがセットアップされます。

ご案内

「**HiBase 4**」は、「データベース・コネクティビティ」の強化に伴い、「データベース仕様」に、幾つかの改善を行ないました。

「旧バージョンの **HiBase**」で作成した「データベース」を引き続き利用する場合は、「オペレーション・マニュアル」の「第 2 章 / データベースを管理する / 「旧バージョンの **HiBase**」からアップグレードされた方は...」を参考に、「データベース」をメンテナンスしてください。

【 シングル・ユース用のファイル構成 】



○ シングル・ユース用の必須ファイルです。



「HiBase」や「DBSite」のフォルダ名は、変更しないでください。

なお、以下の場合は...

「HiBase」や「DBSite」フォルダの位置を変更する場合

データベースサーバの「キャッシュサイズ」を変更する場合

「旧バージョンのHiBase」で作成した

「データベース番号=2」以降の「データベース」を利用する場合

「HBUti」の「データベース一覧」のウィンドウで、 をクリックし、

「データベースサーバ」の環境設定を変更してください。

(「データベースサーバ」の環境設定は、「SimpleText」などのエディタでシステムフォルダ > 「Holon」フォルダ内の「HiBase.ini」を開き、各パラメータ値を変更、保存しても変更できます。)

詳しくは、「オペレーション・マニュアル」の「第2章 / データベースを管理する」を参考にしてください。

「ネットワーク・ユース」用のセットアップ...



複数のMacintosh間で、**HiBase**の「データベースシステム」を共有してご利用になる場合や、「Webサイト」を運用する場合は、各システムの運用に必要なファイルをセットアップします。

ネットワーク操作については、ネットワーク付属のマニュアルを参照してください。

A. 「ネットワーク・サーバ」用のセットアップは...

➡ 「データベース / Web サイト」の運用や管理に権限を持つ
「データベース管理者」が行ってください。

B. 「ネットワーク・クライアント」用のセットアップは...

➡ 「データベース」のオーサリング / ブラウジング操作を行う
各「データベース利用者」が行ってください。

A. 「ネットワーク・サーバ」用のセットアップ...

ネットワーク・サーバ用のMacintoshは、「ネットワーク・ユース用」の「基本アプリケーション」を利用し、「データベースサーバ / Webサーバ」、および、各サーバの運用に必要なファイルをセットアップします。

1. ネットワーク・サーバ用のMacintoshに、

マスターディスク内の  をコピーします。

「ネットワーク・サーバ」用のセットアップに必要なファイルは、以下の構成です。

A.  >  内の「基本アプリケーション」

68K Macintoshでご利用の場合



HBServer(68K)



HBUtil(68K) Session(68K)

Power Macintoshでご利用の場合



HBServer(PPC)



HBUtil(PPC) Session(PPC)

B.  内の「データベースシステム」運用ファイル
DBSite

C.  内の「Web サイト」運用ファイル
WebSite

2.  内の  (または ) を起動します。
Multi HBServer(PPC) HBServer(68K)

 **HiBase** のサーバ画面(「HiBas Server Group」のウィンドウ)が表示されます。

3. 引き続き、 内の  (または ) を起動します。
Multi HBUti(PPC) HBUti(68K)

 「接続ノード」を設定するパネルが表示されます。

4. 「ホスト名」と「ポート番号 (3330)」を入力し、

 をクリックします。

「ホスト名」には、サーバの「ドメイン名」または、「IP アドレス」など、「DNS」の解釈可能なサーバアドレスを入力してください。

「ポート番号」には、「データベースサーバ」で利用するポート番号を入力してください。(初期値は「3330」です。)

 **HBUti** が起動し、「データベース一覧」のウィンドウが表示されます。

5.  (または ) を終了します。
HBUti(PPC) HBUti(68K)

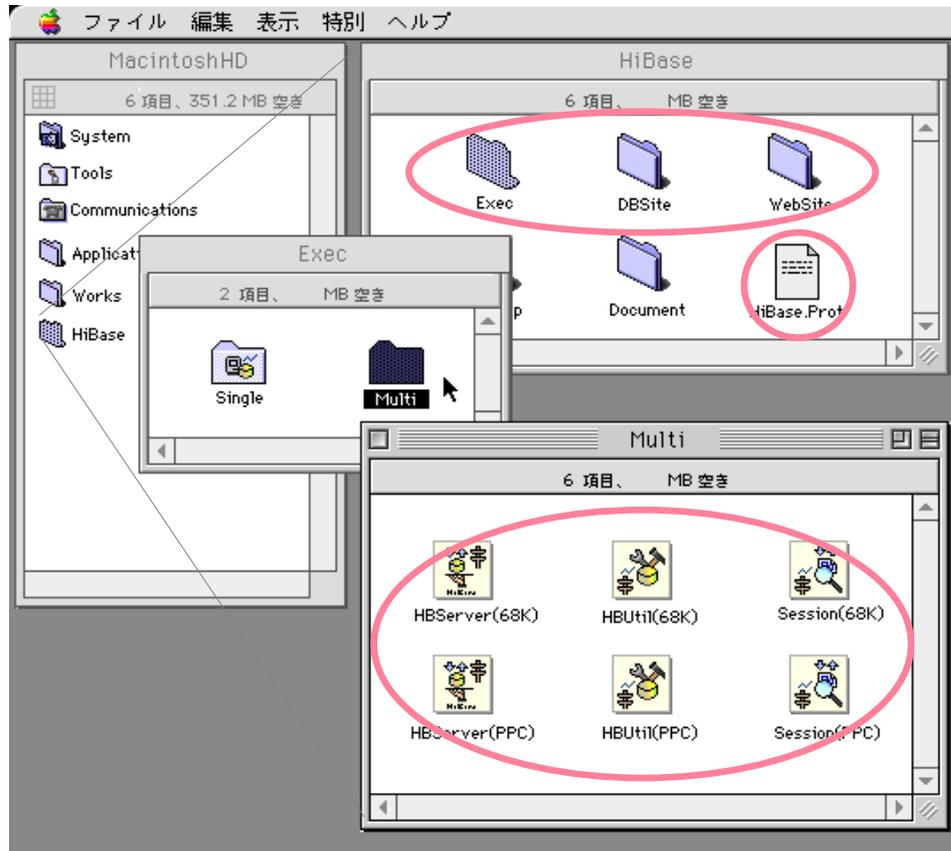
「ネットワーク・サーバ」用の必要ファイルへのパスや、「データベースサーバ」、「Web サーバ」の各ポート番号(データベースサーバ初期値= 3330、Webサーバ初期値= 80)などがセットアップされます。

ご案内

「**HiBase 4**」は、「データベース・コネクティビティ」の強化に伴い、「データベース仕様」に、幾つかの改善を行いました。

「旧バージョンの **HiBase**」で作成した「データベース」を引き続き利用する場合は、「オペレーション・マニュアル」の「第2章/データベースを管理する / 「旧バージョンの **HiBase**」からアップグレードされた方は...」を参考に、「データベース」をメンテナンスしてください。

【 ネットワーク・サーバ用のファイル構成 】



○ ネットワーク・サーバ用の必須ファイルです。



「HiBase」や「DBSite」、「WebSite」のフォルダ名は、変更しないでください。

なお、以下の場合...

「HiBase」や「DBSite」、「WebSite」フォルダの位置を変更する場合

各サーバの「ポート番号」を変更する場合

(各サーバの初期値：データベースサーバ = 3330、Webサーバ = 80)

各サーバの「キャッシュサイズ」を変更する場合

「旧バージョンのHiBase」で作成した

「データベース番号=2」以降の「データベース」を利用する場合

「Web マスタメールアドレス」を設定する場合

「HBServer」で「データベースサーバ」、「Web サーバ」の環境設定を変更してください。

(「データベースサーバ」、「Web サーバ」の環境設定は、「SimpleText」などのエディタでシステムフォルダ > 「Holon」フォルダ内の「HiBase.ini」を開き、各パラメータ値を変更、保存しても変更できます。)

詳しくは、「オペレーション・マニュアル」の「第2章 / データベースを管理する」を参考にしてください。

B. 「ネットワーク・クライアント」用のセットアップ...



ネットワーク・クライアント用のMacintoshは、「ネットワーク・ユー
ス」の「基本アプリケーション」を利用し、「データベースシステム」や
「Web サイト」の利用に必要なファイルをセットアップします。

(サーバが運用中にセットアップしてください。)

1. ネットワーク・クライアント用のMacintosh に、

マスターディスク内の  をコピーします。

「ネットワーク・クライアント」用のセットアップに必要なファイルは、
以下の構成です。

 >  内の「基本アプリケーション」

68K Macintoshでご利用の場合



Power Macintosh でご利用の場合



(*HiBase* の練習をする場合、 >  内の「練習用ロードデータ」)

2.  内の  (または ) を起動します。

 「接続ノード」を設定するパネルが表示されます。

3. 「ホスト名」と「ポート番号」を入力し、

 をクリックします。

「ホスト名」には、サーバの「ドメイン名」または、「IP アドレス」などのサー
バアドレスを入力してください。

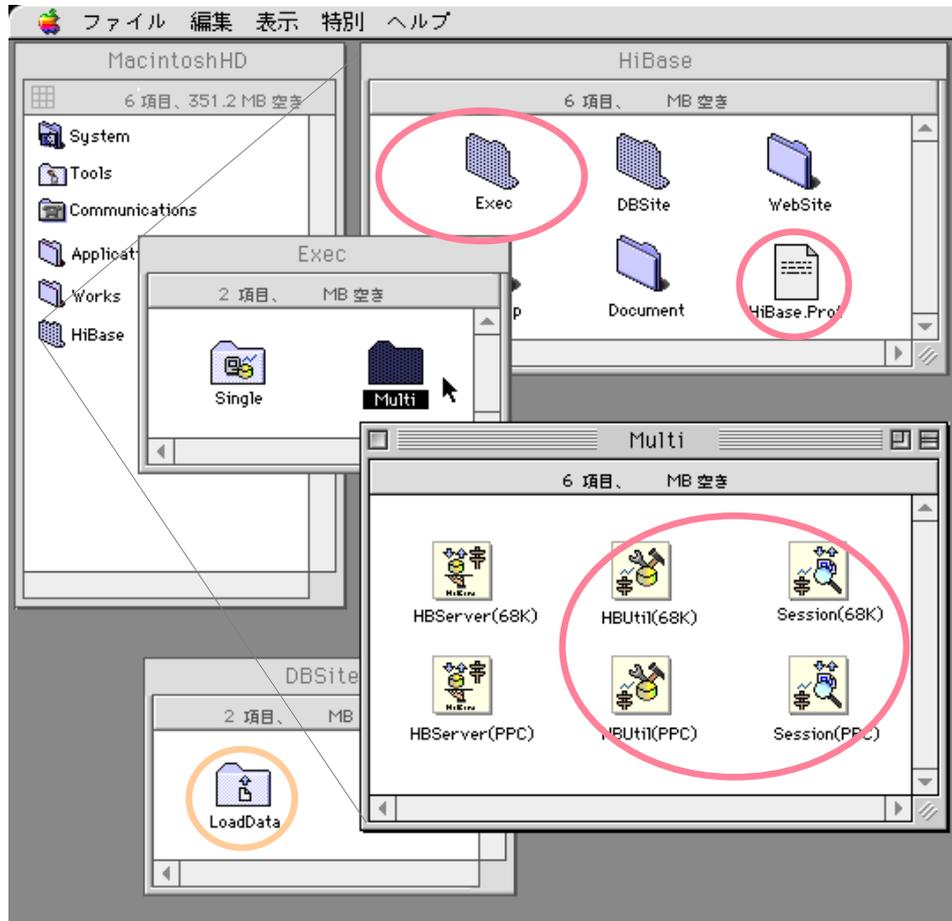
「ポート番号」には、「サーバ」が利用している「データベースのポート番号
(初期値= 3330)」を入力してください。

 *HBUtil* が起動し、「データベース一覧」のウィンドウが表示されます。

4.  (または ) を終了します。

「ネットワーク・クライアント」用にセットアップされます。

【 ネットワーク・クライアント用のファイル構成 】



○ ネットワーク・クライアント用の 必須ファイルです。

(○) 練習用のファイルです。)

上記構成で、「データベース管理」と「オーサリング/ブラウジング」の両操作ができます。

「HiBase のアプリケーション・プログラム開発」用の セットアップ ...



「HiBase のアプリケーション・プログラム」を開発する場合は、
「HiBase の開発環境」をセットアップします。

1. ご利用のハードディスクに、

マスターディスク内の  をコピーします。

「HiBase の開発環境」は、 内に納められています。



HiBase の「クラス・ライブラリ」が入っています。



HiBase の「サンプル・プログラム」が入っています。

HiBase の「アプリケーション・プログラム開発」や
「HiBase インタフェース・プログラム」についての詳細は、
[『プログラミング・ガイド』](#) や
[『プログラミング・リファレンス』](#) をご覧ください。



「バイナリ形式」の「インタフェース・プログラム」は、「CodeWarrior（または、「Visual C++」）プロジェクト」でご利用いただけます。



「HiBase 実行環境」をお買い求めいただいた場合は、「HiBase マスターディスク」に「HiBase 開発環境」が含まれません。
また、「HiBase 標準環境」をお買い求めいただいた場合は、「HiBase 開発環境」に「ソースコード」が含まれません。

独自の環境での HiBase の「アプリケーション・プログラム」開発を希望する場合は、「HiBase プロフェッショナル環境」へのアップグレードをお勧めします。

なお、「HiBase のライセンス契約」についての詳細は、「ソースコードライセンスのご案内」をご覧ください。

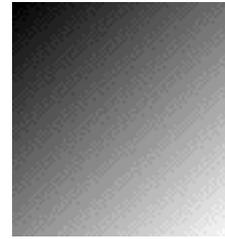




第 2 章

H i B a s e

Overview...



この章では、**HiBase** の操作に最低限必要な知識と、**HiBase** の概略を簡単に説明します。

はじめてご利用になる方は、なるべく目を通しましょう。



目次



マニュアルガイド

HiBase とは...



Overview...

「HiBase」は、

「データベースサーバ」と「Webサーバ」を統合した
HiBase の「複合サーバ」を利用して、

「インターネット/イントラネット」をはじめとした
「データベース・システム」を構築/運用するための
「利用環境（基本アプリケーション）」と、

独自の「アプリケーション」や「アプレット」などを開発し、
マルチプラットフォームで、ダイナミック、かつ、双方向の
「データベース・システム」を開発するための
「開発環境（インタフェース・プログラム）」を
セットにした、

「リレーショナルデータベース・管理システム」です。

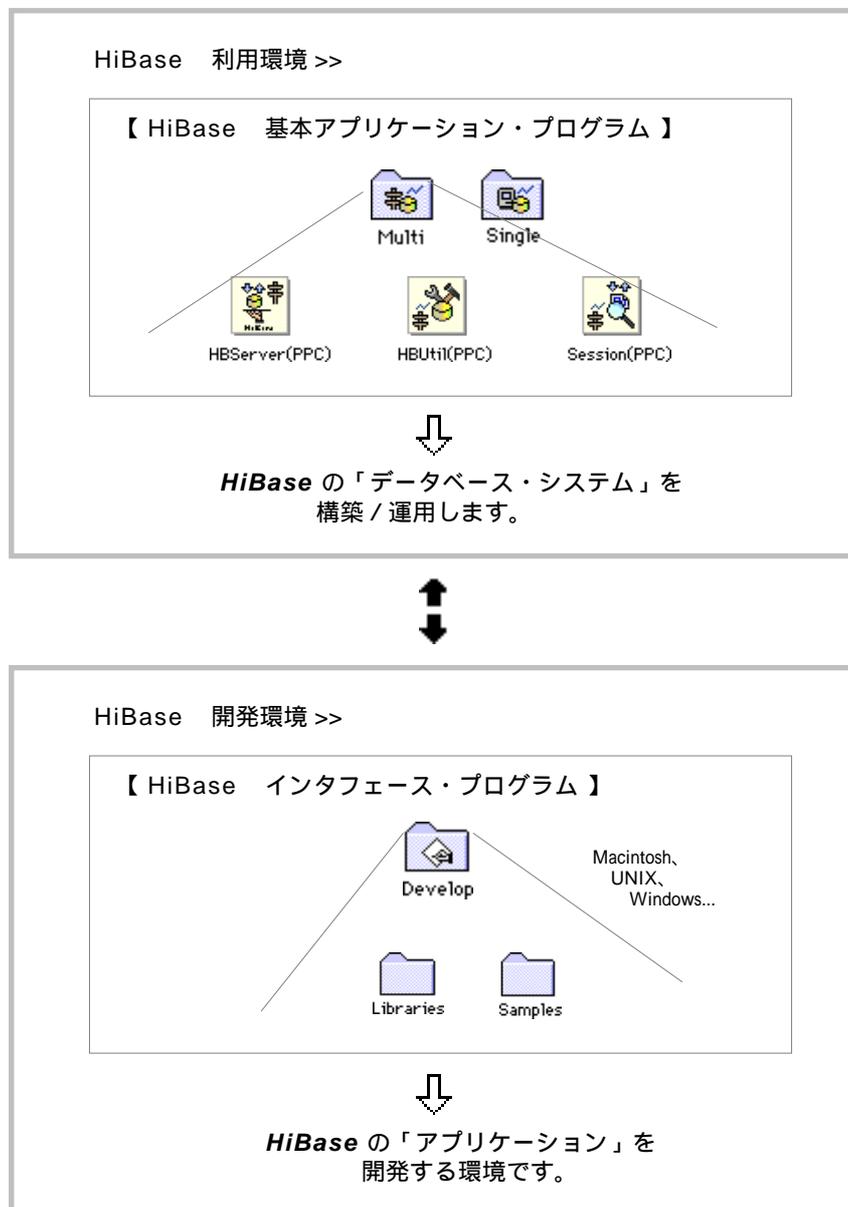


お買い求めいただいた「HiBase」には、HiBase の「使用ライセンス」が含まれますが、HiBase で開発した独自の「アプリケーション・プログラム」を第三者に配付/販売したり、HiBase に移植や改変を行うためには、別途「コピーライセンス」や「改変ライセンス」が必要です。



HiBase の「アプリケーション・プログラム開発」や「HiBase インタフェース・プログラム」についての詳細は「プログラミング・ガイド」、
「HiBase のライセンス契約」についての詳細は、「ソースコードライセンスのご案内」をご覧ください。

【 HiBase リレーショナルデータベース・管理システム 】



「HiBase」は、TCP/IP に対応した「Client/Server モデル」の「データベースサーバ」と、「Web サーバ (HTTP サーバ)」を装備しています。

「HiBase」は、Macintosh、UNIX、Windows などの主要マルチプラットフォームはもちろん、特殊な OS への移植も短期間で行うことができるように設計されています。

HiBase の「基本アプリケーション」について ...



HiBase には、

次の 3 種類の「基本アプリケーション」と「Java アプレット」が
用意されています。

HiBase の「基本アプリケーション」は、HiBase を利用するための基本的な「アプリケーション・プログラム」です。

HiBase のデータベースの定義、トランザクション処理、Web サイトの運用 / 利用...
など、一連の処理操作を行うことができます。

HiBase の「複合サーバ」プログラム



HBServer(PPC)

HiBase を複数のコンピュータ間で共有してご利用いただくための
「データベースサーバ / Web サーバ」プログラムです。

(「HBServer (68k)」, 「HBServer (PPC)」)

本マニュアル中では、これらの基本アプリケーションを
「HBServer」と表記します。

HiBase の「データベース定義ユーティリティ」ツール



HBUtil(PPC)

HiBase の「データベース」を定義 / 管理するためのツールです。

(「HBUtil (68k) for Single」, 「HBUtil (PPC) for Single」
または、「HBUtil (68k) for Multi」, 「HBUtil (PPC) for Multi」)

本マニュアル中では、これらの基本アプリケーションを
「HBUtil」と表記します。

Web サイトを利用して HiBase の「データベース」を定義 / 管理する場合は「Java アプレット (「HBUtil」)」を利用します。

HiBase の「データベースオーサリング & ブラウジング」ツール



Session(PPC)

HiBase の「データベース」を表示 / 操作するためのツールです。

(「Session (68k) for Single」, 「Session (PPC) for Single」
または、「Session (68k) for Multi」, 「Session (PPC) for Multi」)

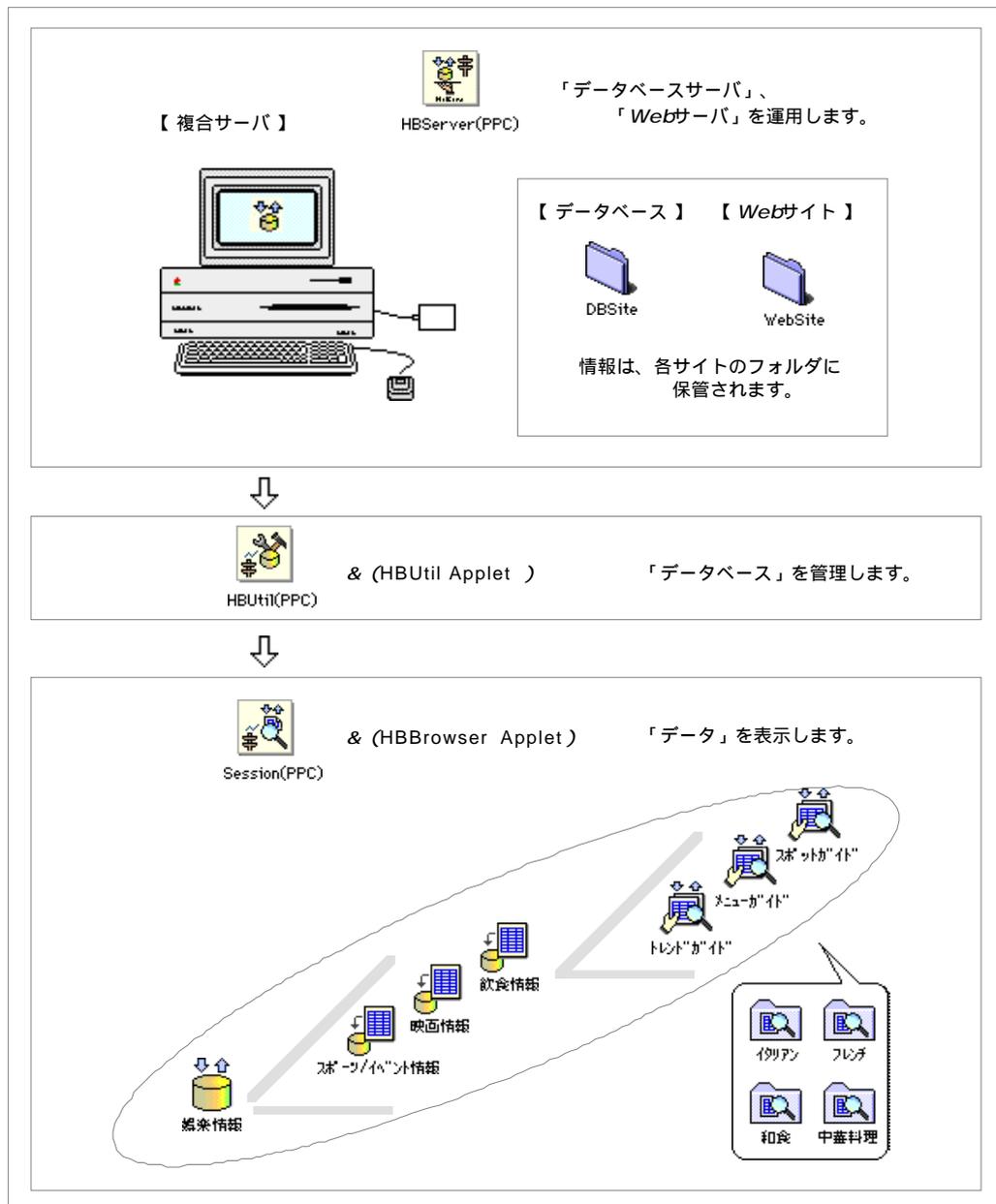
本マニュアル中では、これらの基本アプリケーションを
「Session」と表記します。

Web サイトを利用して HiBase の「データベース」を表示 / 操作する場合は「Java アプレット (「HBBrowser」)」を利用します。



各アプリケーションには、「68K Macintosh」用と「PowerPC」用があります。
また、「HBUtil」と「Session」には、「シングル・ユース」用と「ネットワーク・ユース」用があります。

【 HiBase の基本アプリケーション 】



HiBaseで扱う情報の基地を「データベース」といいます。
 「データベース」や「Web サイト」の情報は、「データベース用のフォルダ (DBSite)」、「Web サイト用のフォルダ (WebSite)」に保管されます。

「基本アプリケーション」での作業手順 ...



HiBaseの「基本アプリケーション」での作業は、大きく分けて、次の3段階に分れます。



HBServer(PPC)



HBUtil(PPC)

データベース・システムの運用 / 管理

➡ 「**HBServer**」, 「**HBUtil**」を利用します。

1. 「データベースシステム / Web サイト」の運用 / 管理 (アドミニストレーション)

HiBaseの「データベースサーバ / Web サーバ」の運用を開始 / 終了したり、「データベース」や「データベース・ファイル」の作成 / 削除 / メンテナンス... などを行います。

主に、「データベース」の作成、削除などに権限を持つ「データベース管理者」が行います。



Session(PPC)

データベースの利用

➡ 「**Session (HBBrowser)**」を利用します。

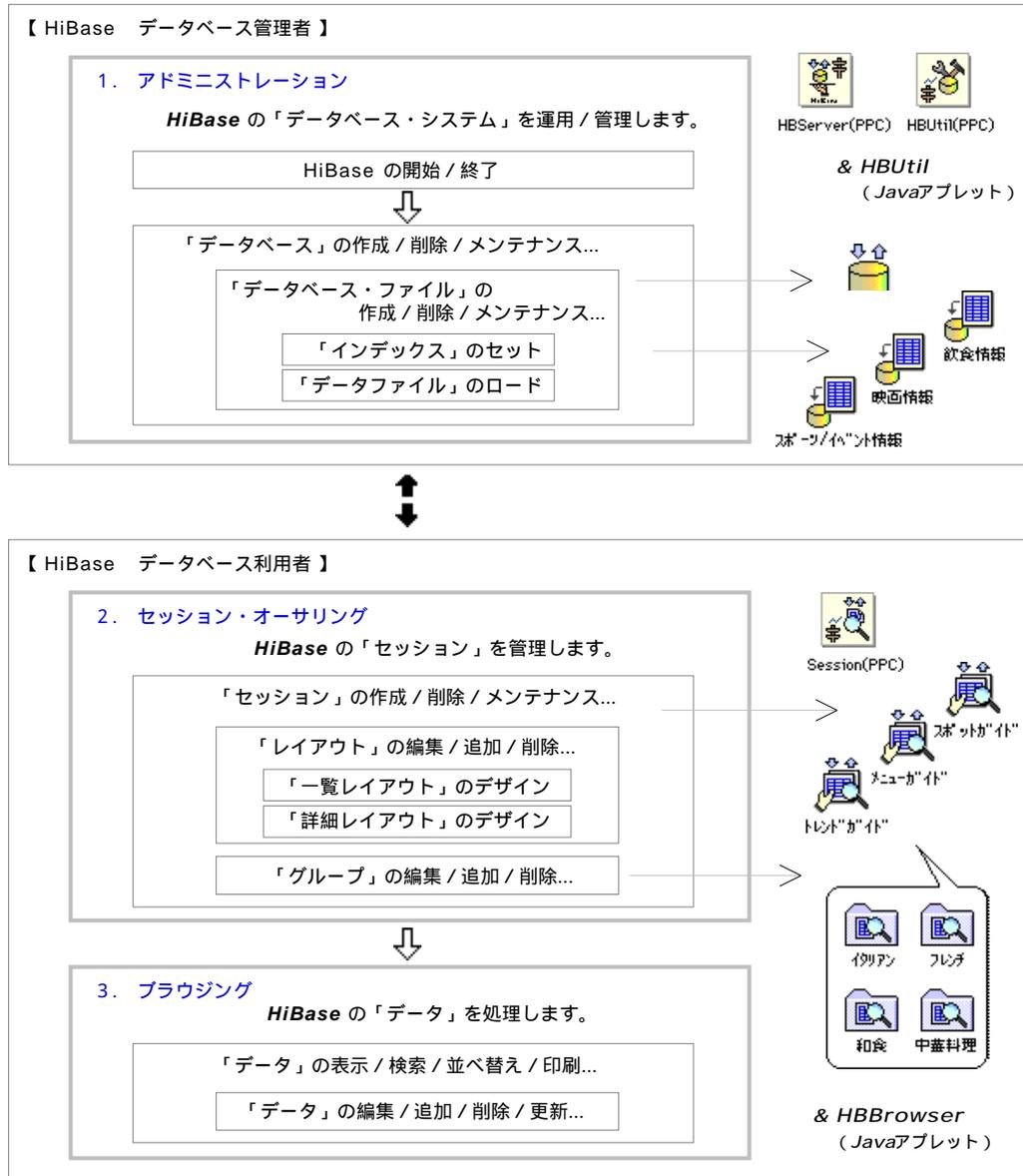
2. 「データベース」の表示設計 (セッション・オーサリング)

「データ」の並べ方(「レイアウト」デザイン)や、検索条件(「グループ」)の設計図である「セッション」の作成 / 削除 / メンテナンス... などを行います。

3. 「データ」の表示 / 編集 (ブラウジング)

「データ」の表示 / 検索 / 並べ替え / 印刷... などを行います。
新しい「レコード」の追加 / 削除 / 更新... などの編集作業を行うこともできます。

【 HiBase 基本アプリケーションでの作業手順 】



HiBase のデータを見てみましょう



Overview...

では、実際に **HiBase** のデータを見てみましょう。



HiBase を複数のMacintosh 間で共有してご利用になる場合や、Web サイトを運用する場合は、まず最初に「**HBServer** (**HiBase** の複合サーバ)」を起動する必要があります。

HiBase を 1 台のMacintosh 上でのみご利用になる場合 (「Single」フォルダ内の基本アプリケーションをご利用になる場合)、「**HBServer**」の起動を行う必要はありません。

ネットワーク環境で「**HiBase** の運用 / 管理」を行う方は...

➡ 次を参考に「**HBServer**」を起動してください。

HiBase を

1 台のMacintosh 上でのみご利用になる方...

(Webサイトを運用しない場合) あるいは、

ネットワーク環境で、「データベース / Web サイト」を利用するだけの方 (サーバの運用 / 管理を行わない方) は...

➡ 以降を読み飛ばし、「**Session** を利用してみましょう」にお進みいただいても構いません。

「**HBServer**」を起動するときは、次のように操作します。

「Multi」フォルダの中の

「**HBServer**」のアイコンを選択し、

ファイルメニューから「開く」を選択します。

「**HBServer**」のアイコンをダブルクリックしても起動できます。



HBServer(68K)



HBServer(PPC)

68K Macintoshでご利用の場合



HBServer(68K)

Power Macintosh でご利用の場合



HBServer(PPC)

- 数秒後、デスクトップに「HiBas Server Group」というタイトルの付いたウィンドウが表示されます。



このウィンドウは、**HiBase** の各「サーバ」と「クライアント」間との接続状況を示しています。

HiBase を共有する複数の端末コンピュータのことを「**クライアント**」といいます。

「データベースサーバ」と「Webサーバ」を利用することにしましょう。

「DBServer」と「WEBServer」の「サービス開始」が
 になっていることを確認してください。

もし になっている場合は、 をクリックしてください。

フォルダのオープン、ディスクドライブの変更、TCP/IPなどのネットワークについての詳細は『マッキントッシュ』や『漢字Talk』付属のマニュアル、各ネットワークに関するのマニュアルを参照してください。

以上で、**HiBase** の「データベースサーバ」と「Webサーバ」の運用が開始されました。

Session を利用してみましょう



HiBase の「データ」を表示する場合は、基本アプリケーションの「**Session**」か、Java アプレットの「**HBBrowser**」利用します。

ここでは、基本アプリケーションの「**Session**」を利用してみましょう。



Session(68K)



Session(PPC)



「Single」または、「Multi」フォルダの中の「Session」のアイコンを選択し、ファイルメニューから「開く」を選択します。

「Session」のアイコンをダブルクリックしても起動できます。

1 台のMacintosh 上でのみご利用の場合 = 「Single」フォルダ

68K Macintosh でのご利用の場合



Session(68K)

Power Macintosh でのご利用の場合



Session(PPC)

ネットワーク環境でのご利用の場合 = 「Multi」フォルダ

68K Macintosh でのご利用の場合



Session(68K)

Power Macintosh でのご利用の場合



Session(PPC)

「Session」のアイコンが表示されていないときは、フォルダをオープンしたり、ディスクドライブを変更して捜してください。

フォルダのオープン、ディスクドライブの変更などについては、『マッキントッシュ』や『漢字Talk』付属のマニュアルを参照してください。

☐ 「Multi」フォルダ内のアプリケーションをご利用の場合は、「接続ノード」を設定するパネルが表示されます。

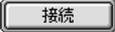
「Single」フォルダ内のアプリケーションをご利用の場合、「接続ノード」の設定パネルは表示されません。

「ホスト名」と「ポート番号」を入力します。

「ホスト名」には、サーバの「ドメイン名」または、「IP アドレス」などのサーバアドレスを入力してください。

「ポート番号」には、「サーバ」が利用している「データベースのポート番号（初期値= 3330）」を入力してください。



 をクリックします。

- ☐ 数秒後、デスクトップに「セッション一覧」というタイトルの付いたウィンドウが表示されます。

以上で「**Session**」が起動しました。

基本操作を覚えてください

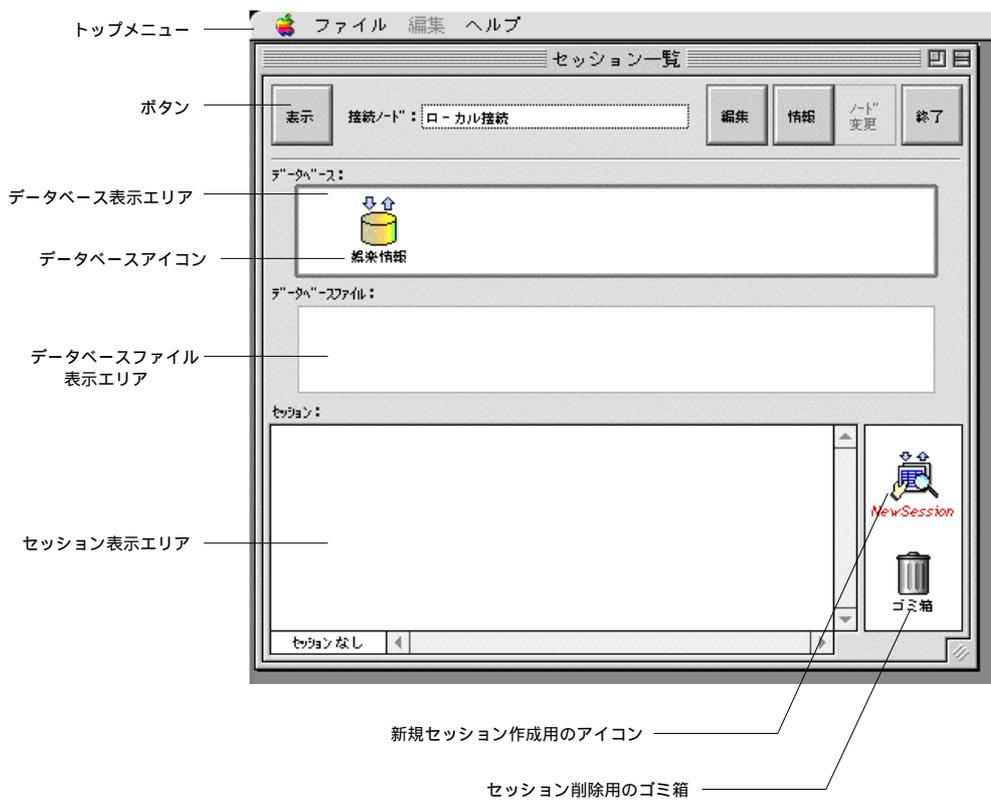


「**Session**」を起動すると、「**セッション一覧**」というタイトルの付いたウィンドウが表示されます。

このウィンドウは、**あなたと HiBase をつなぐ窓**です。

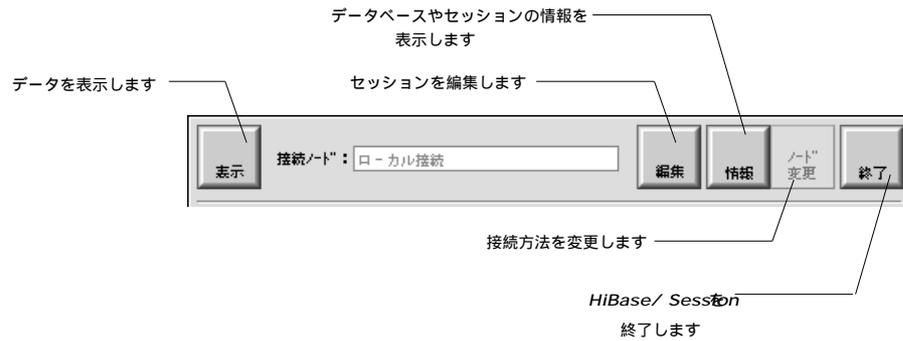
詳しくは追って説明しますので、ここでは示された内容の概略だけを覚えてください。

【HiBase/ Session の「セッション一覧」ウィンドウ】

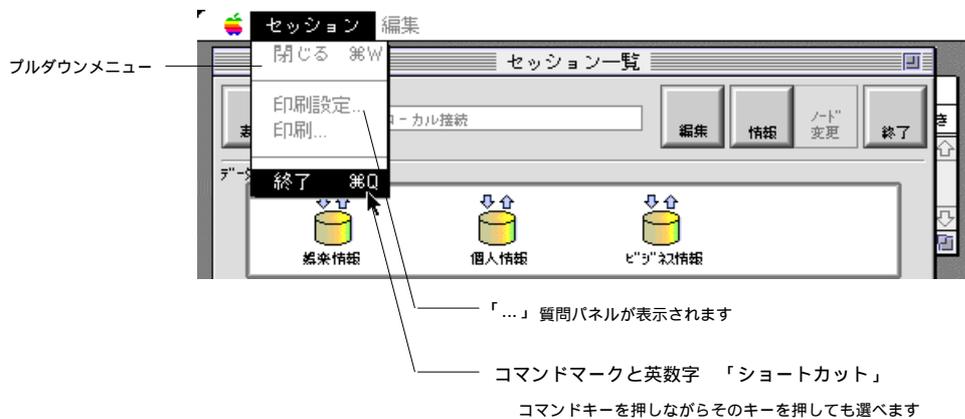


「Session」の操作は、**HiBase**との会話が中心です。

ウィンドウ上部に「トップメニュー」やいろいろな「ボタン」が表示されていますね。あなたはこの「メニュー」や「ボタン」を選んで、**HiBase**に「～しよう！」と声をかければよいのです。



その作業を実行するために、「何を？」や「どんなふうに？」というやり取りが必要な場合は、「メニュー」や「ボタン」の選択後、質問パネルが表示されます。



「データベース」の構成を見てみましょう



ここからは、実際に画面でデータを見ながら、「データベース」の構成について学びましょう。

このマニュアルは、先のインストール手順にしたがって、マスターディスクからコピーした **HiBase** の運用サンプルの構成を例にとって説明していきます。

「データベース表示エリア」をご覧ください。

「娯楽情報」という名前の「データベースアイコン」がありますね。



「データベース表示エリア」には、現在あなたが利用することのできる「データベース」が表示されます。



「データベース」や「セッション」に変更を加えた場合は、画面に別の内容が表示されたり、このマニュアルでの説明どおりに動作しない場合もありますのでご注意ください。

(表示内容が違う場合は、結果をイメージしながら「データベース」の構成を覚えてください。)

マスターディスクやインストールについての詳細は、『「マスターディスク」の内容を確認してください』、『**HiBase** をインストールします』をご覧ください。

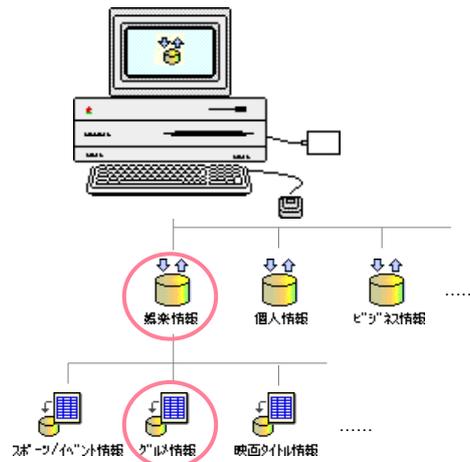


HiBase の運用サンプルは、マスターディスクの「DBSite」フォルダ > 「DB#001」フォルダの中に入っています。

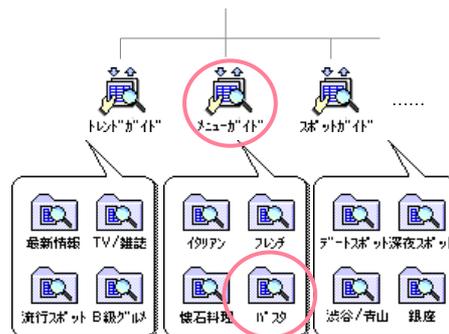
これからご覧いただく **HiBase** の運用サンプルは、
 次のような内容の「検索システム」です。

(丸印の部分をご覧いただきます。)

>> 「娯楽情報」という名前の「データベース」の、
 「グルメ情報」という名前の「データベースファイル」から、



流行スポット、B級グルメ... 情報を集めた「トレンドガイド」や、
 フランス料理、懐石料理... 情報を集めた「メニューガイド」、
 デートスポット、渋谷/青山... 情報を集めた「スポットガイド」... など、



さまざまな「条件」で、データを検索するシステムです。<<

「データベース」を開いてみましょう



さっそく、サンプル「データベース」の中を見てみましょう。

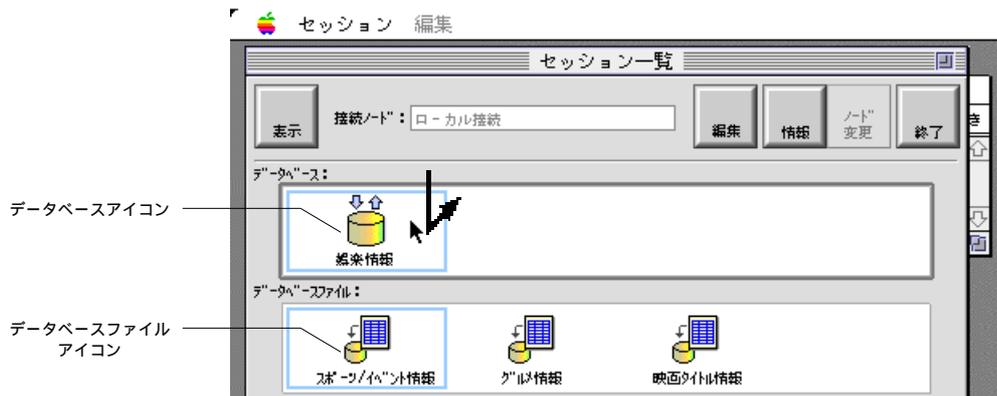
「データベース表示エリア」の枠が太くなっていることを確認してください。

もし枠が太くなっていない場合は、「データベース表示エリア」の中をクリックして枠を太くしてください。
このように、各「表示エリア」の中をクリックし、枠を太く表示することを「～表示エリアを選択する」といいます。



をクリックします。

「データベースアイコン」が枠で囲まれ、「データベースファイル表示エリア」に「データベースファイルアイコン」が表示されます。



この状態は、「娯楽情報」という「データベース」の中に、「スポーツ/イベント情報」、「グルメ情報」... などの「データベースファイル」が保管されているということです。

このように、「アイコン」をクリックし、枠で囲まれた状態にすることを「アイコンを選択する」といいます。

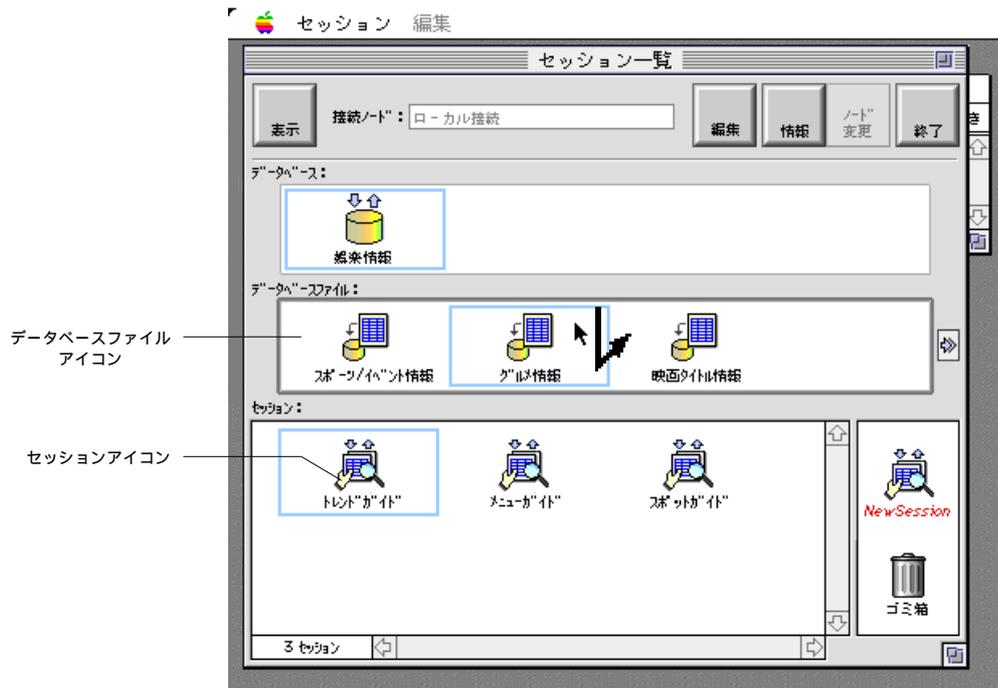
「データベースアイコン」を選択し、「データベースファイルアイコン」を表示することを「データベースを開く」といいます。

もし、「データベース」内にたくさんの「データベースファイル」が保管されている場合は、「表示エリア」の外側にスクロール用のツール ( ) が表示されます。

同じようにして、「データベースファイル」を開いてみましょう。

 をクリックします。
グルメ情報

「セッション表示エリア」に「セッションアイコン」が表示されます。



この状態は、「グルメ情報」という「データベースファイル」の中に、「トレンドガイド」、「メニューガイド」...などの「セッション」が保管されているということです。

もうお気づきですね。

「データベース」>「データベースファイル」>「セッション」は、「デスクトップ」での「フォルダ>ファイルの関係」と同じような階層構造になっています。

「セッション」を開いてみましょう



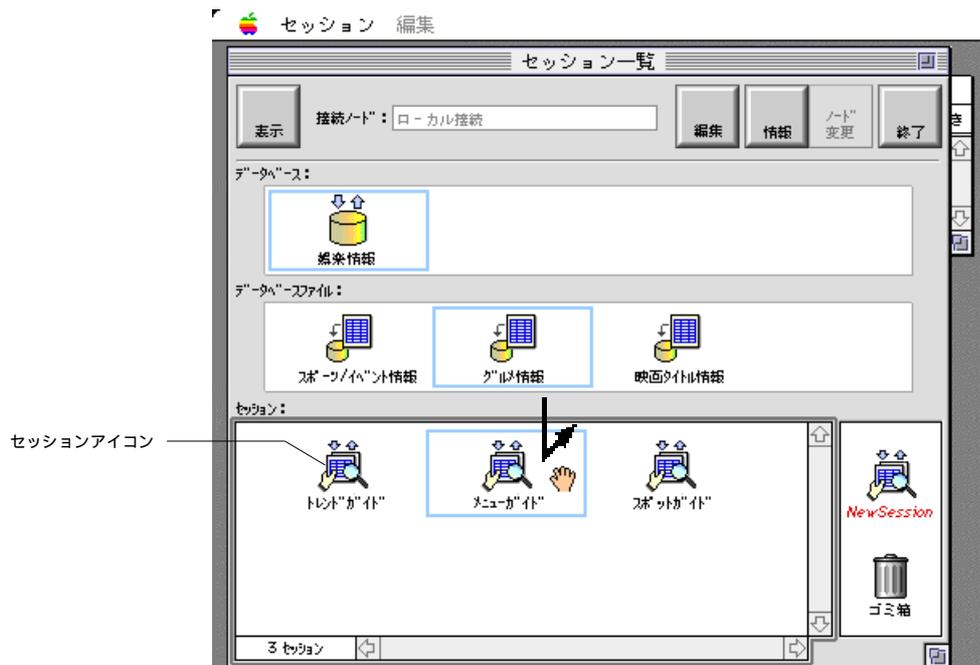
次に、サンプル「セッション」を開いてみましょう。



をクリックします。

メニュー

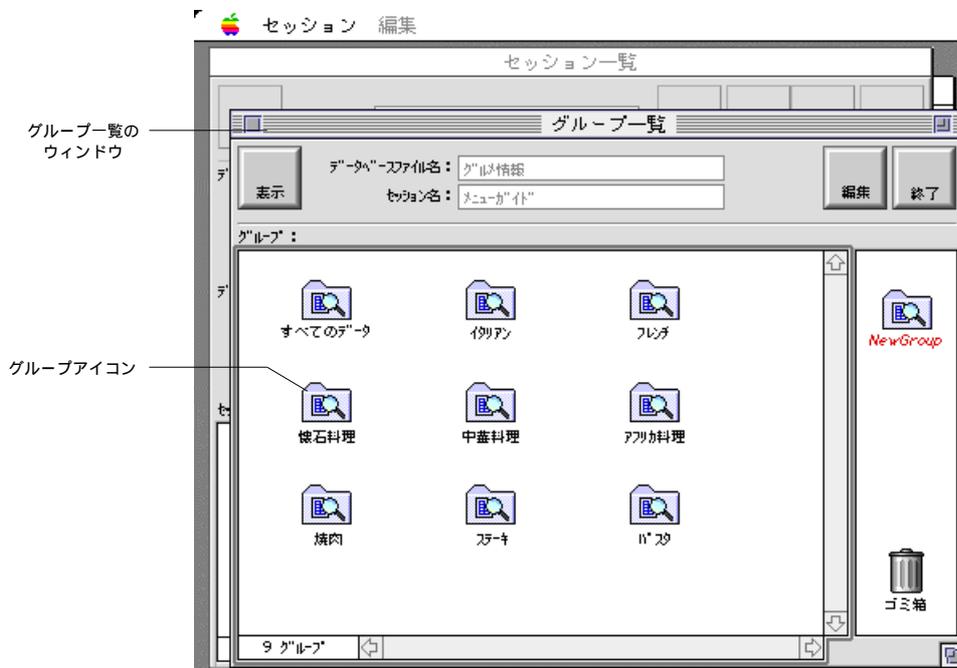
「セッションアイコン」が枠で囲われます。



をクリックします。

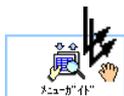
「グループ一覧」というタイトルのウィンドウがもう1枚表示されます。

このウィンドウを「グループ一覧」のウィンドウといいます。



「グループ表示エリア」には、さまざまな名前の「グループアイコン」が並んでいますね。

この状態は、「メニューガイド」という「セッション」の中に、「イタリアン」、「フレンチ」...などの「グループ」が保管されているということです。



「グループ一覧」のウィンドウは、「セッションアイコン」をダブルクリックしても表示することができます。

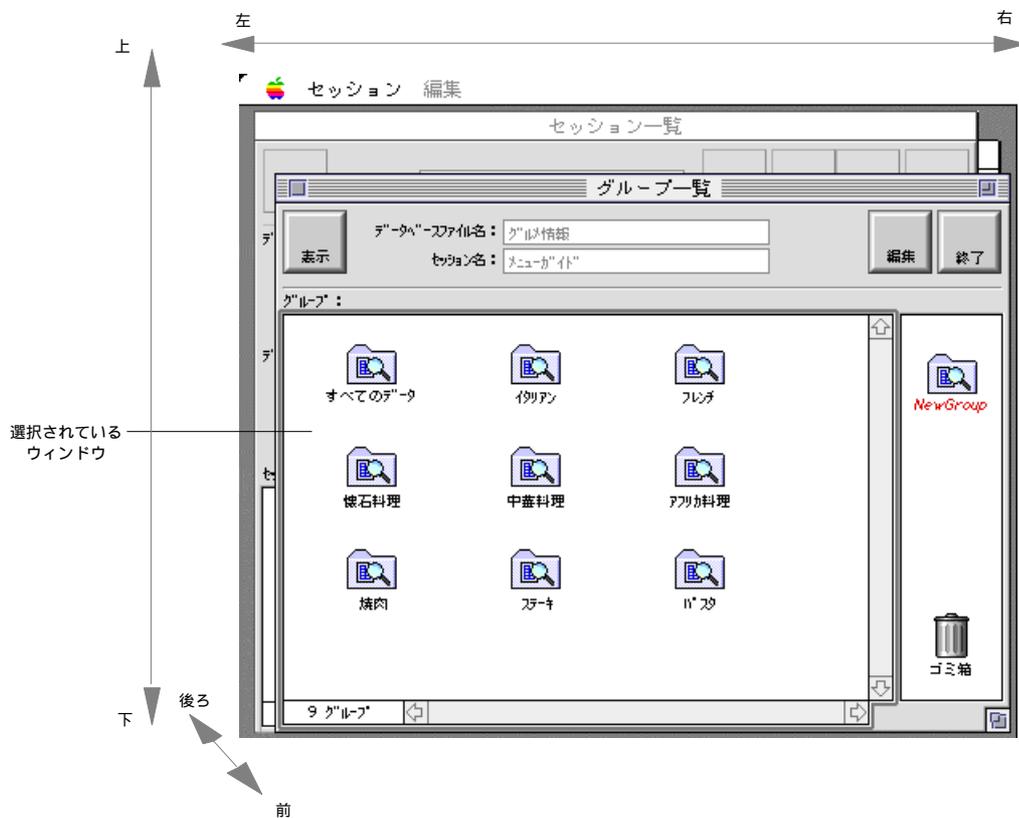
このように、「**Session**」で作業をすると、いろいろな種類の「**ウィンドウ**」や「**パレット**」が表示されます。

新しくオープンした「ウィンドウ」は、基本的に前に表示されていた「ウィンドウ」の前に重なります。

「ウィンドウ」の前後関係を、用紙の前後関係同様に「前と後ろ」といいます。

作業の対象となる「ウィンドウ」は、一番手前に表示されている「ウィンドウ」か、タイトルバーやポインタ、カーソルなどがきちんと表示されている「ウィンドウ」です。

作業する「ウィンドウ」を決めることを「ウィンドウの選択」といいます。



これ以降、画面に表示されたウィンドウのおさまりが悪く、操作がし難いと感じた場合は、以下のようにして、**随時ウィンドウの位置やサイズを調整してください。**

「ウィンドウ」を選択するときは...

作業したい「ウィンドウ」をクリックします。

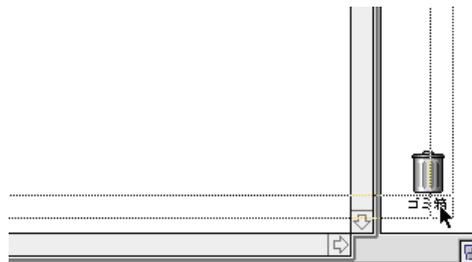
「ウィンドウ」や「パレット」を移動するときは..



タイトルバー

ポインタをタイトルバーに合わせ、マウスのボタンを押したまま希望する位置まで移動し、ボタンを離します。

「ウィンドウ」や「パレット」を移動するときは..



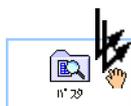
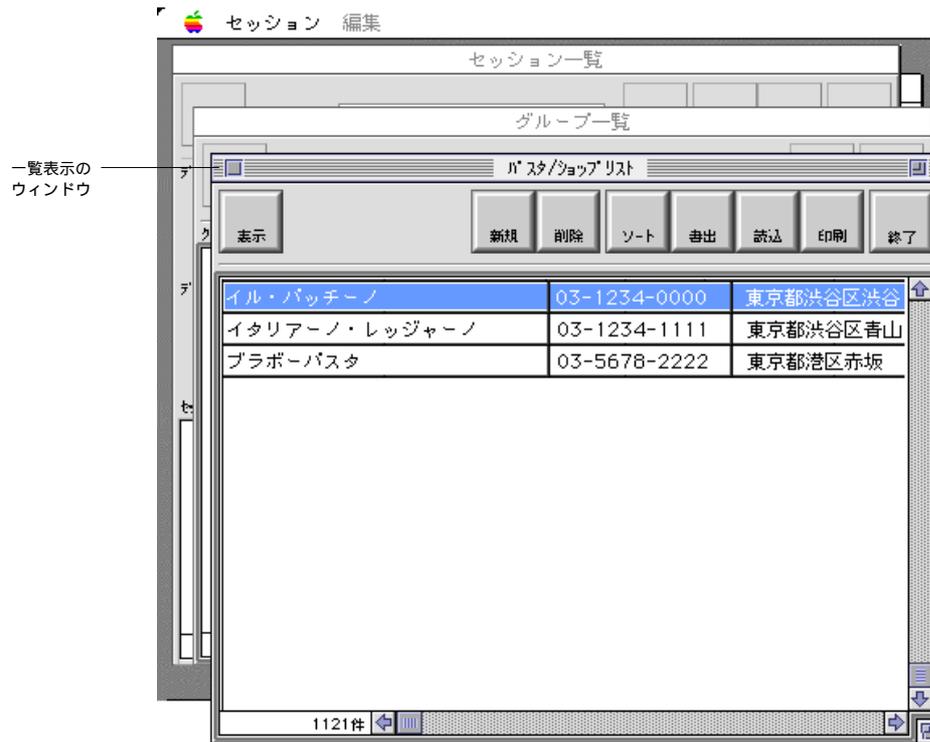
ズームボックス

ポインタをウィンドウ右下のズームボックスに合わせ、マウスのボタンを押したまま、希望するサイズまで移動し、ボタンを離します。

引き続き、サンプル「グループ」を開いてみましょう。

 をクリックし、 をクリックします。

「パスタ/ショップリスト」というタイトルのウィンドウがもう1枚表示されます。

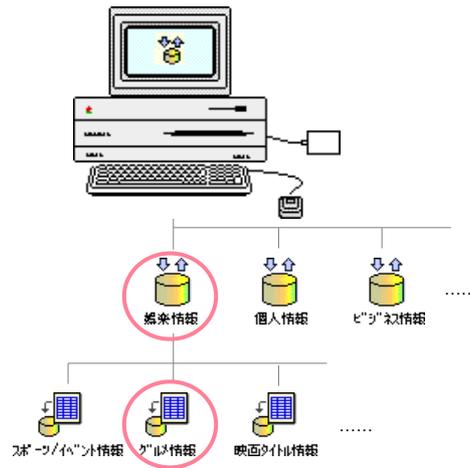


このウィンドウを「一覧表示」のウィンドウといいます。

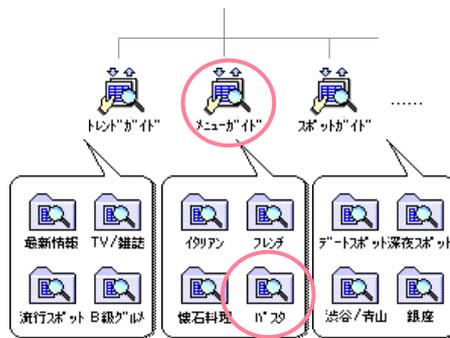
「一覧表示」のウィンドウは、「グループアイコン」をダブルクリックしても表示することができます。

いま表示されたデータは、

「娯楽情報」という「データベース」の、
「グルメ情報」という「データベースファイル」に
保管されているデータのうち、



「パスタ」という「グループ」の検索条件に該当するデータです。



このように、「Session」は、「データベース」に保管されている膨大なデータの中から、必要な条件のデータだけを絞りこんで表示することができます。

もし大量のデータがある場合は、下方向の「スクロールアロー ()」をクリックすると、続きのデータが次々に表示されます。



「一覧表示」ウィンドウのデータは、ちょうど巻物のようにになっています。何ページにもわたる大量のデータは、限られたウィンドウ内に区切られて表示されます。

ウィンドウの左下の「レコードボックス ()」を見て下さい。

「××件」と表示されていますね。

これは、いま選択されているデータの総件数を示しています。

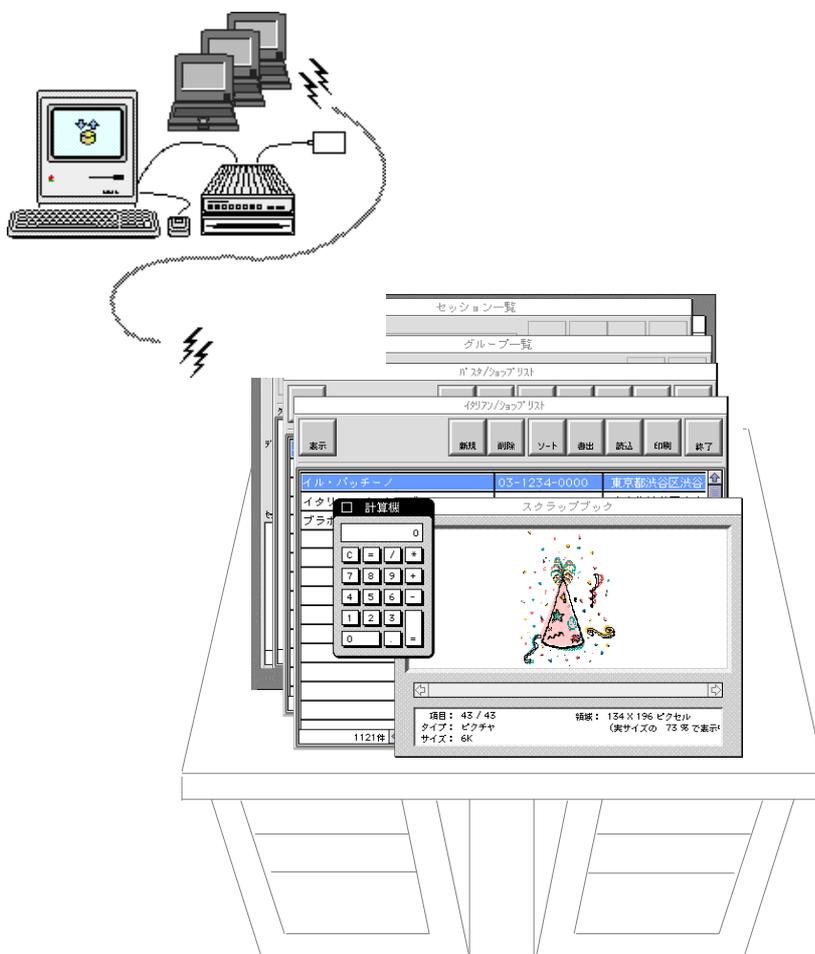
もう一度、「グループ一覧」のウィンドウを選択し、別の「グループ」を開いてみてください。

「一覧表示」のウィンドウがもう1枚表示されますね。

このように、「Session」は、いろいろな条件のデータを同時に表示することができます。

もちろん、「Session」での作業中も、「ワープロ」など他の「アプリケーション」や「計算機」「スクラップブック」などの「デスクアクセサリ」を呼び出すことができます。

HiBaseを使うと、遠隔地にあるさまざまな情報や、机の上に散乱しているメモが、あなたのMacintoshの中にすっぽり納まります。



「レイアウト」を切り替えてみましょう



最後に、「レイアウト」を切り替えてみましょう。

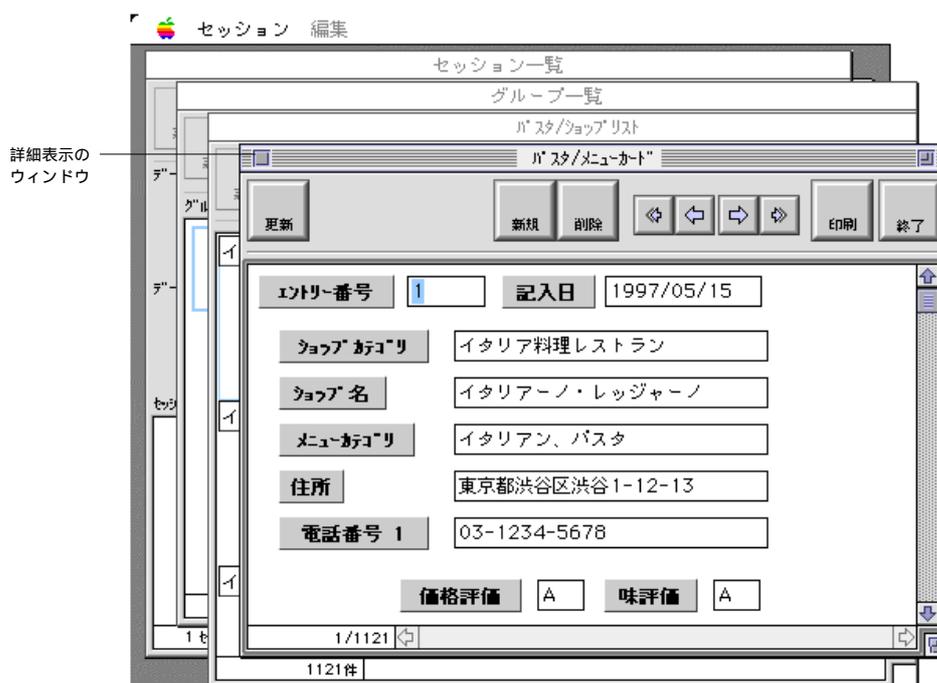
「パスタ/ショップリスト」のウィンドウを選択し、一番上のレコードが選択されていることを確認してください。

もし選択されていない場合は、一番上のデータをクリックしてください。
このように、データをクリックし、そのレコード全体を選ぶことを「レコードを選択する」といいます。



をクリックします。

- 「パスタ/メニューカード」というタイトルのウィンドウがもう1枚表示されます。



このウィンドウを「詳細表示」のウィンドウといいます。

「詳細表示」のウィンドウは、「一覧表示」のウィンドウの「レコード」をダブルクリックしても表示することができます。

「詳細表示」のウィンドウを表示すると、1レコードごとの内容がカード状に表示されます。

ウィンドウの左下の「レコードボックス()」をご覧ください。
「x x / x x」と表示されていますね。

これは、「いま選択されているデータが何件目か / 総件数」を示しています。

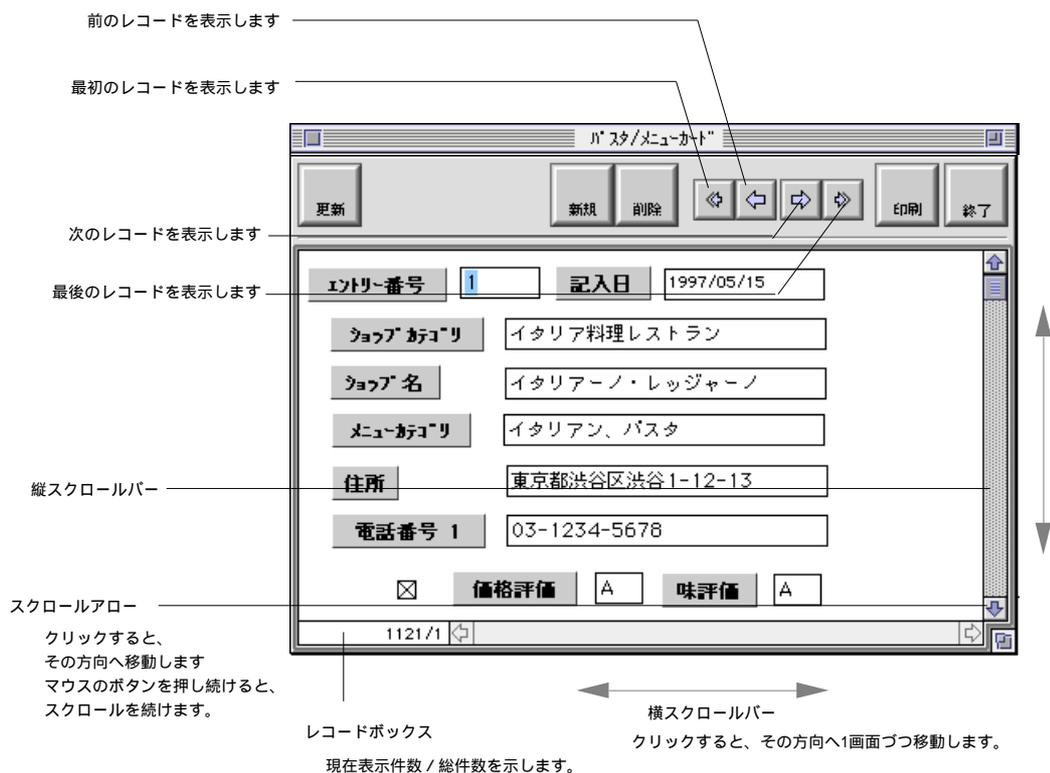
 をクリックしてみてください。

続きのレコードが表示されますね。

 をクリックして、もう一度前のレコードに戻りましょう。

先頭のレコードを表示する場合は  を、

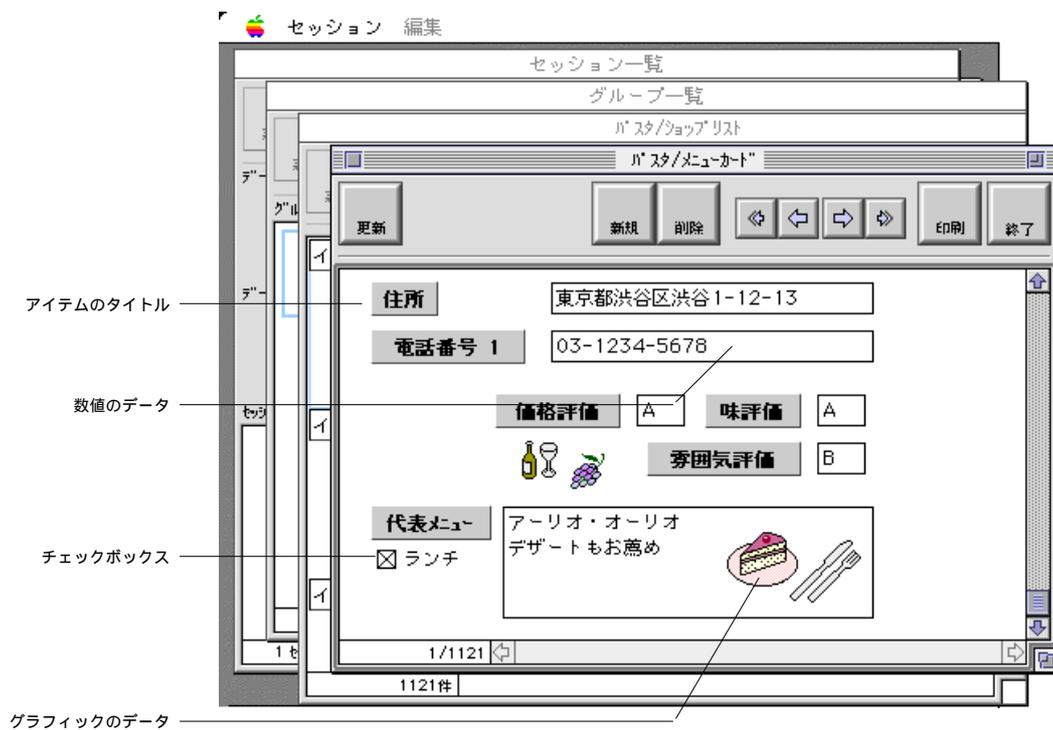
最後の次のレコードを表示する場合は  をクリックします。



スクロールして、下の内容を表示してみましょう。

ご覧になってわかるとおり、**HiBase**の「データベース」は、データの中に文章や数値だけでなく、**絵や音声**を入れることもできます。

さらに、「**Session**」には、**背景に写真を貼り込んだり、ラジオボタンやチェックボックスをセットしたり...**と、さまざまな編集機能が用意されています。



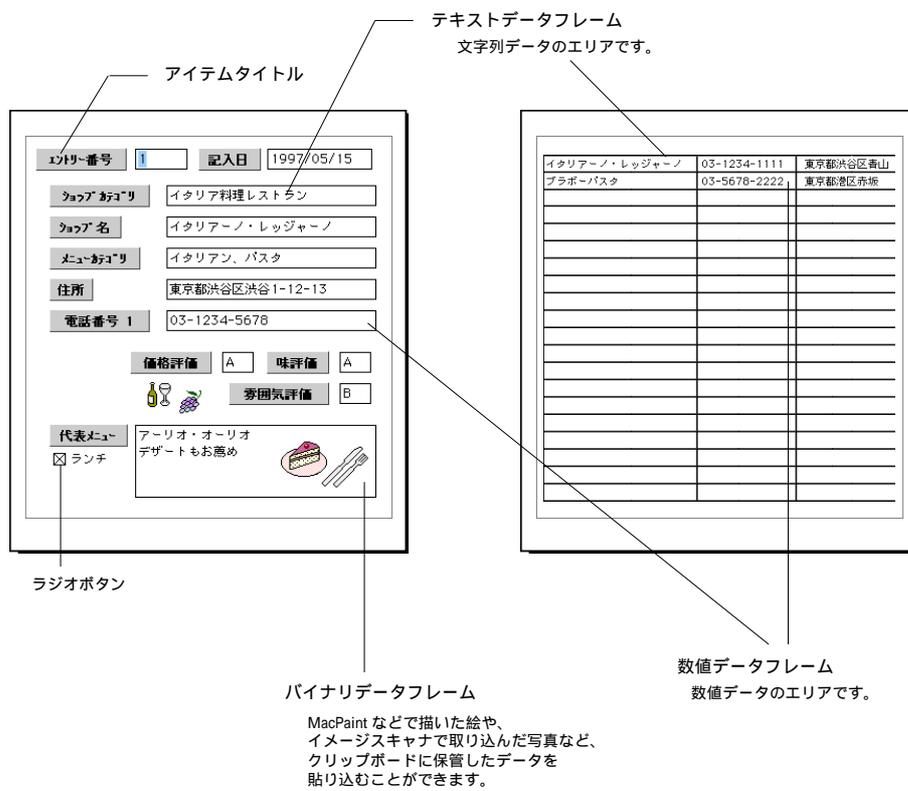
このように、各項目の配置や、絵や音声、ラジオボタン、チェックボックスのセットなど、データの表示方法の「設計図」にあたるものを「**レイアウト**」といいます。

ここでは「詳細表示」のウィンドウを説明しましたが、

HiBase の「セッション」は、
「詳細表示用」と「一覧表示用」の
2つの「レイアウト」を持っています。

【 詳細表示用のレイアウト 】

【 一覧表示用のレイアウト 】



Session を終了します

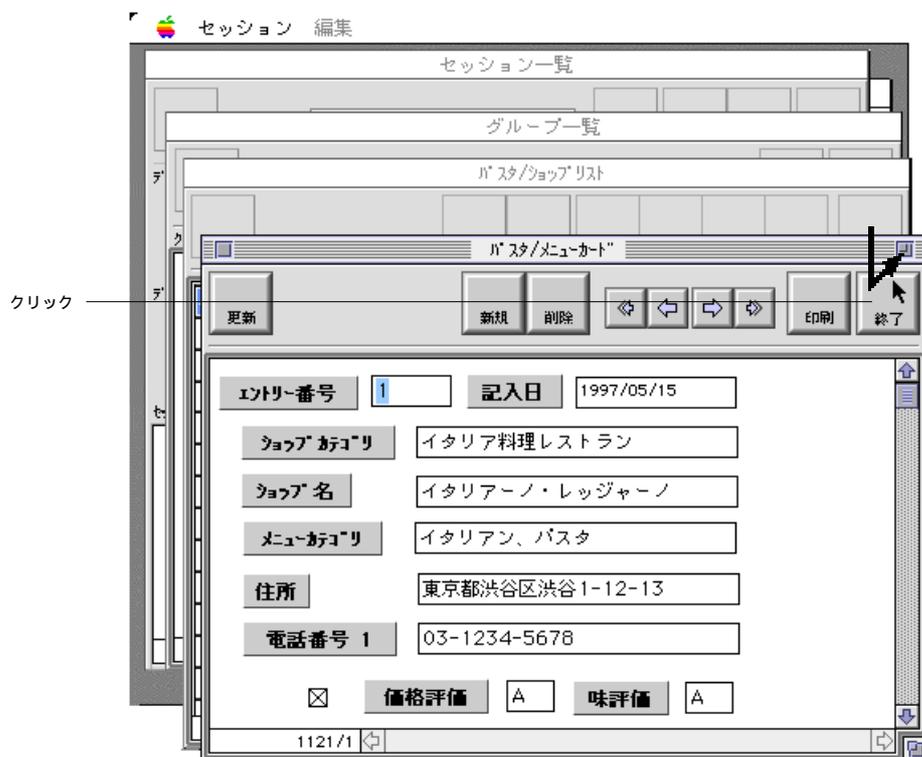


以上で、**HiBase** の基本操作と「データベース」の構成についてのひととりの学習は終わりです。

「**Session**」での作業をいったん終了しましょう。

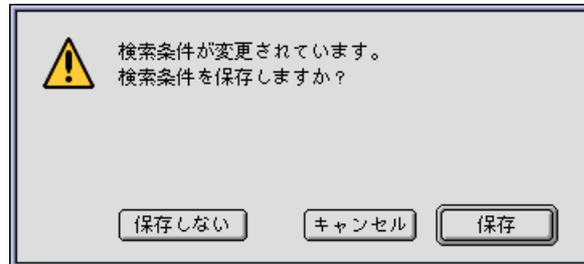
 をクリックします。

 オープンしているすべてウィンドウが閉じて、ファインダに戻ります。



セッションメニューから「終了」を選択しても「**Session**」を終了することができます。

 もし、次のようなメッセージが表示されたら.....



- 「セッション」に何か修正が加えられたということです。保存の有無を選択してから終了してください。

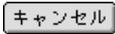
修正して終了するときは ...

 をクリックしてください。

修正しないで終了するときは ...

 をクリックしてください。

終了するのをやめるときは...

 をクリックしてください。





第3章

H i B a s e

Tutorial...



この章では、**HiBase**の各「基本アプリケーション」や「Java アプレット」を、具体的な実務でご利用いただく「運用例」を、ステップ・バイ・ステップで説明します。

ビギナーの方は、実際に操作しながら読みましょう。

特に、[ここ](#)に続く文章に注目してください。
段階的な操作手順が自然にマスターできます。



新しいデータベースを作ってみましょう



Tutorial...

この章は、第2章の「**HiBase** のデータを見てみましょう」でご覧いただいた「検索システム」の構築 / 運営を例にあげ、**HiBase** の各「基本アプリケーション」と「Java アプレット」の操作方法を説明します。

一連の作業を、標準的な手順にそって説明していきますが、次に該当する方は、以降を読み飛ばし、指定ページにお進みいただいても構いません。

HiBase を

1台のMacintosh上でご利用になる方... あるいは、
ネットワーク環境で「**HiBase** の運用 / 管理」を行う方は...

➡ 次の『**HButil** をスタートします』以降を
順にお読みください。

ネットワーク環境でデータベースを利用するだけの方は...

➡ 以降を読み飛ばし、『**新しいセッションを作ってみましょう**』
にお進みいただいても構いません。

「データの表示 / 編集」だけを行う方は...

➡ 以降を読み飛ばし、『**データを編集してみましょう**』にお進み
いただいても構いません。

「基本アプリケーション」を使わず、
「Java アプレット」をご利用になる方は...

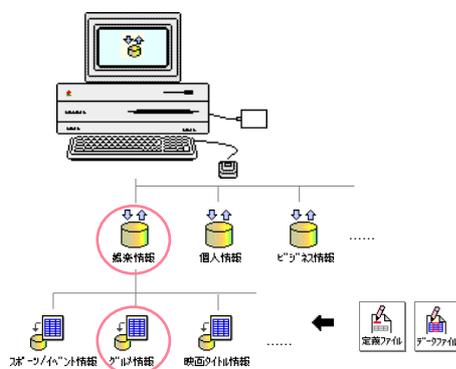
➡ 以降を読み飛ばし、『**Java アプレットを使ってみましょう**』に
お進みいただいても構いません。

【 作業手順 】

第2章の「**HiBase**のデータを見てみましょう」でご覧いただいた「検索システム」を構築/運営します。（丸印の部分の説明します。）

1. アドミニストレーション（「データベース」の運用/管理）

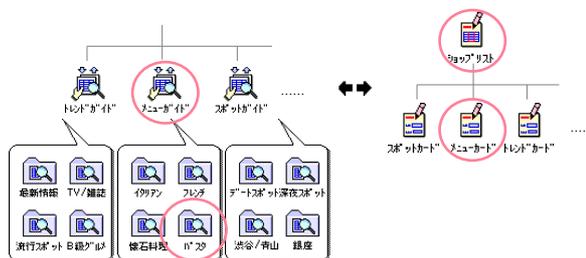
>> 「娯楽情報」という名前の「データベース」の中に、「グルメ情報」という名前の「データベース・ファイル」を作り、「インデックスファイル」と「データファイル」をロードします。



2. セッション・オーサリング（「データ」の表示設計）

>> 「グルメ情報」の中に「メニューガイド」という名前の「セッション」を作り、「ショッピングリスト」という名前の「一覧表示レイアウト」と「メニューカード」という名前の「詳細表示レイアウト」をセットします。

次に「メニューカテゴリ」という名前の項目に「パスタ」という文字列を含む「パスタ」という名前の「グループ」を作ります。



3. ブラウジング（「データ」の表示/編集）

>> 「パスタ」という名前の「グループ」のデータを表示し、データの修正や追加、並び変えを行います。

HBUtil をスタートします



では、作業をはじめましょう。

新しい「データベース」を作成する場合は、基本アプリケーションの「HBUtil」を利用します。

「HBUtil」をはじめめる前に...



HiBase をネットワーク環境でご利用の方は、HiBase の「データベースサーバ」が運用していることを確認してください。

「データベースサーバ」の準備ができていない場合は...

- ➡ 『HiBase のデータを見てみましょう』を参考に
「HBServer」を起動し、
「データベースサーバ」のサービスを開始してください。

HiBase を 1 台の Macintosh 上でのみご利用になる場合、
「HBServer」を起動する必要はありません。



「HBUtil」は、ご利用中の Macintosh で、基本アプリケーションの「Session」、または、Java アプレットの「HBUtil」や「HBBrowser」が実行している間は、ご利用になれません。

「Session」が起動している場合は...

- ➡ 『Session を終了します』を参考に
いったん「Session」を終了してください。

「HiBase の Java アプレット」を利用している場合は...

- ➡ 『Java アプレットを使ってみましょう』を参考に
いったんアプレットを終了してください。

基本アプリケーションの「**HBUtil**」を起動するときは、
次のように操作します。



「Single」または、「Multi」フォルダの中の
「HBUtil」のアイコンを選択し、
ファイルメニューから”開く”を選択します。

「HBUtil」のアイコンをダブルクリックしても起動できます。

1台のMacintosh上でのみご利用の場合 = 「Single」フォルダ

68K Macintoshでご利用の場合



HBUtil(68K)

Power Macintoshでご利用の場合



HBUtil(PPC)

ネットワーク環境でご利用の場合 = 「Multi」フォルダ

68K Macintoshでご利用の場合



HBUtil(68K)

Power Macintoshでご利用の場合



HBUtil(PPC)

「HBUtil」のアイコンが表示されていないときは、フォルダをオープンしたり、ディスクドライブを変更して捜してください。

フォルダのオープン、ディスクドライブの変更などについては、『マッキントッシュ』や『漢字Talk』付属のマニュアルを参照してください。

☐ 「Multi」フォルダ内のアプリケーションをご利用の場合は、「接続ノード」を設定するパネルが表示されます。

「Single」フォルダ内のアプリケーションをご利用の場合、「接続ノード」の設定パネルは表示されません。

「ホスト名」と「ポート番号」を入力します。

「ホスト名」には、サーバの「ドメイン名」または、「IPアドレス」などのサーバアドレスを入力してください。

「ポート番号」には、「サーバ」が利用している「データベースのポート番号（初期値= 3330）」を入力してください。



をクリックします。

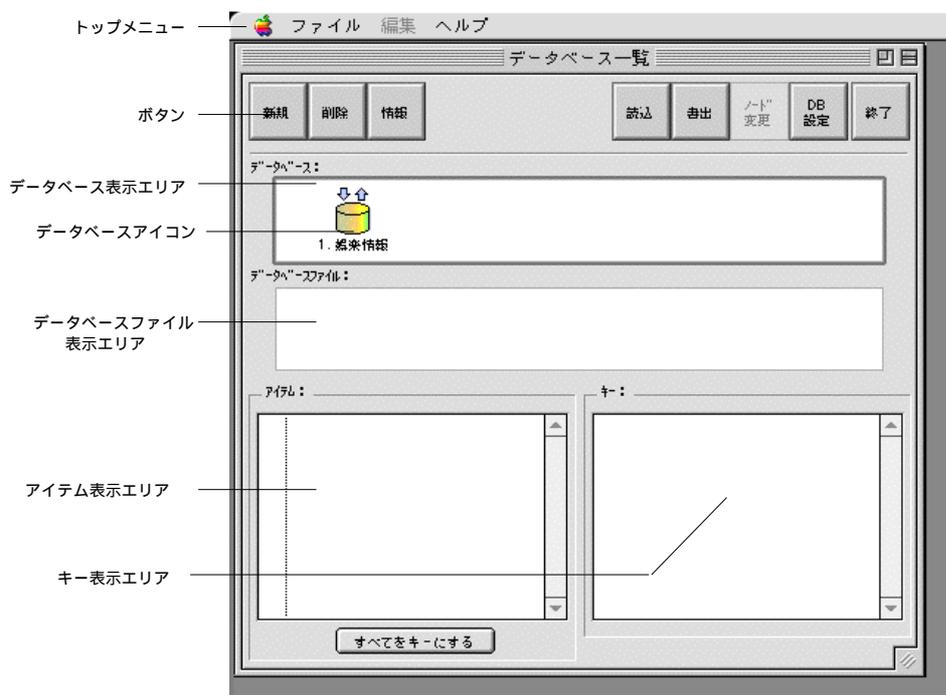
- 数秒後、デスクトップに「データベース一覧」というタイトルの付いたウィンドウが表示されます。

以上で「**HBUtil**」が起動しました。

「データベース一覧」のウィンドウは、
「HBUtil」の基本画面です。

各「表示エリア」には、現在あなたが利用することのできる「データベース」や「データベースファイル」が一覧表示されます。

【HBUtilの「データベース一覧」ウィンドウ】



- ❖ このマニュアルは、先のインストール手順にしたがって **HiBase** をセットアップした場合の構成を例にとって説明していきます。
マスターディスクからコピーした「DBSite」フォルダ内のサンプル「データベース」や「データベースファイル」に変更を加えた場合は、画面に別の内容が表示されたり、このマニュアルでの説明どおりに動作しない場合もありますのでご注意ください。

データベースを作ってみましょう



最初に、次のような新しい「データベース」を作ってみましょう。

・ データベース名 娯楽情報

「**HBUtil**」で、操作の対象となる「データベース」は1つです。

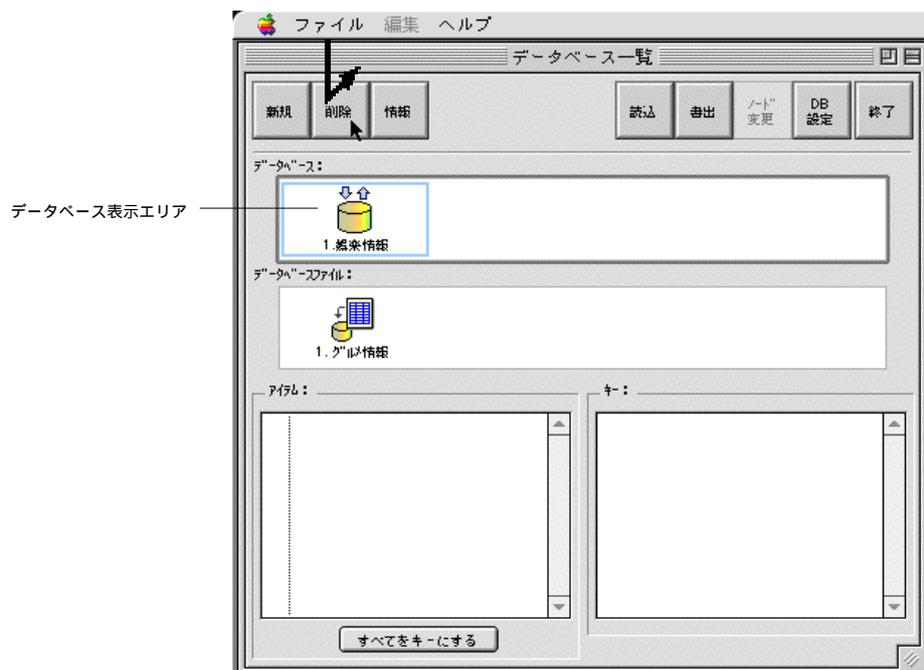
このマニュアルでは、第2章の「**HiBase** のデータを見てみましょう」でご覧いただいた「サンプル データベース」(マスターディスクからコピーした「DBSite」フォルダ内の「サンプルデータベース」) を削除し、新しい「データベース」を作ることになります。

では、サンプル「データベース」を削除します。

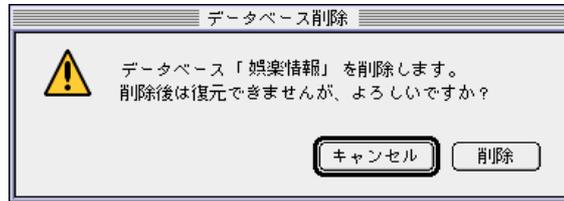
「データベース表示エリア」の枠が太くなっていることを確認してください。

もし枠が太くなっていない場合は、「データベース表示エリア」の中をクリックしてエリアを選択してください。

 を選択し、 をクリックします。



警告パネルが表示されます。



削除 をクリックします。

「データベース」が削除されます。



「サンプルデータベース」を削除したくない場合は、別途「DBSite」フォルダを作成し、アクティブな「データベース」を切り替えることもできます。
(ただし、複数の「データベース」管理は、あまりお勧めできません。)

アクティブな「データベース」の変更などについての詳細は、『オペレーション・マニュアル』をご覧ください。

さっそく、新しい「データベース」を作成しましょう。

もう一度、「データベース表示エリア」の枠が太くなっていることを確認してください。

もし枠が太くなっていない場合は、「データベース表示エリア」の中をクリックしてエリアを選択してください。



をクリックします。



「新規データベース」というタイトルの質問パネルが表示されます。

「データベース名」に「娯楽情報」と入力します。

必要があれば、「コメント」を入力しても構いません。



作成 をクリックします。

「データベース表示エリア」に「娯楽情報」というタイトルの付いた新しい「データベースアイコン」が表示されます。



以上で新しい「データベース」が作成できました。

データベースファイルを作ってみましょう



次に、いま作った「データベース」の中に、次のような新しい「データベースファイル」を作ってみましょう。

- | | |
|-----------------|-------|
| ・ データベースファイル ID | 10 |
| ・ データベースファイル名 | グルメ情報 |



「グルメ情報」(いま作った「データベース」)が選択されていることを確認してください。

もし選択されていない場合は、 をクリックして選択してください。

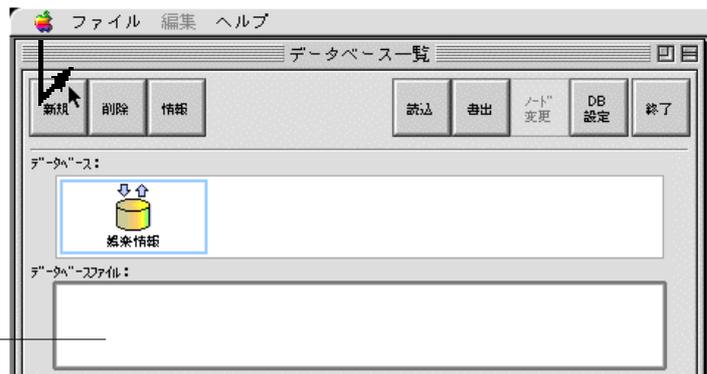
「データベースファイル表示エリア」をクリックします。

 「データベースファイル表示エリア」が選択されます。



をクリックします。

データベースファイル
表示エリア



 「新規ファイル」というタイトルの質問パネルが表示されます。

「ファイル ID」に「1」、「ファイル名」に「グルメ情報」と入力します。

必要があれば、「コメント」を入力しても構いません。



すでに「ファイル ID」が「1」の「データベースファイル」が作成されている場合は、別の番号を入力してください。



作成 をクリックします。

「データベースファイル表示エリア」に「グルメ情報」というタイトルの付いた新しい「データベースファイルアイコン」が表示されます。



以上で新しい「データベースファイル」が作成できました。

アイテムやキーを作ってみましょう



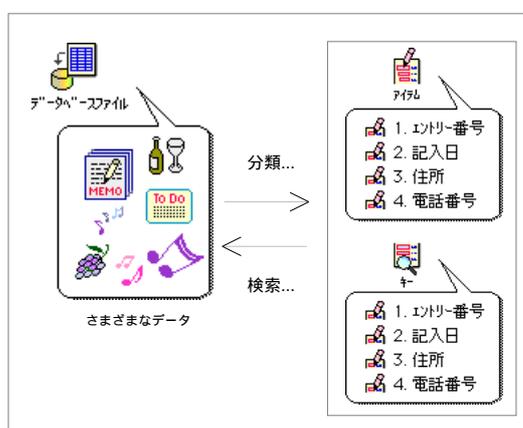
次に、いま作った「データベースファイル」の中身をセットしてみましょう。

作ったばかりの「データベースファイル」は空の入れ物ですが、ここには文字列や数値、グラフィック、音声... など、さまざまな情報を保管することができます。

こうしたさまざまな「データ」を分類するため、「データベースファイル」には、「アイテム」と「キー」をセットすることができます。

「アイテム」とは、データを分類するための項目のことです。

「キー」とは、検索に使う項目のことです。



ここでは、次のような「アイテム」と「キー」を作ってみましょう。

- | | |
|----------------|---------|
| ・ アイテム / キー ID | 1 |
| ・ アイテム / キー名 | エントリー番号 |
| ・ データのタイプ | 数字 |



「1. グルメ情報」(いま作った「データベースファイル」) が選択されていることを確認してください。

もし選択されていない場合は、 をクリックして選択してください。

「アイテム表示エリア」をクリックし、 をクリックします。

☐ 「新規アイテム」というタイトルの質問パネルが表示されます。

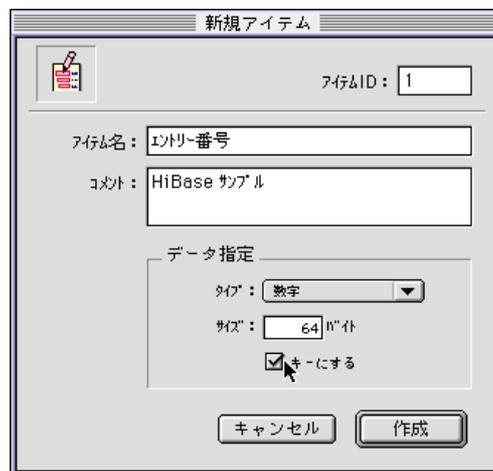
「アイテムID」に「1」、「アイテム名」に「エントリー番号」と入力します。

必要があれば、「コメント」を入力しても構いません。



すでに「アイテムID」が「1」の「アイテム」が作成されている場合は、別の番号を入力してください。

「データ指定」の「タイプ」から「数字」を選択し、
「キーにする」の をクリックし、 にします。



新規アイテム

アイテムID: 1

アイテム名: エントリー番号

コメント: HiBase サンプル

データ指定

タイプ: 数字

サイズ: 64 bit

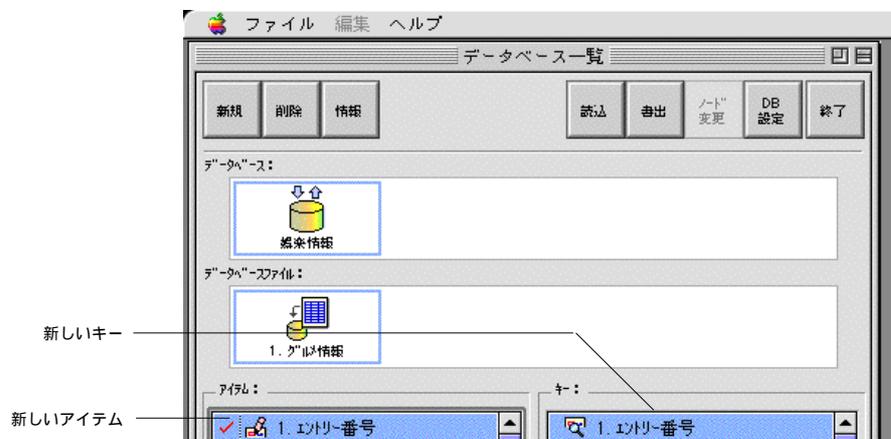
キーにする

キャンセル 作成

 をクリックします。

☐ 「アイテム」や「キー」の表示エリアに、「エントリー番号」というタイトルの付いた新しい「アイテム」と「キー」が表示されます。

以上で新しい「アイテム」と「キー」が作成できました。



同様にして、次のような「アイテム」と「キー」を作ります。

ID	アイテム名	データのタイプ	キーにする
2	記入日	日付	
3	ショップカテゴリ	文字列	
4	ショップ名	文字列	
5	住所	文字列	
6	電話番号 1	数字	
7	電話番号 2	数字	
8	開店時間	時刻	
9	閉店時間	時刻	
10	収容人数	数字	
11	紹介者	文字列	
12	掲載誌	文字列	
13	放映番組	文字列	
14	価格評価	文字列	
15	味評価	文字列	
16	雰囲気評価	文字列	
17	メモ	文字列	
18	メニューカテゴリ	文字列	
19	代表メニュー	バイナリ	x

データを読み込んでみましょう



次に、いま作った「アイテム」や「キー」の中に、**データを読み込んでみましょう。**

「データ」は、「**Session**」や「Java アプレット」を使って入力することもできますが、「フォームファイル」や「データファイル」を作り、基本アプリケーションの「**HBUtil**」で一度に読み込んだ方が効率的です。

- ❖ 「フォームファイル」、「データファイル」とは、「データ」の記述フォームや内容を記述した「テキストファイル」のことです。
「フォームファイル」、「データファイル」についての詳細は、『オペレーション・マニュアル』をご覧ください。

ここでは、先のインストール手順にしたがって、
マスターディスクからコピーした
練習用の「フォームファイル」と「データファイル」を
読み込んでみましょう。

- ❖ マスターディスクやインストールについての詳細は、『「マスターディスク」の内容を確かめてください』、『**HiBase** をインストールします』をご覧ください。
練習用の「フォームファイル」と「データファイル」は、マスターディスクの「DBSite」フォルダの中の「LoadData」フォルダの中に入っています。
「フォームファイル」や「データファイル」に変更を加えた場合は、画面に別の内容が表示されたり、このマニュアルでの説明どおりに動作しない場合もありますのでご注意ください。



「1. グルメ情報」（いま作った「データベースファイル」）が選択されていることを確認してください。

もし選択されていない場合は、 をクリックして選択してください。

 をクリックします。

 「ロード」というタイトルの質問パネルが表示されます。

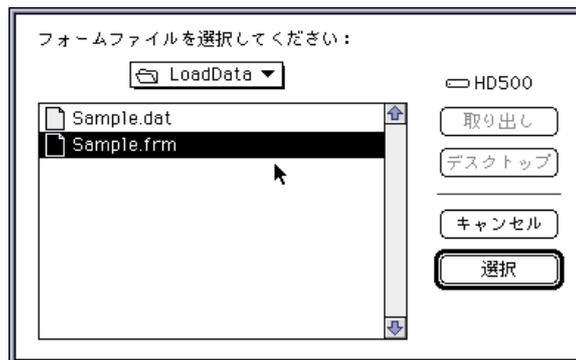
「フォームファイル」の右側の **選択...** をクリックします。

☐ 「フォームファイル」を選択する質問パネルが表示されます。

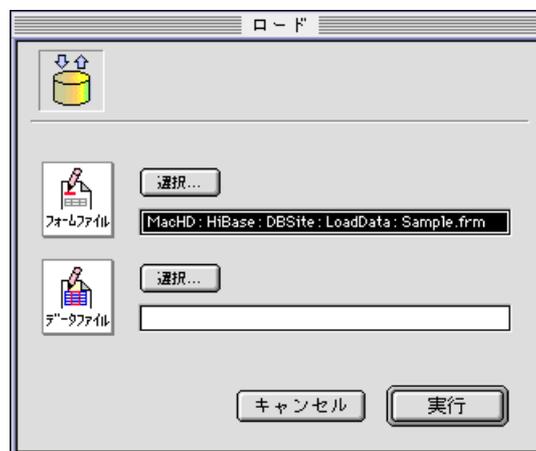
「LoadData」フォルダの中の「Sample.frm」を選択し、

選択 をクリックします。

練習用の「フォームファイル」を別の場所へコピーした場合は、そのファイルを選択してください。



☐ 「保存場所」に「Sample.frm」の保存場所のパスが表示されます。



「データファイル」の右側の **選択...** をクリックします。

☐ 「データファイル」を選択する質問パネルが表示されます。

「LoadData」フォルダの中の「Sample.dat」を選択し、

選択 をクリックします。

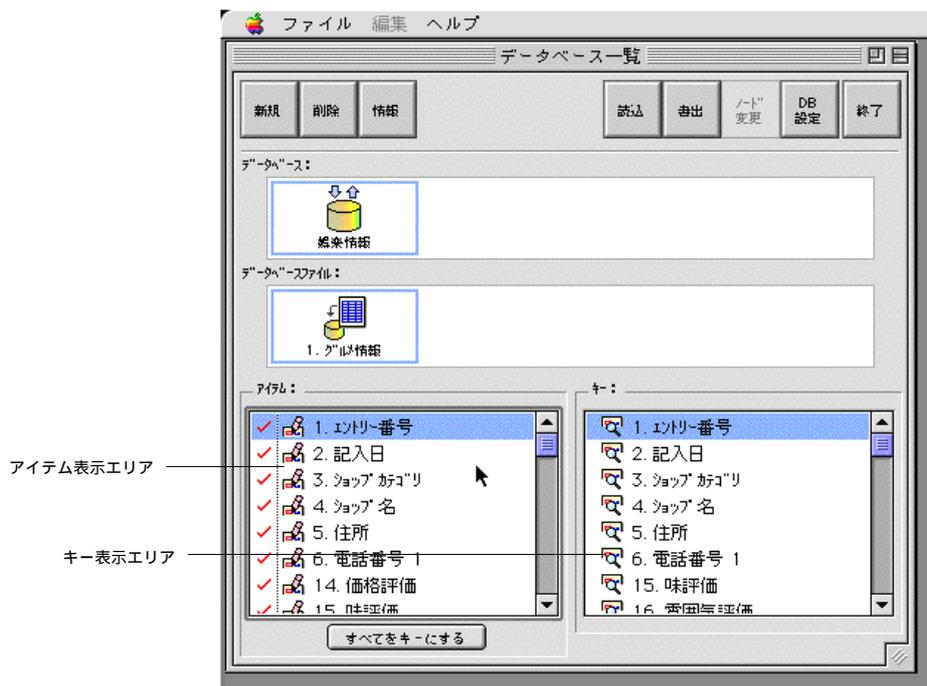
練習用の「データファイル」を別の場所へコピーした場合は、そのファイルを選択してください。

☐ 「保存場所」に「Sample.frm」の保存場所までのパスが表示されます。

実行 をクリックします。

読み込みが終了するまでお待ちください。

☐ 読み込みが終了すると、元の画面に戻ります。



以上で「フォームファイル」と「データファイル」が読み込まれました。

HBUtil を終了します



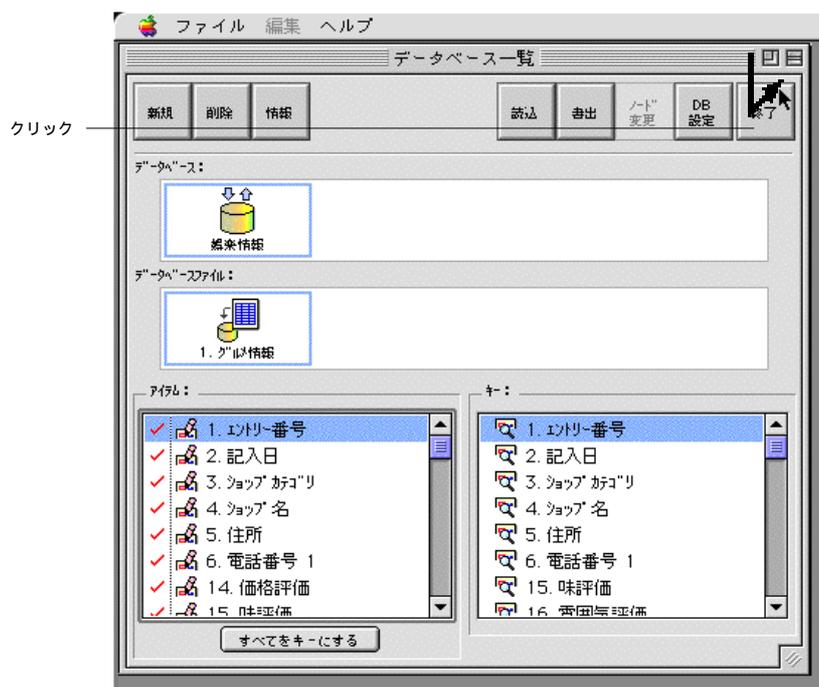
以上で、新しい「データベース」と「データベースファイル」が作成できました。

- ❖ 「データベース管理」の概略がご理解いただけたことと思います。
「データベース管理」についての詳細は『オペレーション・マニュアル』をご覧ください。

「HBUtil」を終了します。

 をクリックします。

☐ 「データベース一覧」のウィンドウが閉じて、ファインダに戻ります。



ファイルメニューから「終了」を選択しても「HBUtil」を終了することができます。

新しいセッションを作ってみましょう



Tutorial...

次は、新しい「セッション」を作成し、「データ」の表示設計（**オーサリング**）を試みましょう。

Session をスタートします

新しい「セッション」を作成する場合は、「**Session**」を利用します。

「**Session**」をはじめる前に...



HiBase をネットワーク環境でご利用の方は、**HiBase** の「データベースサーバ」が運用していることを確認してください。

「データベースサーバ」の準備ができていない場合は...

➡ 『HiBase のデータを見てみましょう』を参考に
「**HBServer**」を起動し、
「データベースサーバ」のサービスを開始してください。

HiBase を1台の Macintosh 上でのみご利用になる場合、
「**HBServer**」を起動する必要はありません。



「**Session**」は、ご利用中の Macintosh で、基本アプリケーションの「**HBUtil**」、または、Java アプレットの「**HBUtil**」や「**HBBrowser**」が実行している間は、ご利用になれません。

基本アプリケーションの「**HBUtil**」が起動している場合は...

➡ 『HBUtil を終了します』を参考に
いったん「**HBUtil**」を終了してください。

「**HiBase** の Java アプレット」を利用している場合は...

➡ 『Java アプレットを使ってみましょう』を参考に
いったんアプレットを終了してください。

「**Session**」を起動します。

「**Session**」の起動についての詳細は、『**Session** を利用してみましょう』をご覧ください。

セッションを作ってみましょう



最初に、いま作成した「グルメ情報」という「データベースファイル」用に、次のような新しい「セッション」を作ってみましょう。

- ・ 対象 データベースファイル グルメ情報
- ・ セッション名 メニューガイド

このマニュアルは、先ほどの練習の『新しいデータベースを作ってみましょう』の手順にしたがって作成した「娯楽情報」>「グルメ情報」の利用を例にとって説明していきます。



「データベース」や「データベースファイル」に変更を加えた場合は、画面に別の内容が表示されたり、このマニュアルでの説明どおりに動作しない場合もありますのでご注意ください。

『新しいデータベースを作ってみましょう』の操作を行なわなかった方は...

- ➡ マスターディスクからコピーした **HiBase** の運用サンプル（「DBSite」）内に、「娯楽情報」>「グルメ情報」という同様の「データベース」、「データベースファイル」が納められていますので、こちらをご利用ください。（内容が一部異なりますが、ここでの練習に支障ありません。）

画面に別の内容が表示されたり、説明どおりに動作しない場合は...

- ➡ 先ほどの練習の『新しいデータベースを作ってみましょう』での操作に誤りがないか、もう一度お確かめください。

「データベース表示エリア」の枠が太くなっていることを確認してください。

もし枠が太くなっていない場合は、「データベース表示エリア」の中をクリックしてエリアを選択してください。

 をクリックします。
編集情報

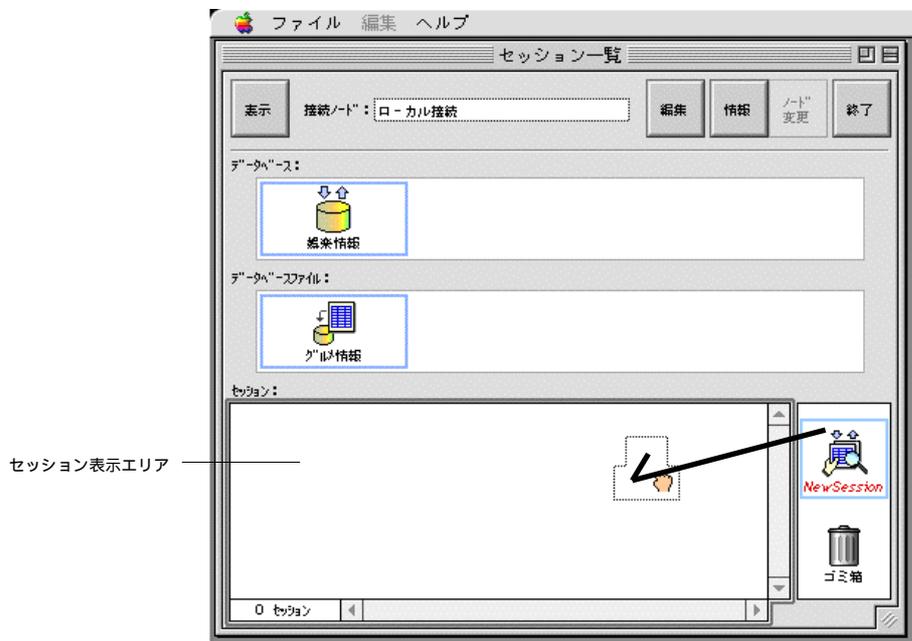
☐ 「データベースファイルアイコン」が表示されます。

 をクリックします。
グループ情報

「セッション表示エリア」の右側の  の上に
NewSession
ポインタを合わせます。

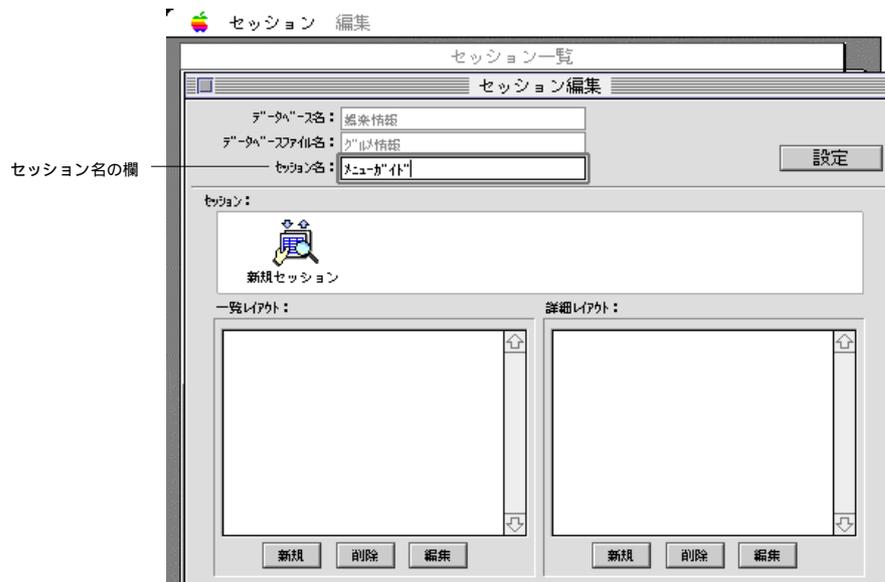
☐ マウスのポインタが  に変わります。

 をドラッグし、「セッション表示エリア」の中に移動します。
NewSession



「セッション編集」というタイトルのウィンドウが表示されます。

「セッション名」の欄を選択し、「メニューガイド」と入力します。



レイアウトを編集してみましょう



引き続き、この「セッション」に、次のような「一覧レイアウト」をセッ
トしてみましょう。

- | | |
|------------|-----------|
| ・ 対象 セッション | メニューガイド |
| ・ 一覧レイアウト名 | ショッピングリスト |

「セッション編集」のウィンドウがオープンしていることを確認してくだ
さい。

もしオープンしていない場合は、

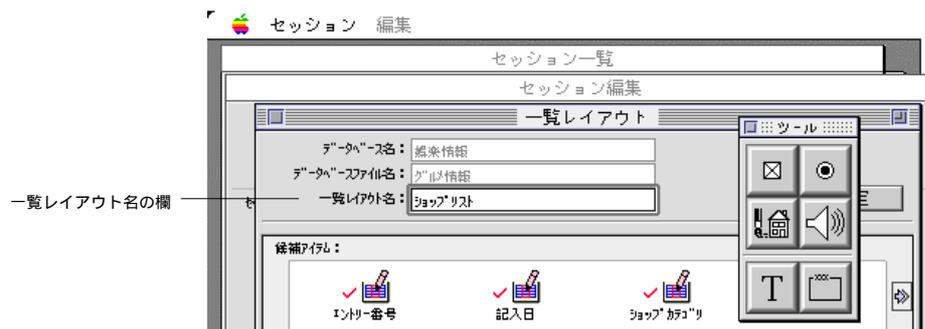
「セッション表示エリア」の  を選択後、  をクリックして
ウィンドウをオープンしてください。

「一覧レイアウト」の下の  をクリックします。

 「一覧レイアウト」というタイトルのウィンドウがもう一枚表示
されます。

このウィンドウは、「一覧表示」用の設計を行なう画面で、「一覧レ
イアウト」のウィンドウといえます。

「一覧レイアウト名」の欄を選択し、
「ショッピングリスト」と入力します。



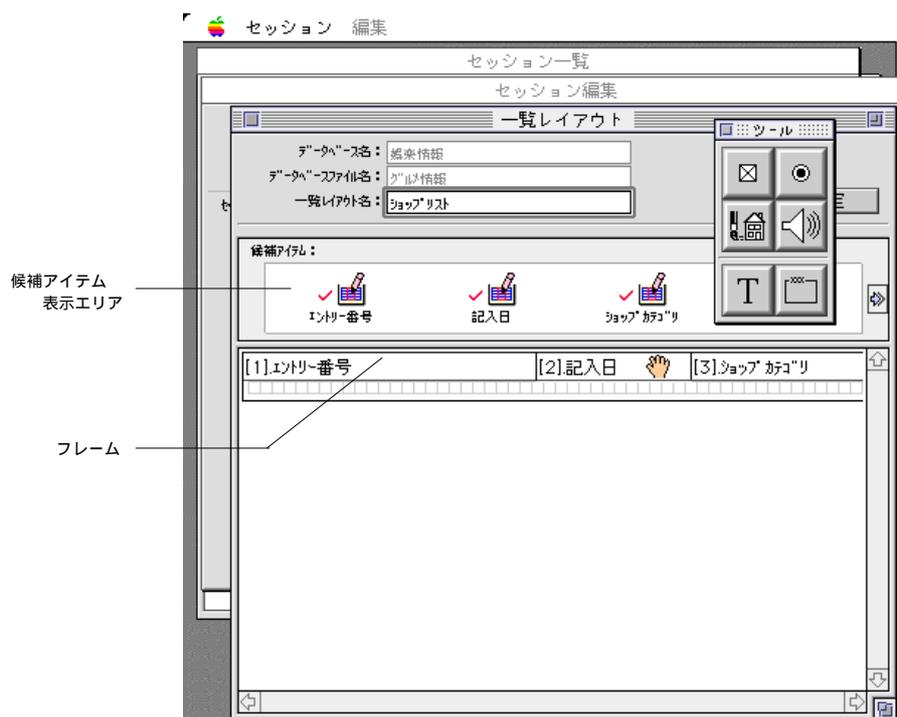
「一覧レイアウト」を編集してみましょう



「候補アイテム表示エリア」をご覧ください。

「エントリー番号」、「記入日」...などの「アイコン」が並んでいますね。

これらの「アイコン」は、データベースファイル「グルメ情報」にセットされている「アイテム」です。



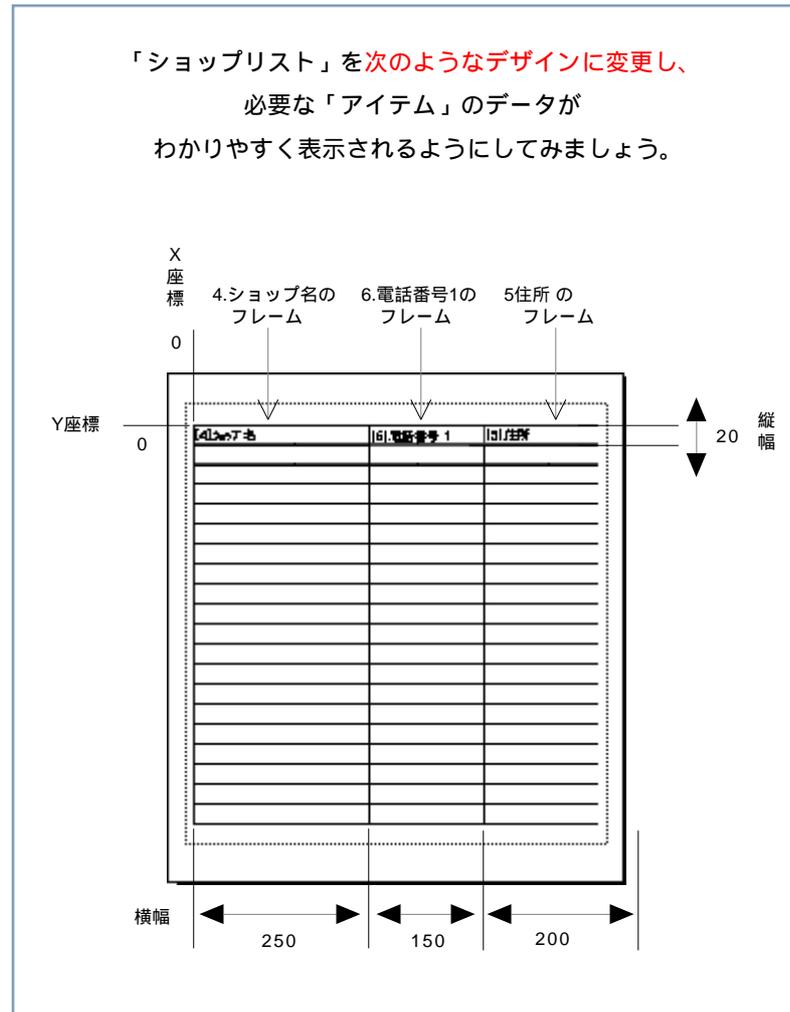
今度は、「レイアウト編集エリア」を横方向にスクロールしてみてください。

「1.エントリー番号」、「2.記入日」...などの「フレーム」が並んでいますね。

このように、新しいレイアウトには、「データベースファイル」にセットされている全アイテム用の「フレーム」が自動的に配置されます。

ここで、実際に「データ」を閲覧するケースを考えてみましょう。
検索の効率を考慮すると、ケースによって見たい項目は限られます。

「Session」は、必要なデータを、わかりやすく表示するため、「レイアウト」を自由に編集することができます。



「一覧レイアウト」のウィンドウがオープンしていることを確認してください。

もしオープンしていない場合は、「セッション編集」のウィンドウの「一覧レイアウト」の下の **新規** をクリックして、
ウィンドウをオープンしてください。

最初に、**不要な「フレーム」を削除**します。

「レイアウト編集エリア」の

「1.エントリー番号」の「フレーム」をクリックします。

☐ マウスのポインタが  に変わり、「1.エントリー番号」の「フレーム」が選択されます。



Delete キーを押します。

☐ 「1.エントリー番号」の「フレーム」が削除されます。



Shift キーを押しながら、

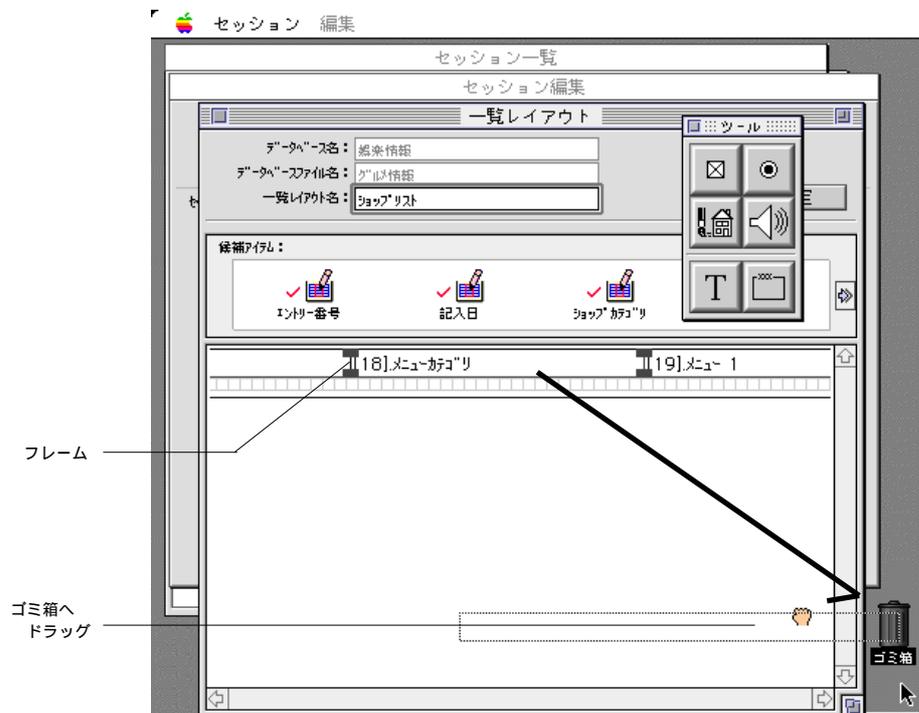
「4.ショップ名」、「5.住所」、「6.電話番号 1」以外の「フレーム」をクリックします。

☐ 「4.ショップ名」、「5.住所」、「6.電話番号 1」以外の「フレーム」が選択されます。

Delete キーを押します。

☐ 選択「フレーム」がすべて削除されます。

❖ 「フレーム」は、
ファインダの「ゴミ箱」にドラッグしても削除することができます。

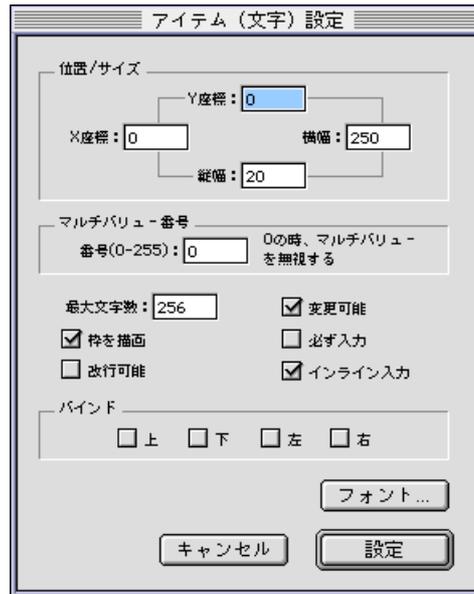


次に、「フレーム」の位置やサイズを変更します。

「4.ショップ名」の「フレーム」をダブルクリックします。

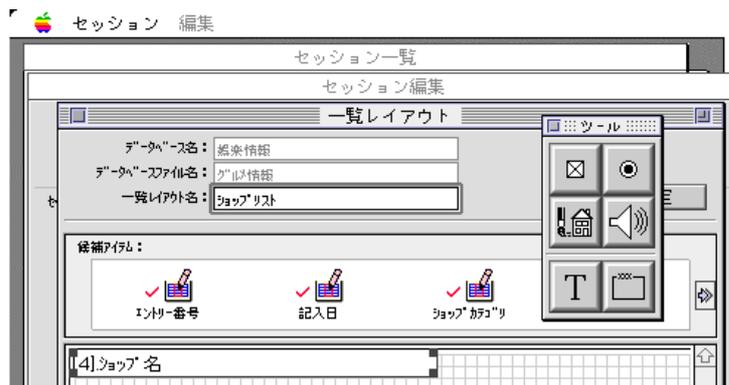
「アイテム(文字)設定」というタイトルの質問パネルが表示されます。

「位置/サイズ」を次のように変更します。



「設定」をクリックします。

「4.ショップ名」の「フレーム」が表示エリアの左上に移動します。



同様に、「5.住所」、「6.電話番号1」の「フレーム」を
次の「位置/サイズ」に変更します。

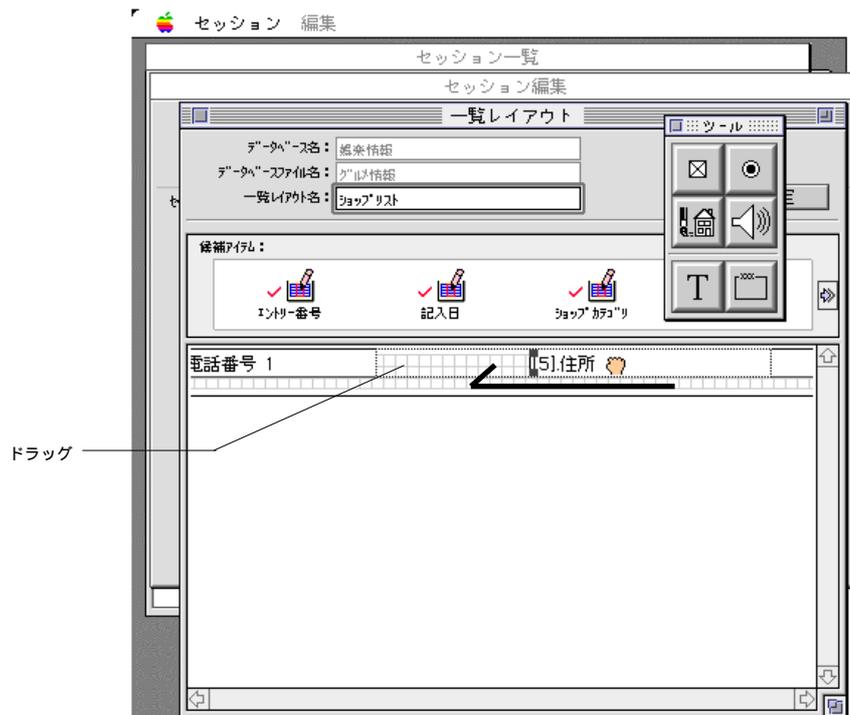
「5.住所」の「フレーム」

- ・ Y座標 0 ・ X座標 250
- ・ 横幅 150 ・ 縦幅 20

「6.電話番号1」の「フレーム」

- ・ Y座標 0 ・ X座標 400
- ・ 横幅 200 ・ 縦幅 20

❖ 「フレーム」の位置は、ドラッグしても移動することができます。



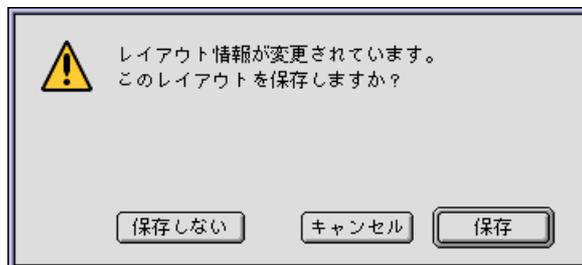
いま編集した「一覧レイアウト」を「メニューガイド」セッションに保存します。

設定 をクリックします。

「一覧レイアウト」のウィンドウのクローズボックスをクリックしても構いません。



 もし、次のようなメッセージが表示されたら.....



保存 をクリックします。

もう一度「一覧レイアウト」を確認したい場合は...

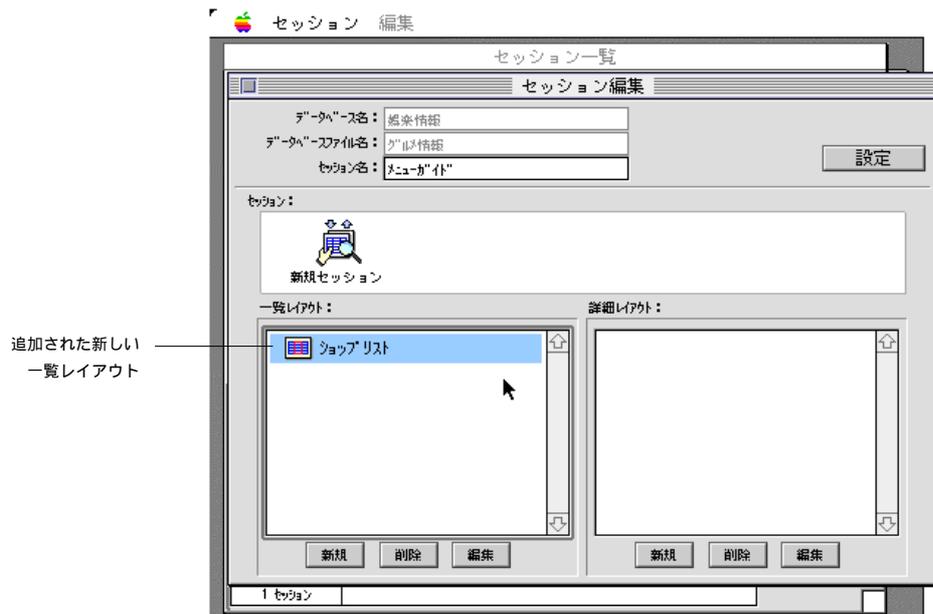
キャンセル をクリックしてください。

「一覧レイアウト」を保存したくない場合は...

保存しない をクリックしてください。

以上で「ショッピングリスト」が作成できました。

- 「一覧レイアウト」のウィンドウが閉じ、「セッション編集」のウィンドウに「ショッピングリスト」というタイトル新しい「一覧レイアウト」が追加されます。



「詳細レイアウト」を編集してみましょう



今度は、次のような「詳細レイアウト」をセットしてみましょう。

- | | |
|------------|---------|
| ・ 対象 セッション | メニューガイド |
| ・ 詳細レイアウト | メニューカード |

「セッション編集」のウィンドウがオープンしていることを確認してください。

もしオープンしていない場合は、

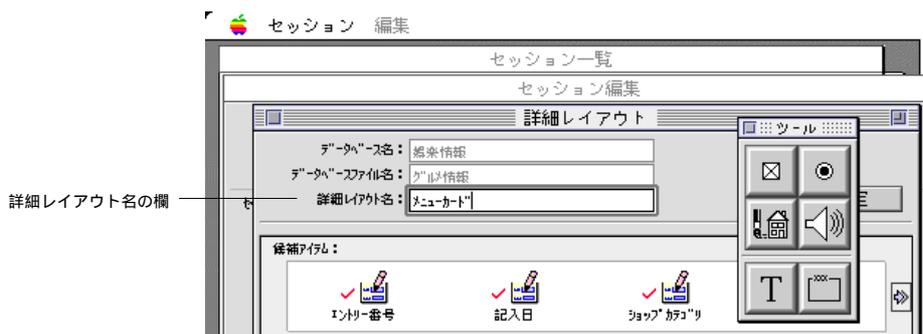
「セッション表示エリア」の  を選択後、  をクリックして
ウィンドウをオープンしてください。

「詳細レイアウト」の下の  をクリックします。

 「詳細レイアウト」というタイトルのウィンドウがもう一枚表示されます。

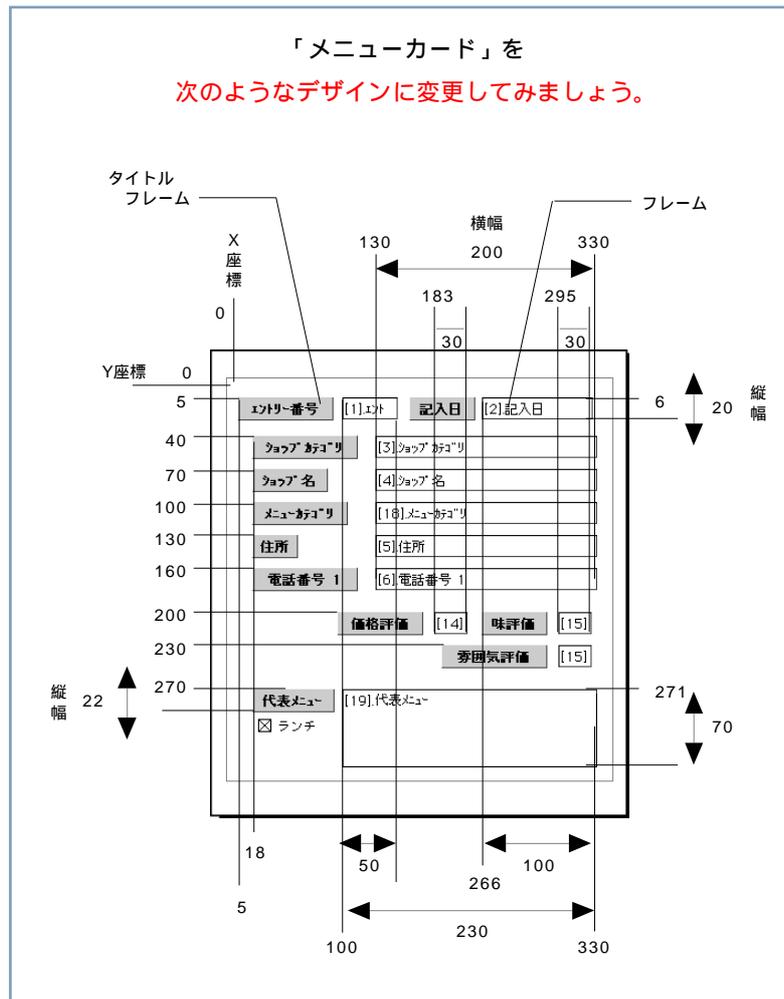
このウィンドウは、「詳細表示」用の設計を行なう画面で、「詳細レイアウト」のウィンドウといえます。

「詳細レイアウト名」の欄を選択し、
「メニューカード」と入力します。



「レイアウト編集エリア」をご覧ください。

「一覧レイアウト」のときと同じように、新しいレイアウトには、「グルメ情報」にセットされている全アイテム用の「タイトルフレーム」と「フレーム」が配置されていますね。



「詳細レイアウト」のウィンドウがオープンしていることを確認してください。

もしオープンしていない場合は、「セッション編集」のウィンドウの「詳細レイアウト」の下の **新規** をクリックして、
ウィンドウをオープンしてください。

最初に、不要な「フレーム」や「タイトルフレーム」を削除します。
画面に「7.電話番号2」の「タイトルフレーム」を表示してください。

ポインタを「7.電話番号2」の「タイトルフレーム」の左上に合わせ、
「7.電話番号2」～「13.放映番組」の
「フレーム」と「タイトルフレーム」を囲んでドラッグします。

☐ 「7.電話番号2」～「13.放映番組」の「フレーム」と「タイトルフレーム」が選択されます。

「フレーム」や「タイトルフレーム」は、**Shift** キーを押しながら、クリックしても選択することができます。



Delete キーを押します。

☐ 選択「フレーム」がすべて削除されます。

「フレーム」や「タイトルフレーム」は、ファインダの「ゴミ箱」にドラッグしても削除することができます。

次に、「フレーム」や「タイトルフレーム」の位置やサイズを変更します。

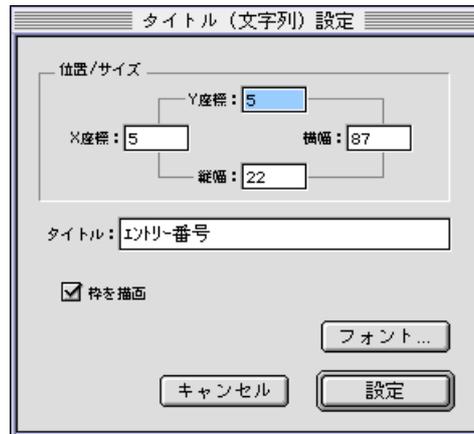
画面に「1.1.エントリー番号」の「タイトルフレーム」を表示してください。

「レイアウト編集エリア」の「1.エントリー番号」の

「タイトルフレーム」をダブルクリックします。

☐ 「タイトル(文字列)設定」というタイトルの質問パネルが表示されます。

「位置/サイズ」を次のように変更します。

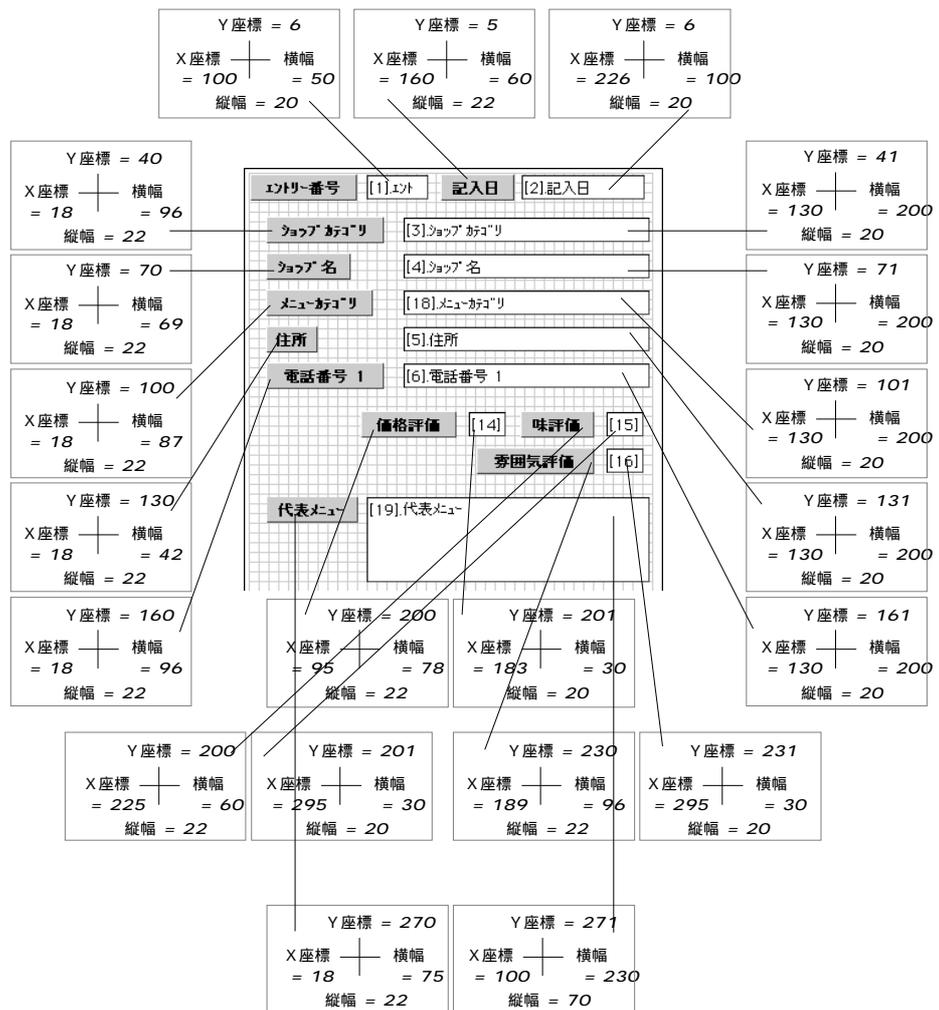


設定 をクリックします。

☐ 「1.エントリー番号」の「タイトルフレーム」が移動します。

「フレーム」や「タイトルフレーム」の位置は、ドラッグしても移動することができます。

同様に、「1.エントリー番号」の「フレーム」と、
 「14.記入日」～「16.電話番号1」、
 「2.記入日」～「6.電話番号1」、
 「18.メニューカテゴリ」、「19.代表メニュー」の
 「フレーム」や「タイトルフレーム」を、
 次の「位置/サイズ」に変更します。



次に、「代表メニュー」が「ランチメニュー」かどうかを判別する「チェックボックス」をセットします。

画面に「代表メニュー」の「タイトルフレーム」を表示してください。



「ツールパレット」の  の上にポインタを合わせます。

 マウスのポインタが  に変わります。

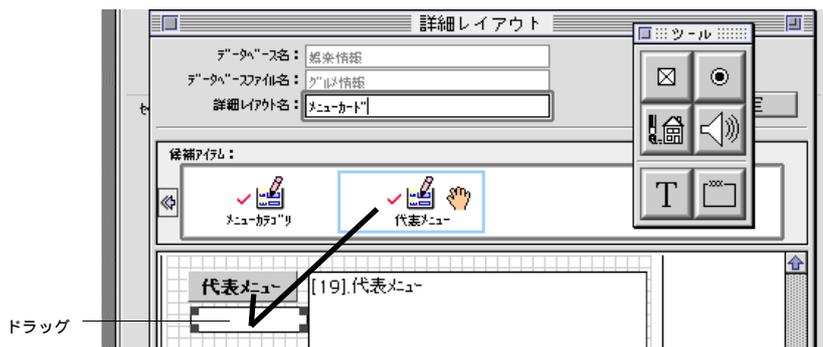
 を「代表メニュー」の「タイトルフレーム」の左側にドラッグします。

 新しい「フレーム」が作成されます。

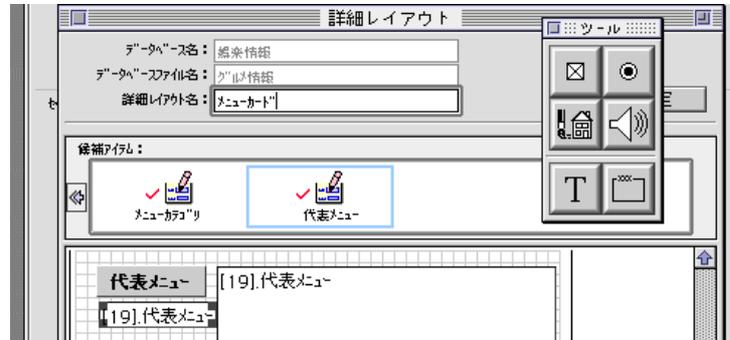


「候補アイテム表示エリア」の  を選択し、
代表メニュー

新しい「フレーム」の上にドラッグします。



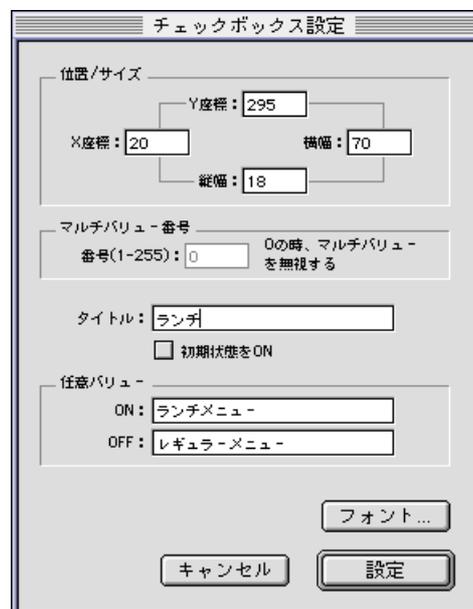
☐ 「フレーム」の中に、「19.代表メニュー」と表示されます。



いま作成された「19.代表メニュー」の「フレーム」を
ダブルクリックします。

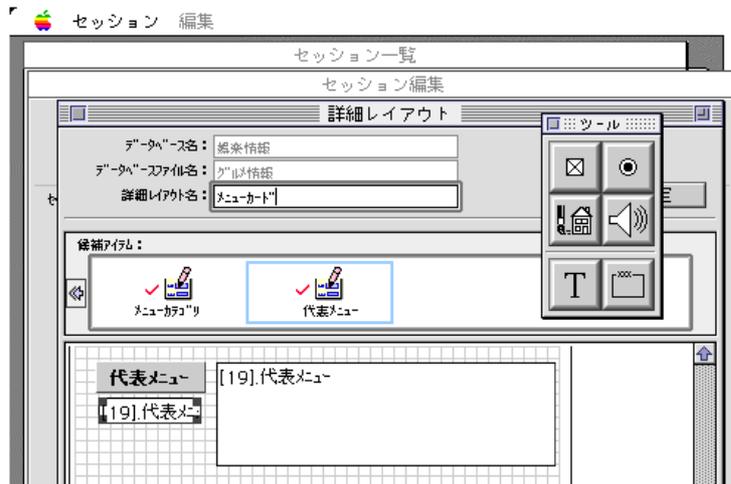
☐ 「チェックボックス設定」というタイトルの質問パネルが表示されます。

「位置/サイズ」を次のように補正し、
「タイトル」欄に「ランチ」、
「任意バリュー」の「ON」欄に「ランチメニュー」、
「OFF」欄に「レギュラーメニュー」と入力します。



設定 をクリックします。

- ☐ 「チェックボックス設定」の質問パネルが閉じ、「チェックボックス」が設定されました。



✦ ここでは「詳細レイアウト」での「チェックボックス」の設定例を説明しましたが、「**Session**」では、この外にも「**ラジオボタン**」をセットしたり、**背景に絵や写真を貼り込んだり...**と、さまざまな「レイアウト設計」を行なうことができます。
また、文章や数値のフォントやサイズ、絵や音声データのための編集機能も用意されています。

「一覧レイアウト」や「詳細レイアウト」の編集についての詳細は、『オペレーション・マニュアル』をご覧ください。

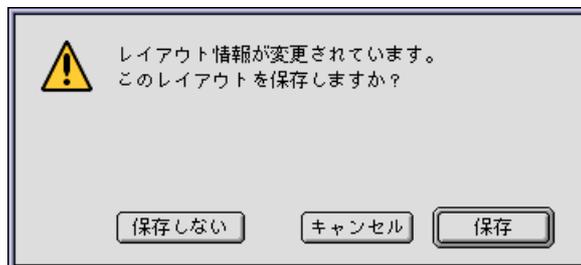
いま編集した「詳細レイアウト」を「メニューガイド」セッションに保存します。

設定 をクリックします。

「詳細レイアウト」のウィンドウのクローズボックスをクリックしても構いません。



 もし、次のようなメッセージが表示されたら.....



保存 をクリックします。

もう一度「詳細レイアウト」を確認したい場合は...

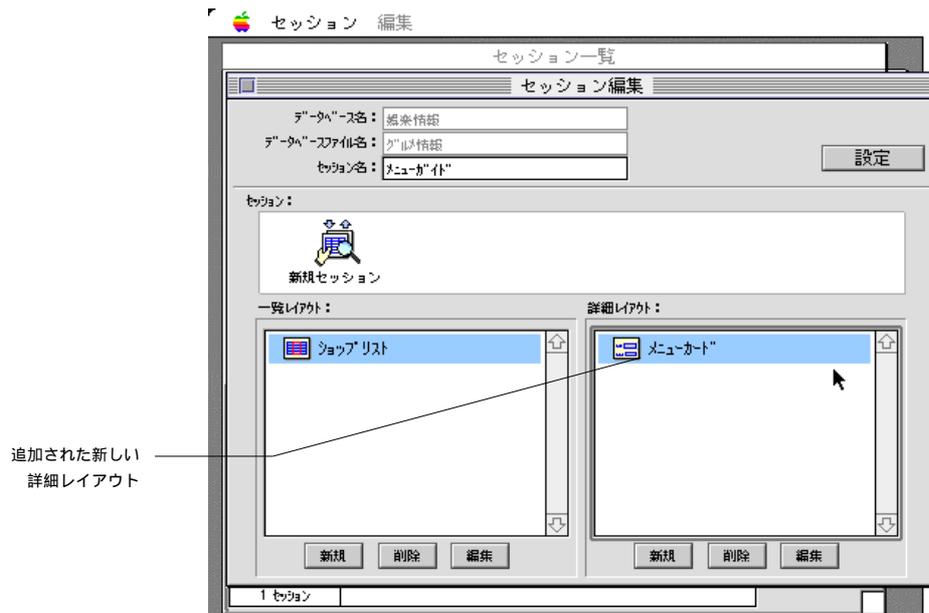
キャンセル をクリックしてください。

「詳細レイアウト」を保存したくない場合は...

保存しない をクリックしてください。

以上で「メニューカード」が作成できました。

- ❏ 「詳細レイアウト」のウィンドウが閉じ、「セッション編集」のウィンドウに「メニューカード」というタイトルの新しい「詳細レイアウト」が追加されます。



「一覧レイアウト」と「詳細レイアウト」がセットできましたので、「セッション編集」を終わります。

「セッション編集」のウィンドウの **設定** をクリックします。

- ❏ 「セッション編集」のウィンドウが閉じ、「セッション一覧」のウィンドウに新しい「メニューガイド」の「セッションアイコン」が追加されます。

グループを作ってみましょう



次は、「メニューガイド」に、次のような「グループ」をセットしてみま
しょう。

- | | |
|------------|------------------------------------|
| ・ 対象 セッション | メニューガイド |
| ・ グループ名 | パスタ |
| ・ 検索条件 | 「メニューカテゴリ」キーに
「パスタ」という文字列を含むデータ |

「セッション一覧」のウィンドウだけがオープンしていることを確認して
ください。

もし他のウィンドウがオープンしている場合は、他のウィンドウのクロー
ズボックスをクリックしてウィンドウを閉じ、「セッション一覧」のウイ
ンドウだけにしてください。

「セッション表示エリア」の  を選択します。

もし「セッション表示エリア」に  が表示されていない場合は、
「娯楽情報」>「グルメガイド」>「メニューガイド」の順に、
各「アイコン」を選択してください。

 をクリックします。

☞ 「グループ一覧」というタイトルのウィンドウが表示されます。

「グループ一覧」のウィンドウは、「セッションアイコン」をダブルクリックし
ても表示することができます。

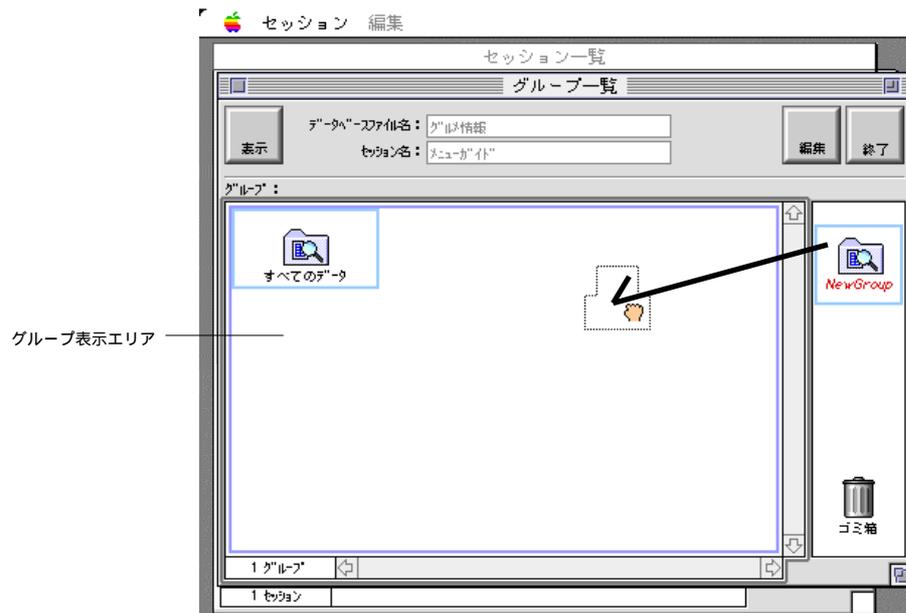


「グループ表示エリア」の右側の  の上に

ポインタを合わせます。

 マウスのポインタが  に変わります。

 をドラッグし、「グループ表示エリア」の中に移動します。



 「グループ編集」というタイトルのウィンドウが表示されます。

「グループ名」の欄を選択し、「パスタ」と入力します。

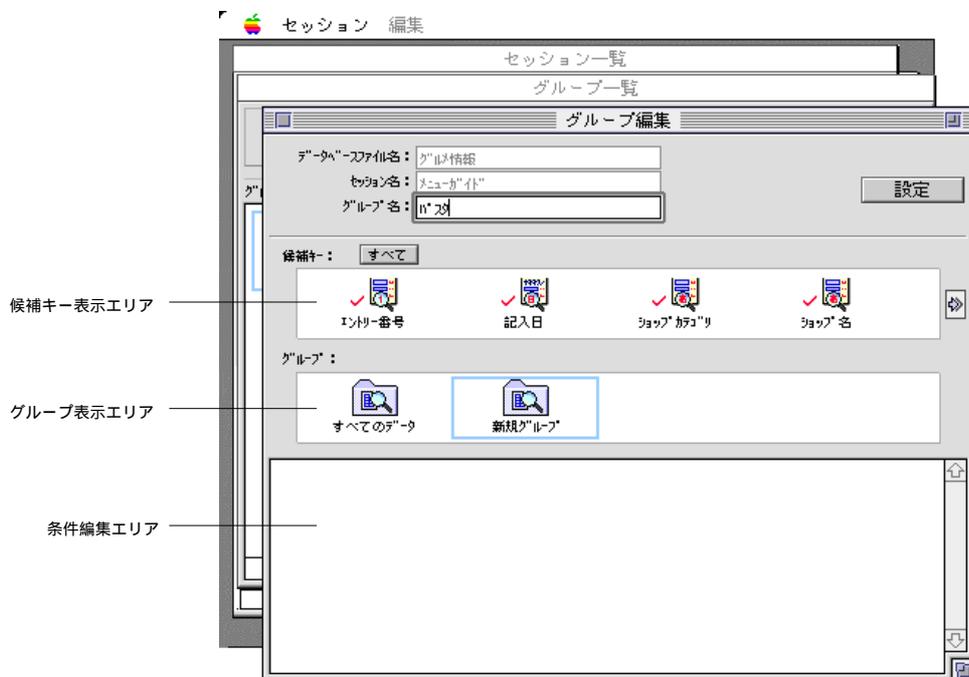


「候補キー表示エリア」には、「エントリー番号」「記入日」...などの「候補キーアイコン」が並んでいますね。

これらの「アイコン」は、データベースファイル「グルメ情報」にセットされている「キー」です。

「グループ表示エリア」には、「すべてのデータ」という「グループアイコン」があります。

「すべてのデータ」は、「データベースファイル」に保管されている全データという条件のグループで、「セッション」作成、自動的に作られたグループです。



では、「パスタ」という新しい「グループ」を作りましょう。

「候補キー表示エリア」をスクロールし、

 の上にポインタを合わせます。
メニューカテゴリ

マウスのポインタが  に変わります。

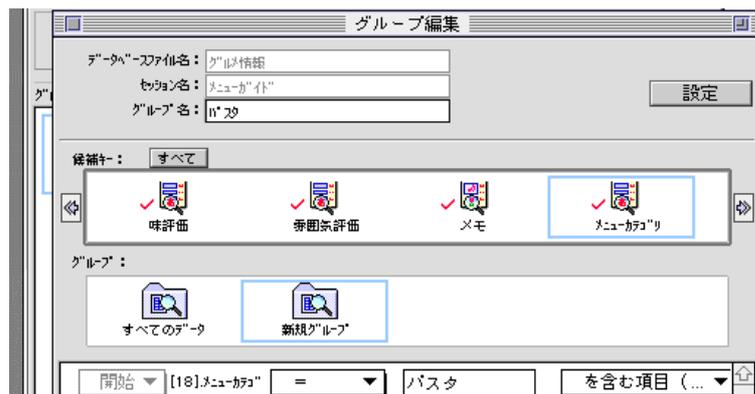
 をドラッグし、「条件編集エリア」の中に移動します。
メニューカテゴリ



新しい「検索条件」が作成されます。

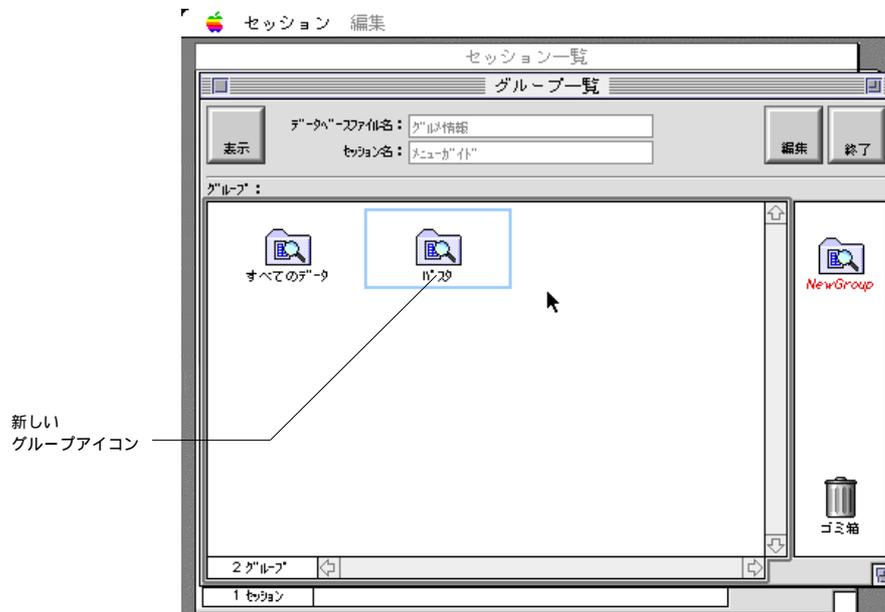
条件が、

"「18. メニューカテゴリ」 = 「 ~ を含む項目 (中間一致) 」"であることを
確認し、入力欄に「パスタ」と入力します。



設定 をクリックします。

「グループ編集」のウィンドウが閉じ、「グループ一覧」のウィンドウに「バスタ」というタイトルの新しい「グループアイコン」が追加されます。



❖ ここでは、「キー」が「～を含む項目（中間一致）」の検索例を説明しましたが、「**Session**」では、この他にも「～で始まる項目（前方一致）」、「～で終わる項目（後方一致）」、「～の項目（完全一致）」... と、**さまざまな条件の「グループ」**を作ることができます。

また、すでにある「グループ」から新しい「グループ」を作り出す**集合演算**など、自由度の高い検索機能が用意されています。

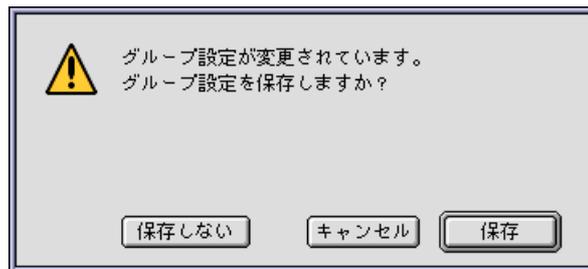
「グループ」の編集についての詳細は、『オペレーション・マニュアル』をご覧ください。

「グループ編集」を終わります。

「グループ一覧」のウィンドウのクローズボックスをクリックします。



「グループ設定」の変更を警告するパネルが表示されます。



保存 をクリックします。

以下の場合、次のボタンをクリックしてください。

もう一度「グループ一覧」のウィンドウを確認したい場合は…

キャンセル をクリックしてください。

「グループ」を保存したくない場合は…

保存しない をクリックしてください。

データを編集してみましょう



Tutorial...

次は、いま作成した「メニューガイド」という「セッション」の「パスタ」という「グループ」のデータを表示し、データの修正や並び替え（ブラウジング）をしてみましょう。

「Session」が起動していない場合は...

- ➡ 『Session を利用してみましょう』を参考に「Session」を起動してください。



このマニュアルは、先ほどの練習の『新しいデータベースを作ってみよう』、『新しいセッションを作ってみよう』の手順にしたがって作成した「娯楽情報」>「グルメ情報」>「メニューガイド」の利用を例にとって説明していきます。

「データベース」や「データベースファイル」、「セッション」に変更を加えた場合は、画面に別の内容が表示されたり、このマニュアルでの説明どおりに動作しない場合もありますのでご注意ください。

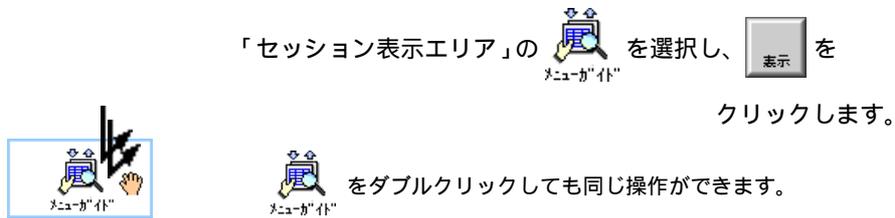
『新しいデータベースを作ってみよう』
『新しいセッションを作ってみよう』の操作を行なわなかった方は...

- ➡ マスターディスクからコピーした **HiBase** の運用サンプル（「DBSite」）内に、「娯楽情報」>「グルメ情報」という同様の「データベース」、「データベースファイル」が納められていますので、こちらをご利用ください。
（内容が一部異なりますが、ここでの練習に支障ありません。）

画面に別の内容が表示されたり、説明どおりに動作しない場合は...

- ➡ 先ほどの練習の『新しいデータベースを作ってみよう』、『新しいセッションを作ってみよう』での操作に誤りがないか、もう一度お確かめください。

まず、「セッション」を開きます。



もし「セッション表示エリア」に  が表示されていない場合は、「娯楽情報」>「グルメガイド」>「メニューガイド」の順に、各「アイコン」を選択してください。

 「グループ一覧」のウィンドウが表示されます。

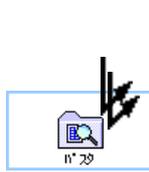


「グループ表示エリア」に  が表示されますか？

- もし表示されない場合は、「メニューガイド」に「パスタ」という「グループ」がセットされていないということになります。

先ほどの練習の『グループを作ってみましょう』での操作に誤りがないか、もう一度確かめてみましょう。

引き続き、「グループ」を開きます。



 を選択し、 をクリックします。

 をダブルクリックしても同じ操作ができます。

 「パスタ/ショッピングリスト」のウィンドウが表示されます。



データが一覧表示されますか？

- もし表示されない場合は、「パスタ」という「グループ」の検索条件が間違っている"ということになります。

先ほどの練習の『グループを作ってみましょう』での操作に誤りがないか、もう一度確かめてみましょう。

レイアウトがきちんと表示されますか？

- もし表示されない場合は、「ショッピングリスト」という「一覧レイアウト」が正しくセットされていない"ということになります。

先ほどの練習の『一覧レイアウト』を編集してみましょう』での操作に誤りがないか、もう一度確かめてみましょう。

「詳細表示」も確認しましょう。

一番上のレコードを選択し、 をクリックします。

一番上のレコードをダブルクリックしても同じ操作ができます。

 「パスタ/メニューカード」のウィンドウが表示されます。



データが一覧表示されますか？

- もし表示されない場合は、「パスタ」という「グループ」の検索条件が間違っているということになります。

先ほどの練習の『グループを作ってみましょう』での操作に誤りがないか、もう一度確かめてみましょう。

レイアウトがきちんと表示されますか？

- もし表示されない場合は、「メニューカード」という「詳細レイアウト」が正しくセットされていないということになります。

先ほどの練習の『「詳細レイアウト」を編集してみましょう』での操作に誤りがないか、もう一度確かめてみましょう。

データを修正してみましょう



データが表示できたら、次は「**レコード**」の**追加**や**削除**などの編集作業をしてみましょう。

新しい「レコード」を追加してみましょう

「 Pasta / メニューカード」のウィンドウがオープンしていることを確認してください。

もしオープンしていない場合は、前の『データを編集してみましょう』を参考に、「 Pasta / メニューカード」のウィンドウを表示してください。

 をクリックします。

 新しい「メニューカード」のウィンドウがもう 1 枚表示されます。

各欄に、何か新しいデータを入力してください。

 をクリックします。



 新しい「メニューカード」のウィンドウが閉じます。

不要な「レコード」を削除してみましょう



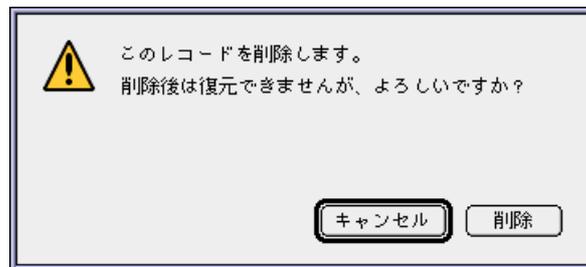
今度は、いま追加した「レコード」を削除してみましょう。

「パスタ/メニューカード」のウィンドウに、いま追加した「レコード」を表示してください。

もし削除する「レコード」がない場合は、「パスタ/メニューカード」のウィンドウを表示し、前の『新しい「レコード」を追加してみましょう』を参考に、新しい「レコード」を追加してください。

 をクリックします。

☐ 「レコード」の削除を確認するパネルが表示されます。



 をクリックします。

いま追加した「レコード」を削除したくない場合は、

 をクリックしてください。

☐ 「パスタ/メニューカード」のウィンドウが閉じます。

このようにして、新しい「レコード」を次々と追加したり、不要な「レコード」を簡単に削除することができます。



ここでは、「レコード」の追加/削除を説明しましたが、同じようにして、**データの部分的な修正**も簡単に行なうことができます。

また、絵や音声のデータを入力することもできます。

「データの編集」についての詳細は、『オペレーション・マニュアル』をご覧ください。

データを並び変えてみましょう



最後に、「データの並び変え」(ソート)を説明します。

ここでは、「ショップ名」がアルファベットや五十音の降順になるように並び変えてみましょう。

データの並び変えは、「一覧表示」のウィンドウで行ないます。

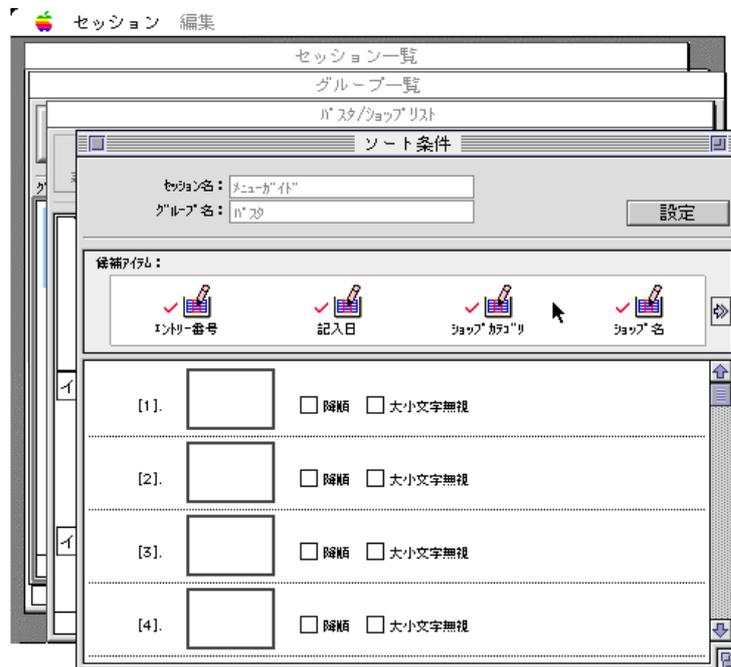
「 Pasta / ショップリスト」のウィンドウがオープンしていることを確認してください。

もしオープンしていない場合は、「 Pasta / ショップリスト」のウィンドウを表示してください。



をクリックします。

「ソート条件」というタイトルのウィンドウが表示されます。



「候補アイテム表示エリア」には、「エントリー番号」「記入日」... などの「候補アイテムアイコン」が並んでいますね。

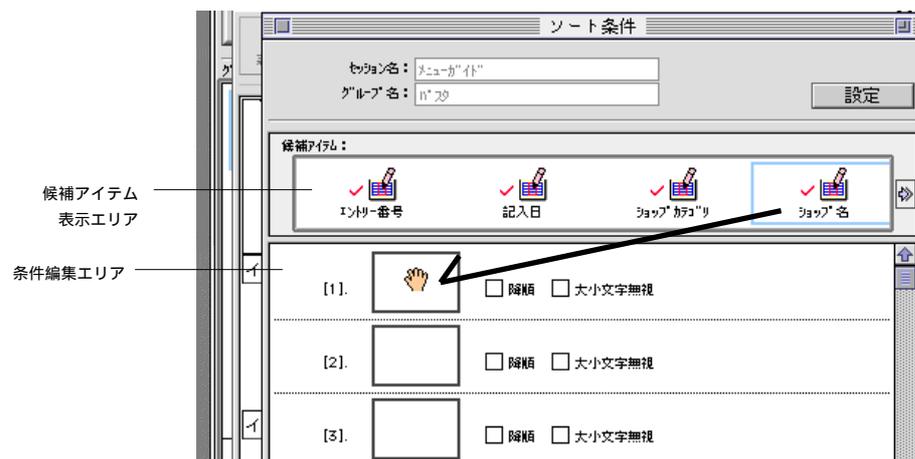
これらの「アイコン」は、データベースファイル「グルメ情報」にセットされている「アイテム」です。

では、**並び変えの条件**をセットしましょう。

「候補アイテム表示エリア」の  の上にポインタを合わせます。
ジョップ名

☐ マウスのポインタが  に変わります。

 をドラッグし、「条件編集エリア」の [1.] の枠の中に移動します。
ジョップ名



☐ 新しい「ソート条件」が作成されます。

[1.]の「降順」のをクリックし、にします。



設定 をクリックします。

「ソート条件」のウィンドウが閉じ、「バス/ショップリスト」のウィンドウのデータが降順に並び変えられます。



❖ ここでは、「単一条件」でのソート例を説明しましたが、「**Session**」では「エントリー番号が若い順」で、「記入日が早い順」で、「ショップ名が降順」で... "のような、さまざまな「複合条件での並び変え」を行なうこともできます。

「データの並び変え」についての詳細は、『オペレーション・マニュアル』をご覧ください。

Session を終了します



.... 以上で、「HiBaseの基本アプリケーション」を使った
「HiBase」の具体的な「運用例」の説明は終わりです。

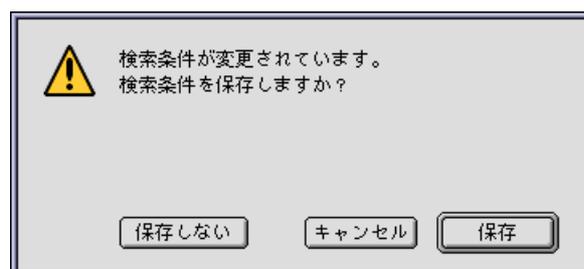
「Session」を終了します。

 をクリックします。

セッションメニューから ” 終了 ” を選択しても同じ操作ができます。

 オープンしているすべてウィンドウが閉じて、ファイндаに戻ります。

 もし、次のようなメッセージが表示されたら.....



- 保存の有無を選択してから終了してください。

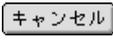
修正して終了するときは ...

 をクリックしてください。

修正しないで終了するときは ...

 をクリックしてください。

終了するのをやめるときは...

 をクリックしてください。

Java アプレットを使ってみましょう



Tutorial...

最後に、**HiBase** のJava アプレットを利用して 汎用の「Web ブラウザ」から、**HiBase** の「データベース」にアクセスする方法を説明します。

ここでは、**HiBase** のJava アプレットの「**HBBrowser**」を利用して、いま作成した「メニューガイド」という「セッション」の「パス」という「グループ」のデータを表示（ブラウジング）してみることにしましょう。

「**HBBrowser**」をはじめめる前に...



接続する「サーバマシン」上で、**HiBase** の「データベースサーバ」と「Web サーバ」が運用していることを確認してください。

「サーバ」の準備 ができていない場合は...

➡ 『HiBase のデータを見てください』を参考に「サーバマシン」で「**HBServer**」を起動し、「データベースサーバ」と「Web サーバ」のサービスを開始 してください。

「**HiBase** のJava アプレット」を利用しない方は...

➡ 以降を読み飛ばし、『**HBServer**を終了します』にお進みいただいても構いません。



HiBase のJava アプレットをご利用いただくためには、「Microsoft Internet Explorer」や「Netscape Navigator」など、「Java アプレット」が実行可能な「Web ブラウザ」が必要です。

「Java」の設定などについての詳細は、各「Web ブラウザ」に付属のマニュアルを参照してください。



「**HiBase**のJava アプレット」は、ご利用中の Macintosh で、基本アプリケーションの「**HBUtil**」や「**Session**」が実行している間は、ご利用になれません。

「**HiBase**の基本アプリケーション」が起動している場合は...

- ➡ 『HBUtil を終了します』
『Session を終了します』を参考に
いったん「**HBUtil**」や「**Session**」を終了してください。



このマニュアルは、先ほどの練習の『新しいデータベースを作ってみましょう』、『新しいセッションを作ってみましょう』の手順にしたがって作成した「**娯楽情報**」>「**グルメ情報**」>「**メニューガイド**」の利用を例にとって説明していきます。

「データベース」や「データベースファイル」、「セッション」に変更を加えた場合は、画面に別の内容が表示されたり、このマニュアルでの説明どおりに動作しない場合もありますのでご注意ください。

『新しいデータベースを作ってみましょう』
『新しいセッションを作ってみましょう』の操作を
行なわなかった方は...

- ➡ マスターディスクからコピーした **HiBase** の運用サンプル（「DBSite」）内に、「**娯楽情報**」>「**グルメ情報**」をという同様の「データベース」、「データベースファイル」が納められていますので、こちらをご利用ください。
（内容が一部異なりますが、ここでの練習に支障ありません。）

画面に別の内容が表示されたり、
説明どおりに動作しない場合は...

- ➡ 先ほどの練習の『新しいデータベースを作ってみましょう』、『新しいセッションを作ってみましょう』での操作に誤りがないか、もう一度お確かめください。

HBBrowser をロードします



Java アプレットの「**HBBrowser**」を利用 するときは、
次のように操作します。

「Microsoft Internet Explorer」や「Netscape Navigator」など、
「Java アプレット」が実行可能な「Web ブラウザ」を起動します。

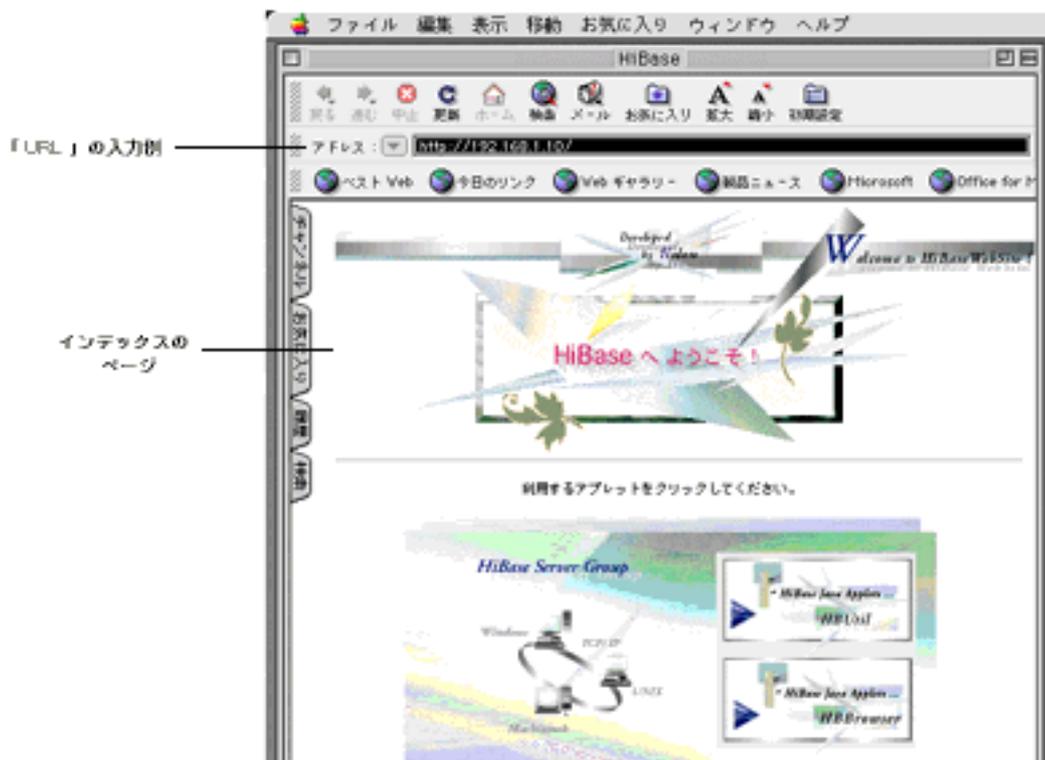
「Web ブラウザ」の「URL」(または、「アドレス」などの入力欄) に、
接続サーバの「URL」(または、「IPアドレス」) を入力し、

キーを押します。

「Web ブラウザ」の基本操作、「URL」の記述方法などについての詳細は、
各「Web ブラウザ」に付属のマニュアルや、「TCP/IP」関連のマニュアル
を参照してください。

☐ 「Web ブラウザ」に「**HiBase** のWeb サイト」のインデックスページ
が表示されます。

【**HiBase** のWeb サイトのインデックスページ (Microsoft Internet Explorer 利用例)】



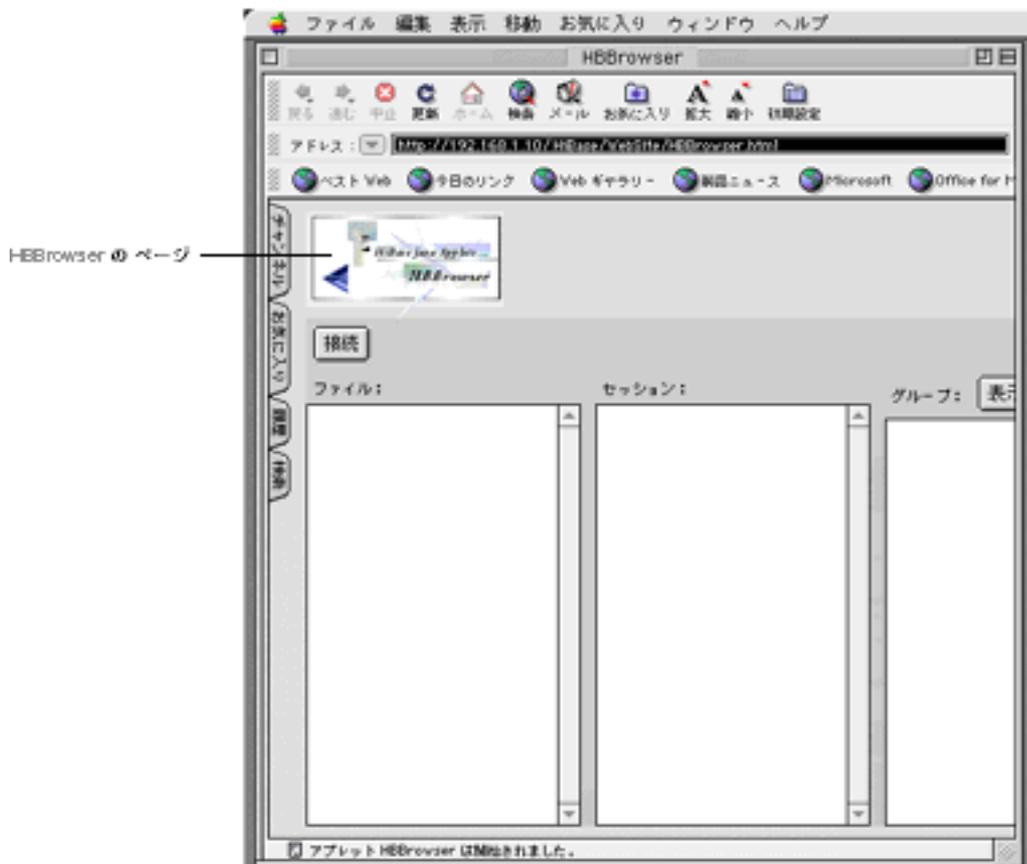
ページ デザインは変更されている場合もあります。

次に、「**HBrowser**」をロードします。

ページ上の、「HBrowser」をクリックします。

☐ 「HBrowser」のページが表示されます。

【**HBrowser**のページ（Microsoft Internet Explorer 利用例）】



データベースサーバと接続します



引き続き、**HiBase** の「データベースサーバ」と接続します。

 をクリックします。

 「接続ノード」を設定するパネルが表示されます。



「ホスト名」と「ポート番号」を入力します。

「ホスト名」には、サーバの「ドメイン名」または、「IP アドレス」などのサーバアドレスを入力してください。

「ポート番号」には、「サーバ」が利用している「データベースのポート番号（初期値= 3330）」を入力してください。

 をクリックします。

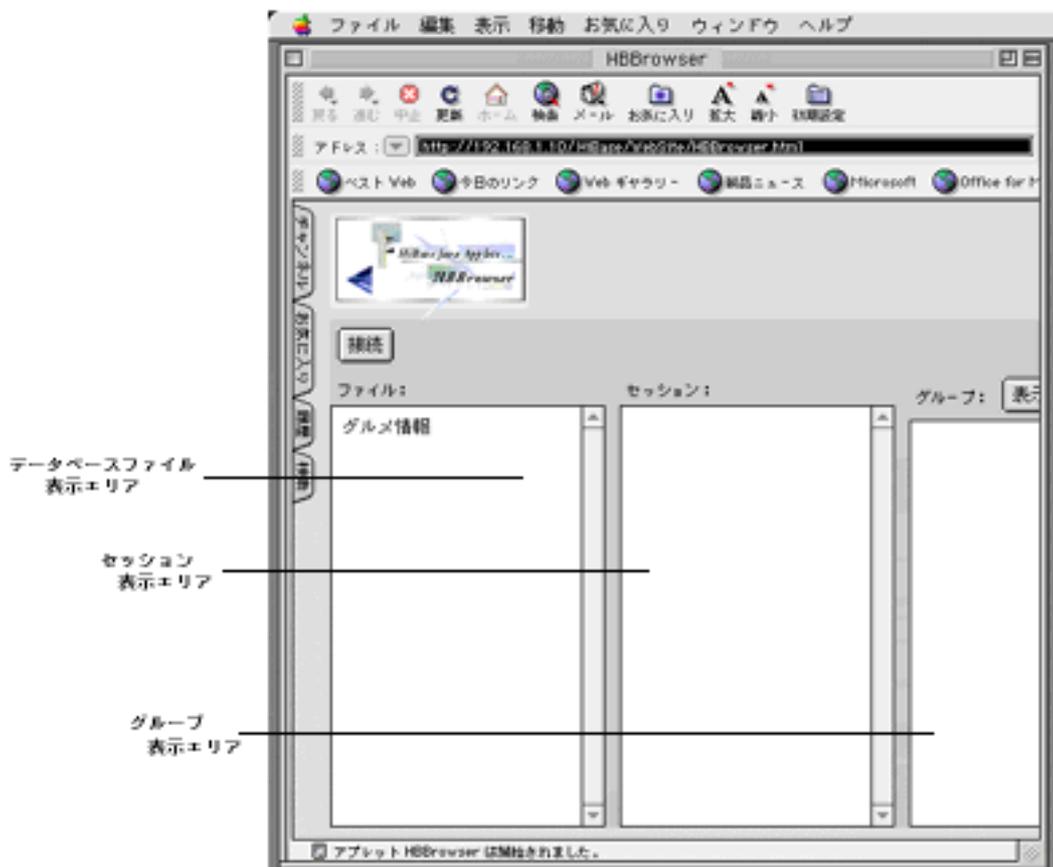
 数秒後、「**HBBrowser**」のページに、「データベースファイル」のリストデータが表示されます。

以上で「**HBBrowser**」がスタートしました。

このページは、あなたと **HiBase** をつなぐ
「**HBrowser**」の基本画面 です。

各「リストエリア」には、現在あなたが利用することのできる
「データベースファイル」や「セッション」、「グループ」が一覧表
示されます。

【**HBrowser** のページ（Microsoft Internet Explorer 利用例）】



データを表示してみましょう



「セッション」や「グループ」のデータを表示してみましょう。

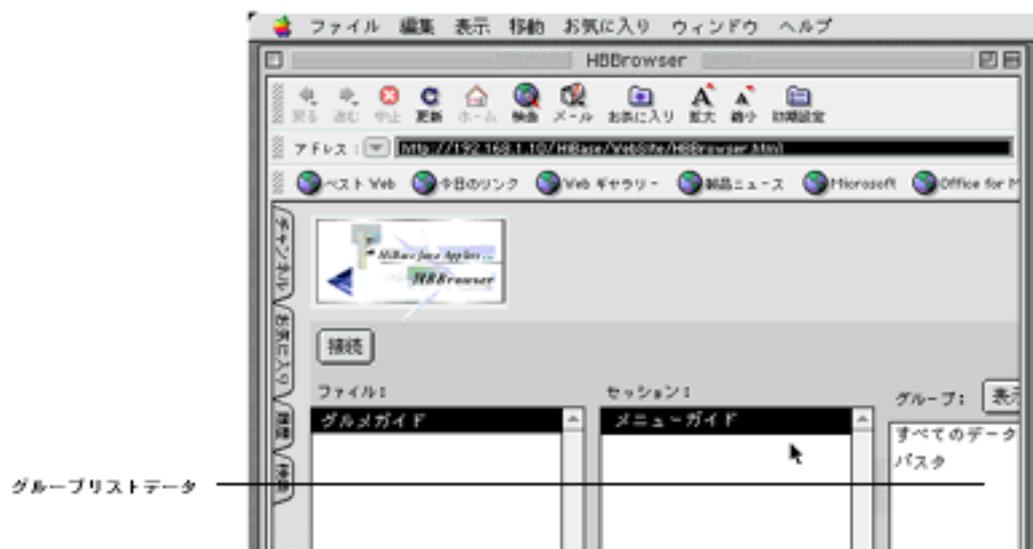
まず、「セッション」を開きます。

「データベース表示エリア」の「グルメ情報」をクリックします。

☐ 「セッション表示エリア」に、先ほど基本アプリケーションの「**Session**」で確認したセッションと同様のセッション名がリスト表示されます。

「セッション表示エリア」の「メニューガイド」をクリックします。

☐ 「グループ表示エリア」にグループリストデータが表示されます。



このように、「Java アプレット」の「**HBBrowser**」では、利用可能な「データベースファイル」>「セッション」>「グループ」が、階層的にリスト表示されます。

引き続き、「グループ」を開きます。

「グループ表示エリア」の「 Pasta 」を選択し、

 をクリックします。

「 Pasta 」をダブルクリックしても同じ操作ができます。

別のウィンドウに、「 Pasta 」グループのデータが表示されます。

【 HBBrowse の データ表示のウィンドウ

(Microsoft Internet Explorer / Java VM = Microsoft Virtual Machine 利用例)



このように、「 HBBrowse 」では、グループ内のデータが「 Java Applet のウィンドウ 」に表示されます。

新しくオープンした「 Java ウィンドウ 」は、基本的に前に表示されていた「ウィンドウ」の前に重なります。

画面に表示されたウィンドウのおさまりが悪く、操作がし難いと感じた場合は、随時ウィンドウの位置やサイズを調整してください。

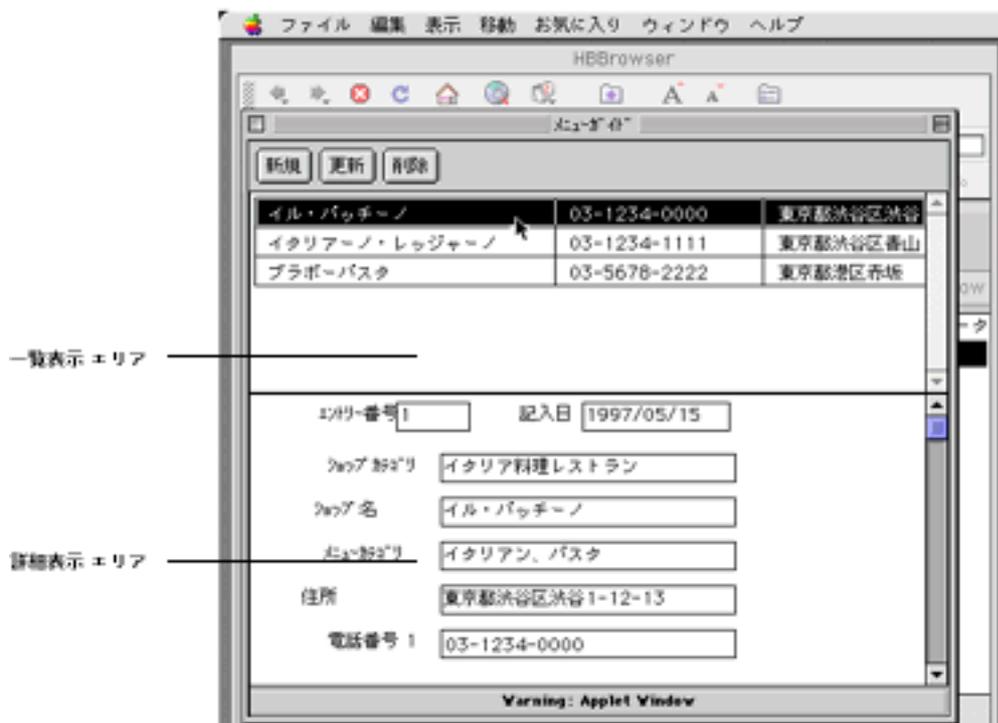
もし大量のデータがある場合は、下方向の「スクロールアロー ()」をクリックすると、続きのデータが表示されます。

「 Java VN 」の設定や、「 Java ウィンドウ 」の操作などについての詳細は、各「 Web ブラウザ 」に付属のマニュアルを参照してください。

「レコード」を選択し、「詳細表示」を見てみましょう。

「一覧表示エリア」の任意レコードをクリックします。

- ☐ 「詳細表示エリア」に、選択「レコード」のデータが、先ほど基本アプリケーションの「Session」でセットした「メニューカード」のレイアウトで表示されます。



このように、「HBBrowser」では、基本アプリケーションの「Session」でセットした「一覧レイアウト / 詳細レイアウト」にしたがって、データが表示されます。



ここでは、データの表示のみを説明しましたが、「HBBrowser」では、基本アプリケーションの「Session」と同様に、「レコード」の追加 / 削除、データの入力 / 更新 などを行なうことができます。

「HBBrowser」による「レコードの追加/削除、データの編集」についての詳細は、『オペレーション・マニュアル』をご覧ください。

HBBrowser を終了します



.... 以上で、「Web サイト」での
「HiBase」の利用例の説明は終わりです。



ここでは、「HBBrowser」を使ったブラウジングの概略のみを説明しましたが、「HiBase」のもう1つのJava アプレット「HBUtil」では、基本アプリケーションの「HBUtil」と同様に、「データベースファイル」や「アイテム/キー」の作成/削除などを行なうことができます。

「HBUtil」による「データベースファイルの作成/削除、アイテム/キーの作成/削除」についての詳細は、『オペレーション・マニュアル』をご覧ください。

それでは、「HBBrowser」での作業を終了しましょう。

「Web ブラウザ」を終了します。

「Microsoft Internet Explorer」や「Netscape Navigator」などの
「Web ブラウザ」を終了します。

ファイルメニューから「終了」を選択しても同じ操作ができます。

 オープンしているすべてウィンドウが閉じて、ファインダに戻ります。



もし、データを更新した場合は...

- 「HBBrowser」は、

 をクリックしないとデータが更新されません。

新規レコードの作成/既存データの修正 を更新して終了するときは...

終了前に、必ず  をクリックしてください。

( をクリックせずに、クローズボックスをクリックして
「データ表示のウィンドウ」を閉じて更新されません。)

更新しないで終了するときは...

そのまま終了してください。

HBServer を終了します



HiBase をネットワーク環境でご利用の場合は、

「HiBase の各サーバの運用」を停止 / 終了 することができます。

HiBase を1台のMacintosh上でのみご利用の場合（「Single」フォルダ内のアプリケーションをご利用の場合）は、各「アプリケーション」終了時、「HiBase」が自動的に終了します。

ネットワーク環境で、「HiBase」の

「データベースサーバ / Webサーバの運用」を
停止 / 終了 する場合は...

➡ 全クライアントに運用停止を知らせ、
次を参考に「各サーバ」を停止 するか、
「HBServer」を終了してください。

「クライアント情報」を確かめるときは...

「HBServer」の

「HiBase Server Group」のウィンドウ を表示します。

 をクリックします。

☐ 「クライアント情報」のパネルが表示されます。

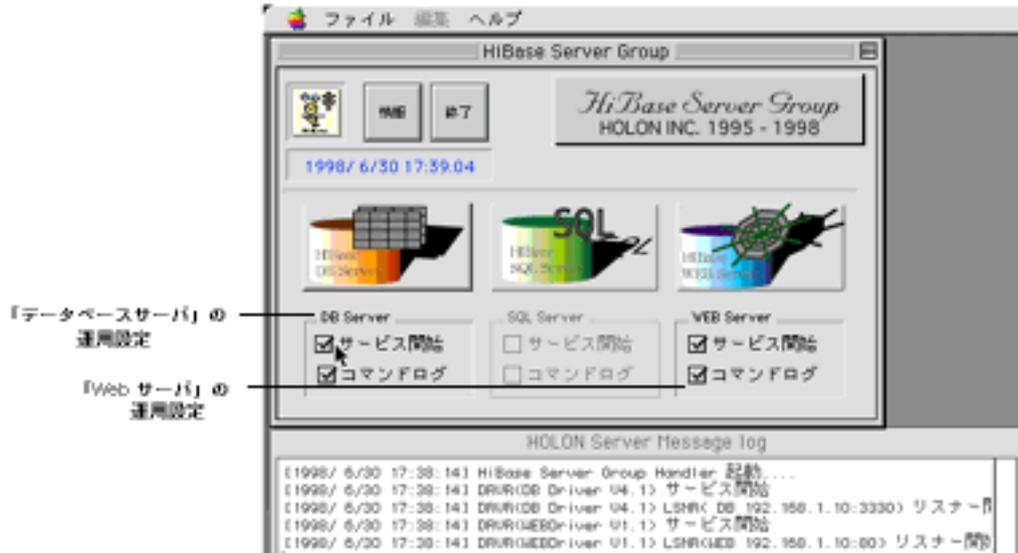
各サーバの「クライアント数」が「0」であることを確認します。



各サーバの「クライアント数」が「0」でない場合は、全クライアントに運用停止を知らせてください。

「データベースサーバ/Webサーバの運用」を停止する場合は...

- ➔ 停止するサーバの「サービス開始」の をクリックし、
 にしてください。



「データベースサーバ/Webサーバの運用」を終了する場合は...

- ➔  をクリックします。

ファイルメニューから「終了」を選択しても同じ操作ができます。



- ☞ 「HiBase Server Group」のウィンドウが閉じて、ファイндаに戻ります。

「**HiBase**」には、この他にも**便利な機能**がたくさんあります。

また、「**HiBaseのインタフェース・プログラム**」を使って、「アドレス帳」のような「個人情報管理システム」や、「インターネット/イントラネット」に対応した「グループウェア」など、**独自の「アプリケーション・プログラム」**や「**Java アプレット**」を開発することもできます。

『スタートアップ・マニュアル』で紹介できなかった機能や、

「**HiBaseの開発環境**」については、

『オペレーション・マニュアル』や

『プログラミング・ガイド』、『プログラミング・リファレンス』に説明してあります。

- 「～するにはどうしたらいいの？」、「～ボタンはどんなときに使うの？」
というときは、『**オペレーション・マニュアル**』を開いてください。
- 「**HiBase**のアプリケーション・プログラム」を開発する場合は、
『**プログラミング・ガイド**』、『**プログラミング・リファレンス**』を
活用してください。





「HiBase」で、

多彩な「データベース・システム」を構築／運営してください...



表紙へ... (終わり)

